

# 双葉町 住民意向調査 報告書

平成31年3月

復興庁  
福島県  
双葉町



# 双葉町 住民意向調査

## 報 告 書

### 目 次

I	調査の概要	1
1-1	調査目的	3
1-2	調査内容	3
1-3	調査設計	3
1-4	回収結果	3
1-5	報告書の見方	3
II	調査結果のまとめ	5
2-1	現在の状況	7
2-1-1	現在の避難先自治体（問6）	7
2-1-2	現在の住居形態（問8）	7
2-1-3	現在の職業（就業形態）（問2（1））	8
2-1-4	世帯人数（問4・問7）	8
2-1-5	震災発生当時の住居形態（問5）	9
2-2	将来の意向	10
2-2-1	双葉町への帰還意向（問10）	10
2-2-2	避難指示解除後の双葉町への帰還時期（問11）	11
2-2-3	双葉町へ帰還する場合の家族（問12）	11
2-2-4	双葉町への帰還を判断するために必要なこと（問13）	12
2-2-5	双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態 〔戻りたいと考えている方〕（問14）	13
2-2-6	双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態 〔まだ判断がつかない方〕（問14）	13
2-2-7	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向（問15）	14
2-2-8	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に 必要な生活関連施設（問15-2）	14
2-2-9	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に 必要な生活関連サービス（問15-3）	15
2-2-10	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を 判断できない理由・居住しない理由（問15-4）	16
2-2-11	双葉町への帰還を判断できない理由・帰還しない理由（問19）	17

2-2-12	双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援（問20）	18
2-2-13	双葉町に帰還しない場合に居住を希望する自治体（問21）	18
2-2-14	双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する 住居形態（問22）	19
2-2-15	双葉町との「つながり」を保ちたいか（問16）	19
2-2-16	双葉町を訪れたい頻度（問17）	20
2-2-17	双葉町を訪れたい取り組み・行事・イベント（問18）	20
<b>2-3</b>	<b>事業の再開</b>	<b>21</b>
2-3-1	帰還した場合の町内での事業の再開意向（問23）	21
2-3-2	町内で事業を再開した場合の課題（問23-1）	21
<b>2-4</b>	<b>不動産の取り扱い</b>	<b>22</b>
2-4-1	双葉町内に保有する家屋の利用意向（問26）	22
2-4-2	双葉町内に保有する宅地の利用意向（問27）	22
2-4-3	双葉町内に保有する農地の利用意向（問28）	23
<b>2-5</b>	<b>情報入手・コミュニケーション</b>	<b>24</b>
2-5-1	双葉町からの情報入手経路（問29）	24
2-5-2	特に知りたい、関心のある情報（問30）	25
<b>Ⅲ</b>	<b>調査結果</b>	<b>27</b>
<b>3-1</b>	<b>回答者の属性</b>	<b>29</b>
3-1-1	性別	29
3-1-2	年齢	29
3-1-3	現在の職業（就業形態）	30
3-1-4	現在の業種	31
<b>3-2</b>	<b>東日本大震災発生時の状況</b>	<b>32</b>
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	32
3-2-2	震災発生当時の世帯構成・人数	33
3-2-3	震災発生当時の住居形態	33
<b>3-3</b>	<b>現在の状況</b>	<b>34</b>
3-3-1	現在の避難先自治体	34
3-3-2	現在の世帯構成・人数	35
3-3-3	現在の住居形態	35
3-3-4	避難期間中の生活で困っていること・改善を求めること	36
<b>3-4</b>	<b>将来の意向</b>	<b>38</b>
3-4-1	双葉町への帰還意向	38
3-4-2	避難指示解除後の双葉町への帰還時期	40
3-4-3	双葉町へ帰還する場合の家族	41
3-4-4	双葉町へ帰還した場合の家族の世帯構成・人数 〔家族一部での帰還を考えている方〕	42

3-4-5	双葉町への帰還を判断するために必要なこと	43
3-4-6	双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態	45
3-4-7	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向	46
3-4-8	「新市街地ゾーン」に居住した場合に希望する住居形態	47
3-4-9	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設	47
3-4-10	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス	48
3-4-11	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を判断できない理由・居住しない理由	49
3-4-12	双葉町との「つながり」を保ちたいか	50
3-4-13	双葉町を訪れたい頻度	51
3-4-14	双葉町を訪れたいくなる取り組み・行事・イベント	52
3-4-15	双葉町への帰還を判断できない理由・帰還しない理由	53
3-4-16	双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援	54
3-4-17	双葉町に帰還しない場合に居住を希望する自治体	54
3-4-18	双葉町に帰還しない場合に居住を希望するいわき市の地区	55
3-4-19	双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態	55
<b>3-5</b>	<b>事業の再開</b>	<b>56</b>
3-5-1	帰還した場合の町内での事業の再開意向	56
3-5-2	町内で事業を再開した場合の課題	56
3-5-3	町内で事業を再開しない理由・判断ができない理由	57
<b>3-6</b>	<b>復興公営住宅</b>	<b>58</b>
3-6-1	福島県営の復興公営住宅（双葉町外）への入居意向	58
3-6-2	入居（整備）を希望する（決まっている）復興公営住宅の立地市町村	58
<b>3-7</b>	<b>町内への一時立ち入り</b>	<b>59</b>
3-7-1	町内への一時立ち入りの活用頻度	59
3-7-2	町内への一時立ち入りを活用しない理由	59
<b>3-8</b>	<b>不動産の取り扱い</b>	<b>60</b>
3-8-1	双葉町内に保有する家屋の利用意向	60
3-8-2	双葉町内に保有する宅地の利用意向	61
3-8-3	「空き地バンク」の利用動向	61
3-8-4	双葉町内に保有する農地の利用意向	62
3-8-5	農地保存を目的とする組合への加入意向	62
<b>3-9</b>	<b>情報入手・コミュニケーション</b>	<b>63</b>
3-9-1	双葉町からの情報の入手経路	63
3-9-2	特に知りたい、関心のある情報	64
3-9-3	避難先での自治会などへの加入状況	64
3-9-4	「ICTきずな支援システム」の保有状況	65

3-9-5	「ICTきずな支援システム」の利用頻度	65
3-9-6	「ICTきずな支援システム」の継続利用意向	66
3-9-7	「ICTきずな支援システム」以外の情報端末機器の保有状況	66
<b>3-10</b>	<b>意見・要望</b>	<b>67</b>
3-10-1	双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望	67
3-10-2	国・福島県・双葉町への意見・要望	70
<b>IV</b>	<b>参考資料</b>	<b>89</b>
4-1	使用調査票	91

# I 調査の概要





## 1-1 調査目的

本調査は、双葉町住民の生活環境の整備や、帰還に向けた諸施策を適切に実施するための基礎資料とすることを目的とする。

## 1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

## 1-3 調査設計

(1) 調査地域	双葉町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 3115世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	平成30年10月29日（月）～平成30年11月14日（水）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、双葉町
(6) 調査機関	トッパン・フォームズ株式会社

## 1-4 回収結果

有効回収数 1495世帯（有効回収率48.0%）

## 1-5 報告書の見方

- ・ 調査数（n = Number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・ 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・ 回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- ・ 「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・ 図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・ 調査数（n値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。



## II 調査結果のまとめ

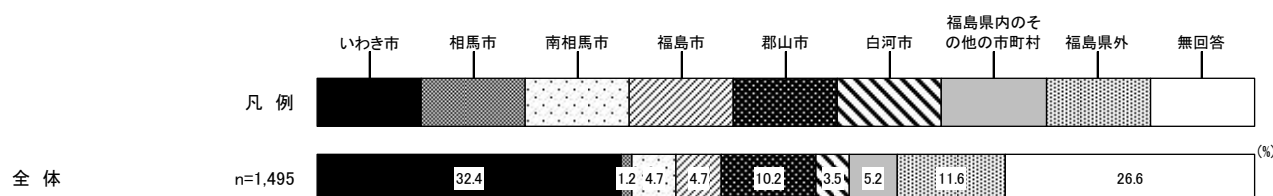


## 2-1 現在の状況

### 2-1-1 現在の避難先自治体（問6）

現在の避難先自治体については、「いわき市」が32.4%と最も高く、県内では他に「郡山市」（10.2%）で1割を超えている。「福島県外」は11.6%となっている。

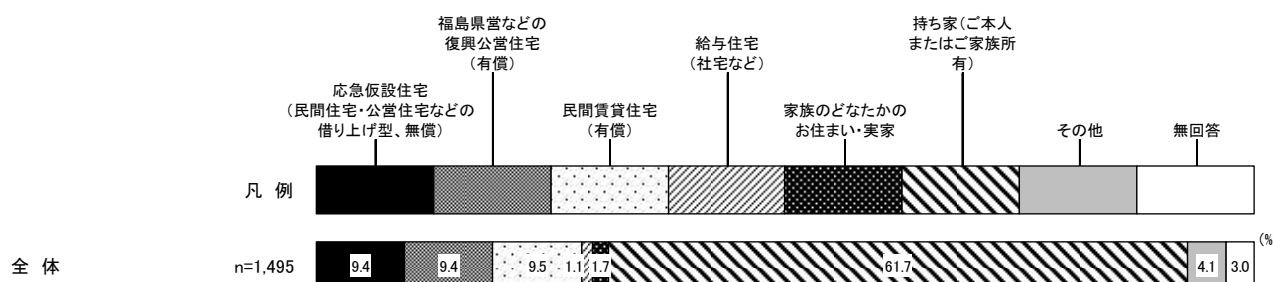
<図表2-1-1 現在の避難先自治体>



### 2-1-2 現在の住居形態（問8）

現在の住居形態については、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が61.7%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（有償）」が9.5%、「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型、無償）」と「福島県営などの復興公営住宅（有償）」がともに9.4%となっている。

<図表2-1-2 現在の住居形態>

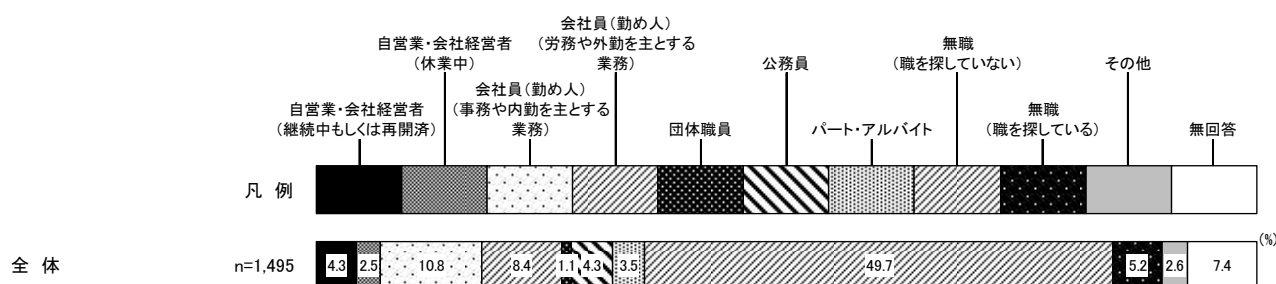


Ⅱ 調査結果のまとめ

2-1-3 現在の職業（就業形態）（問2（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」（49.7%）以外では、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が10.8%と最も高く、次いで「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が8.4%となっている。

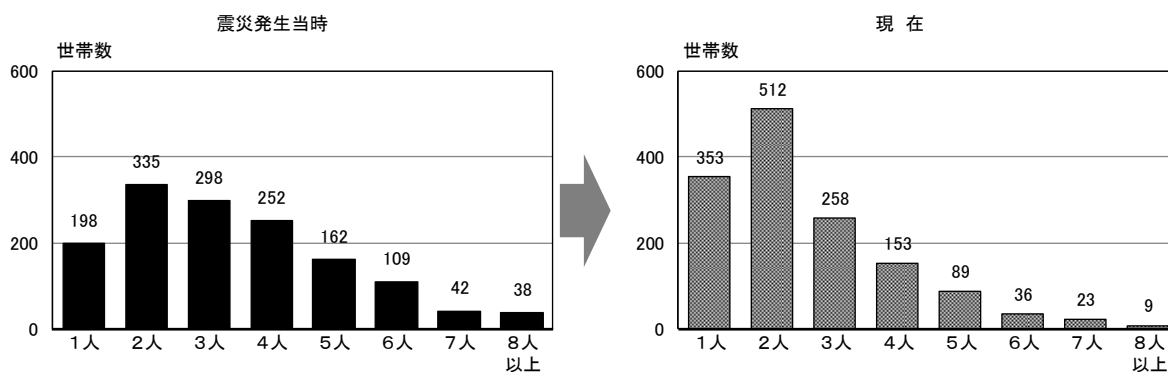
<図表2-1-3 現在の職業（就業形態）>



2-1-4 世帯人数（問4・問7）

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が335世帯、「3人」が298世帯、「4人」が252世帯となっている。現在は、「2人」が512世帯と最も多く、次いで「1人」が353世帯、「3人」が258世帯となっている。

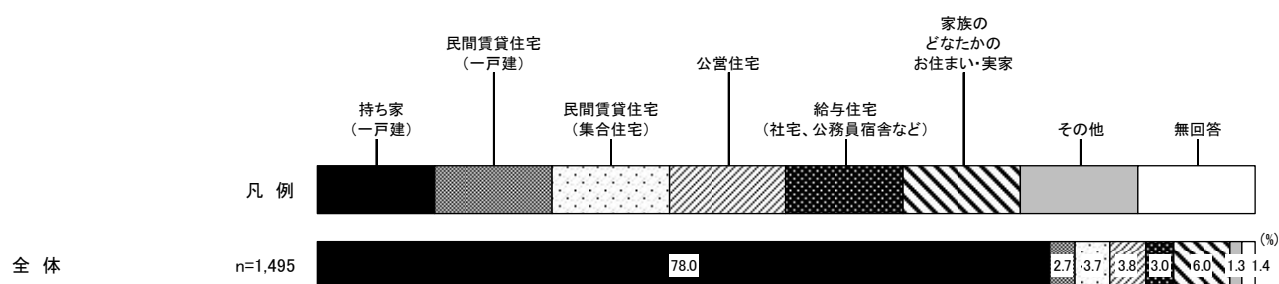
<図表2-1-4 世帯人数>



### 2-1-5 震災発生当時の住居形態（問5）

震災発生当時の住居形態については、「持ち家（一戸建）」が78.0%と最も高く、次いで「家族のどなたかのお住まい・実家」が6.0%、「公営住宅」が3.8%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が3.7%となっている。

<図表2-1-5 震災発生当時の住居形態>



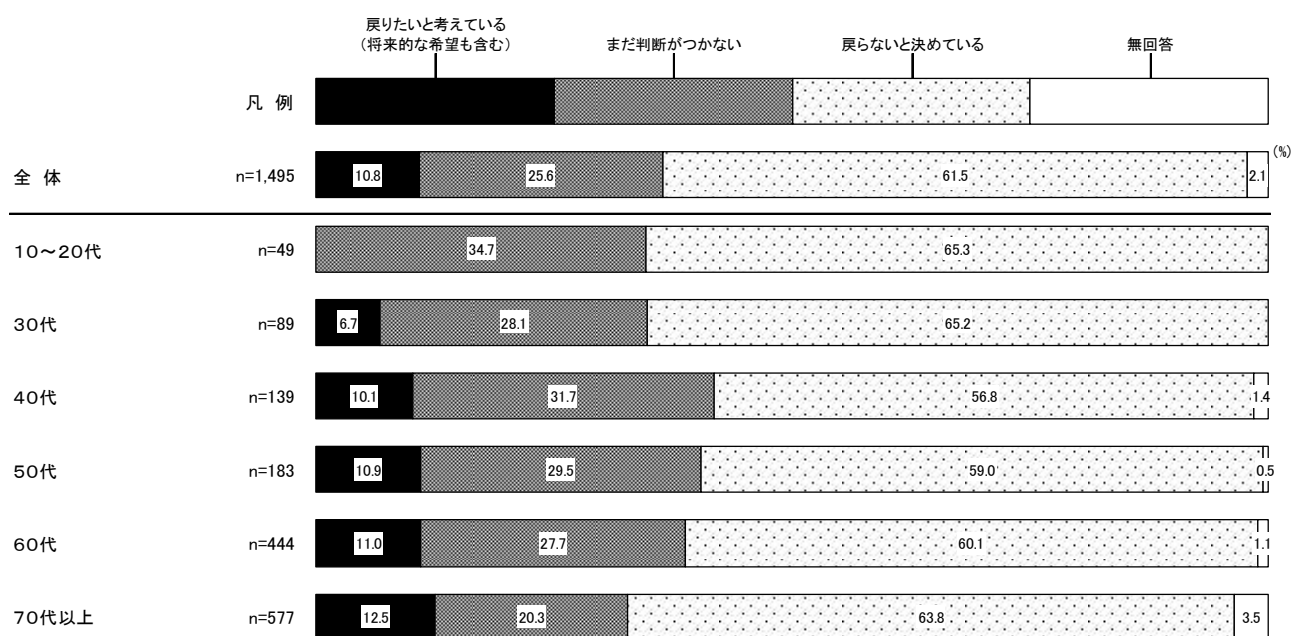
## 2-2 将来の意向

### 2-2-1 双葉町への帰還意向（問10）

双葉町への帰還意向については、全体では「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」が10.8%、「まだ判断がつかない」が25.6%、「戻らないと決めている」が61.5%となっている。

回答者の年齢別でみると、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は年齢が高いほど割合も高く、70代以上では12.5%と最も高くなっている。

<図表2-2-1 双葉町への帰還意向（年齢別）>

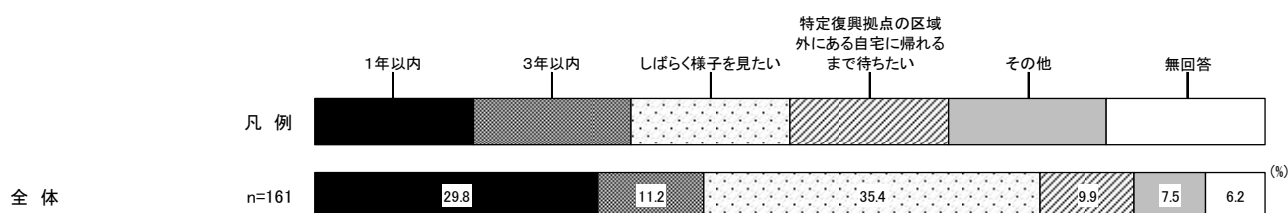




### 2-2-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期（問11）

避難指示解除後の双葉町への帰還時期については、「しばらく様子を見たい」が35.4%と最も高く、「1年以内」が29.8%、「3年以内」が11.2%、「特定復興拠点の区域外にある自宅に帰れるまで待ちたい」が9.9%となっている。

<図表2-2-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期>

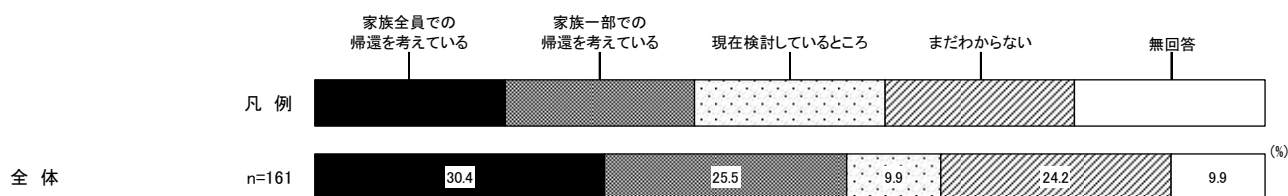


※問10で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

### 2-2-3 双葉町へ帰還する場合の家族（問12）

双葉町へ帰還する場合の家族については、「家族全員での帰還を考えている」が30.4%と最も高く、「家族一部での帰還を考えている」が25.5%、「まだわからない」が24.2%となっている。「現在検討しているところ」は9.9%と1割未満となっている。

<図表2-2-3 双葉町へ帰還する場合の家族>



※問10で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

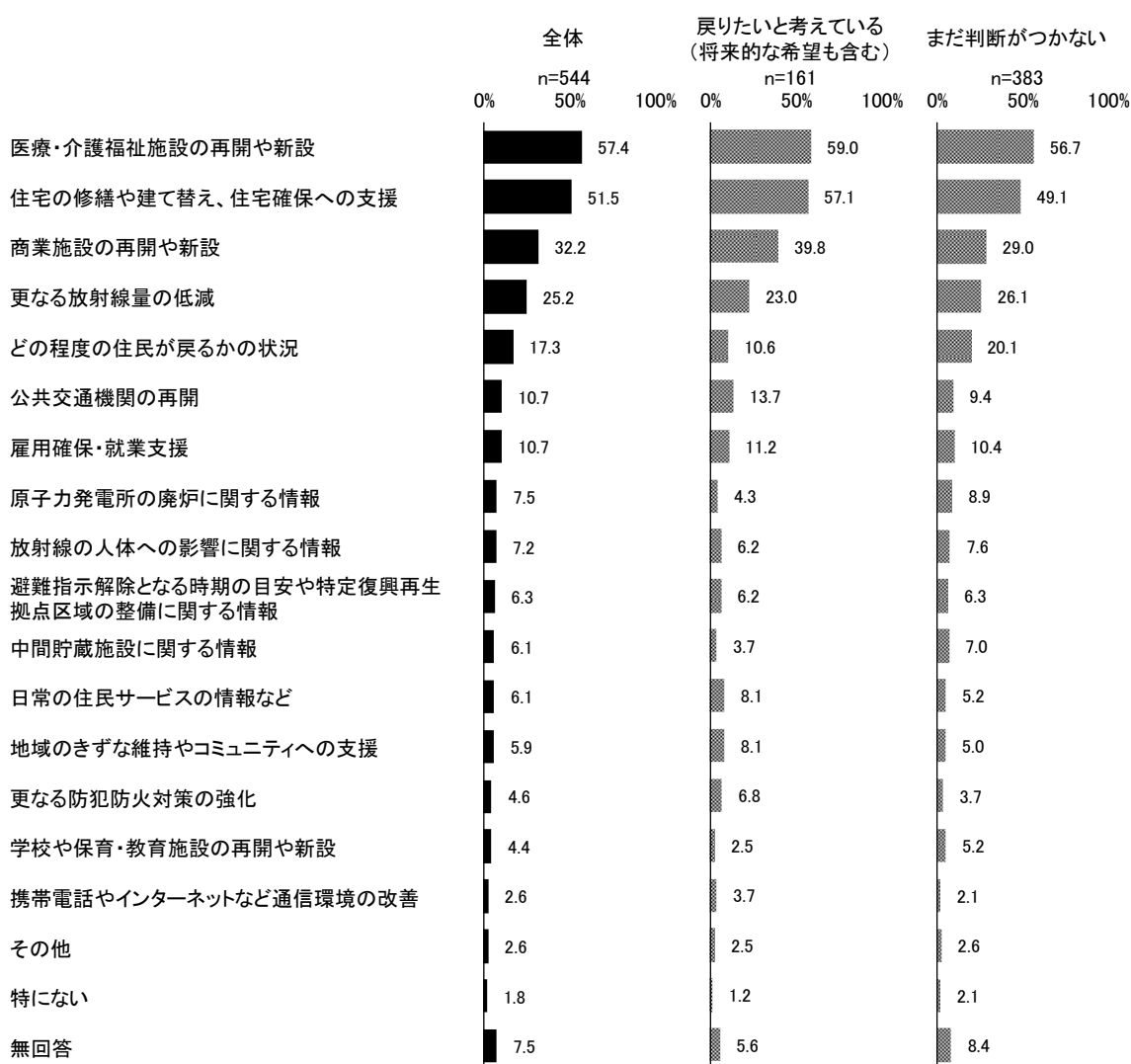
II 調査結果のまとめ

2-2-4 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（問13）

双葉町への帰還を判断するために必要なことについては、全体では「医療・介護福祉施設の再開や新設」が57.4%と最も高く、「住宅の修繕や建て替え、住宅確保への支援」が51.5%、「商業施設の再開や新設」が32.2%、「更なる放射線量の低減」が25.2%となっている。

帰還意向別にみると、戻りたいと考えている方、まだ判断がつかない方のいずれにおいても、全体と同じ項目が同じ順番で上位に並んでいる。

<図表2-2-4 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（帰還意向別）>



※問10で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

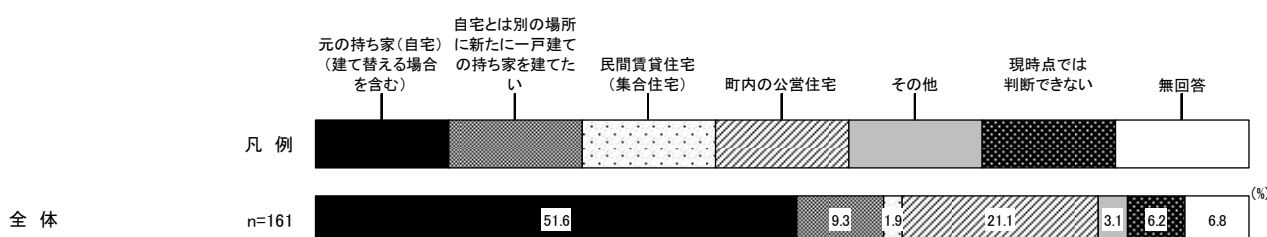
※回答は3つまで

※優先順位1番目から3番目を積算して算出

### 2-2-5 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態 〔戻りたいと考えている方〕（問14）

双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態を戻りたいと考えている方についてみると、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が51.6%と最も高く、次いで「町内の公営住宅」が21.1%、「自宅とは別の場所に新たに一戸建ての持ち家を建てたい」が9.3%となっている。

＜図表2-2-5 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔戻りたいと考えている方〕＞

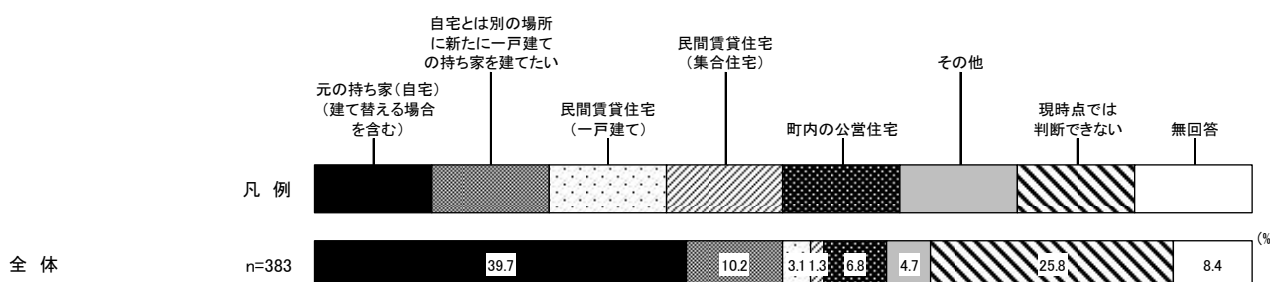


※問10で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

### 2-2-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態 〔まだ判断がつかない方〕（問14）

双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態をまだ判断がつかない方についてみると、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が39.7%と最も高く、「現時点では判断できない」（25.8%）を除くと、「自宅とは別の場所に新たに一戸建ての持ち家を建てたい」が10.2%、「町内の公営住宅」が6.8%と高くなっている。

＜図表2-2-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔まだ判断がつかない方〕＞



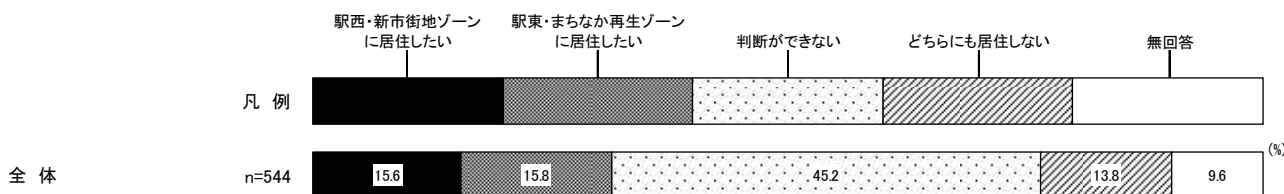
※問10で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

## 2-2-7 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向 (問15)

JR双葉駅の西側の区域を「新市街地ゾーン」と位置づけ、町が主導して先行的に住宅地や生活関連施設の整備を進めることとしております。また、JR双葉駅の東側の区域については、「まちなか再生ゾーン」と位置づけ、既成市街地の再生を目指すこととしております。

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向については、「駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」が15.8%、「駅西・新市街地ゾーンに居住したい」が15.6%となっている。最も高いのは「判断ができない」(45.2%)となっている。

<図表2-2-7 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向>

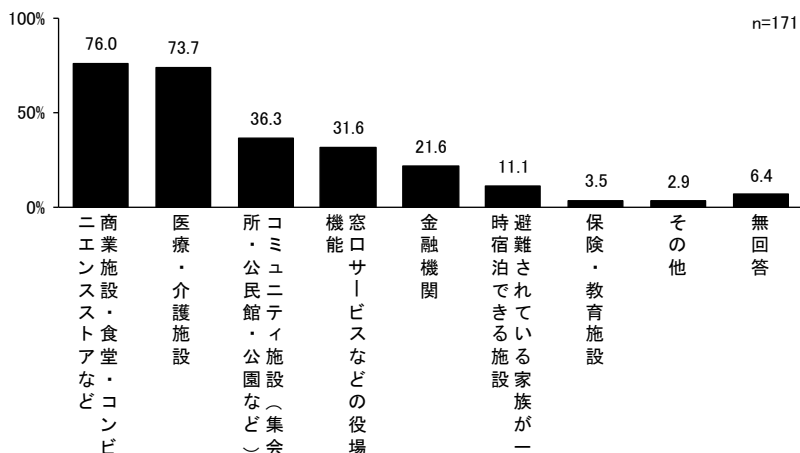


※問10で「戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

## 2-2-8 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設 (問15-2)

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設については、「商業施設・食堂・コンビニエンスストアなど」(76.0%)、「医療・介護施設」(73.7%)がともに7割以上と高くなっている。

<図表2-2-8 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設>



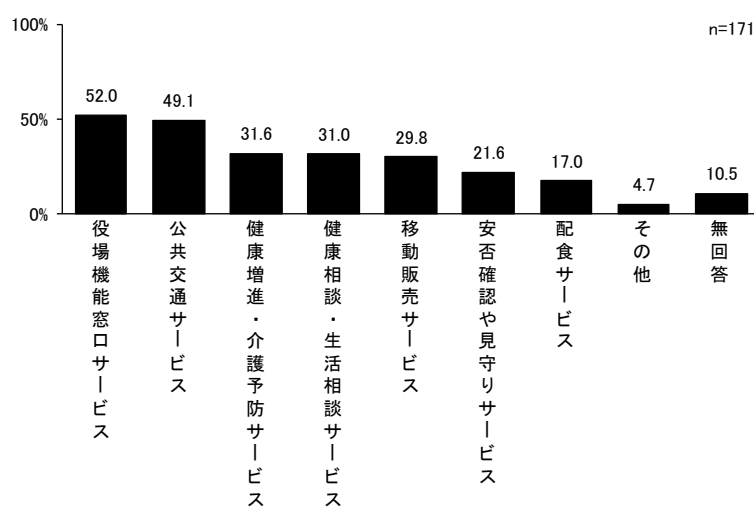
※問15で「駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方のみ

※回答は3つまで

## 2-2-9 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス（問15-3）

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービスについては、「役場機能窓口サービス」が52.0%と最も高く、次いで「公共交通サービス」が49.1%、「健康増進・介護予防サービス」が31.6%、「健康相談・生活相談サービス」が31.0%となっている。

＜図表2-2-9 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス＞



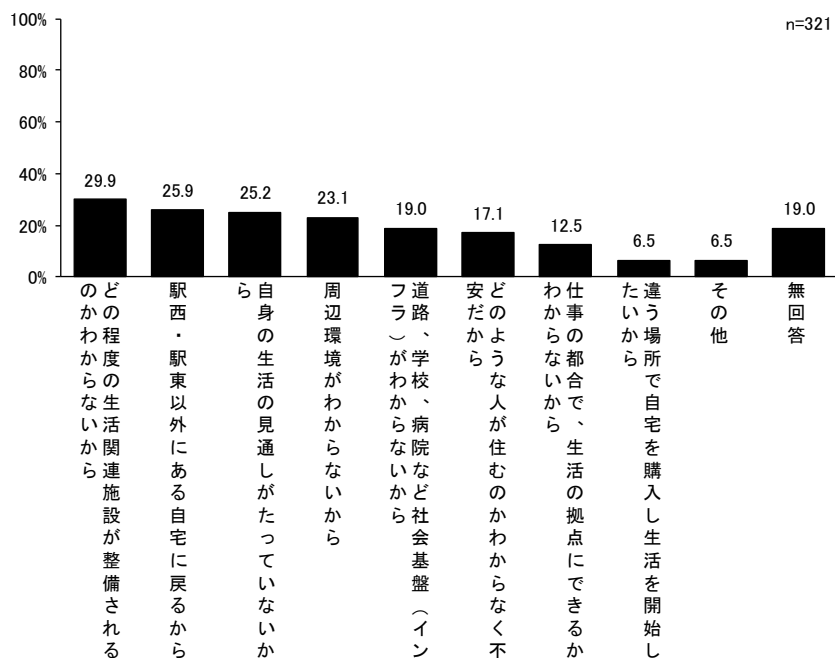
※問15で「駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方のみ

※回答は3つまで

## 2-2-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を判断できない理由・居住しない理由（問15-4）

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を判断できない理由・居住しない理由については、「どの程度の生活関連施設が整備されるのかわからないから」が29.9%と最も高く、次いで「駅西・駅東以外にある自宅に戻るから」（25.9%）、「自身の生活の見通しがたっていないから」（25.2%）、「周辺環境がわからないから」（23.1%）がいずれも2割以上となっている。

＜図表2-2-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を判断できない理由・居住しない理由＞



※問15で「判断ができない」「どちらにも居住しない」と回答した方のみ

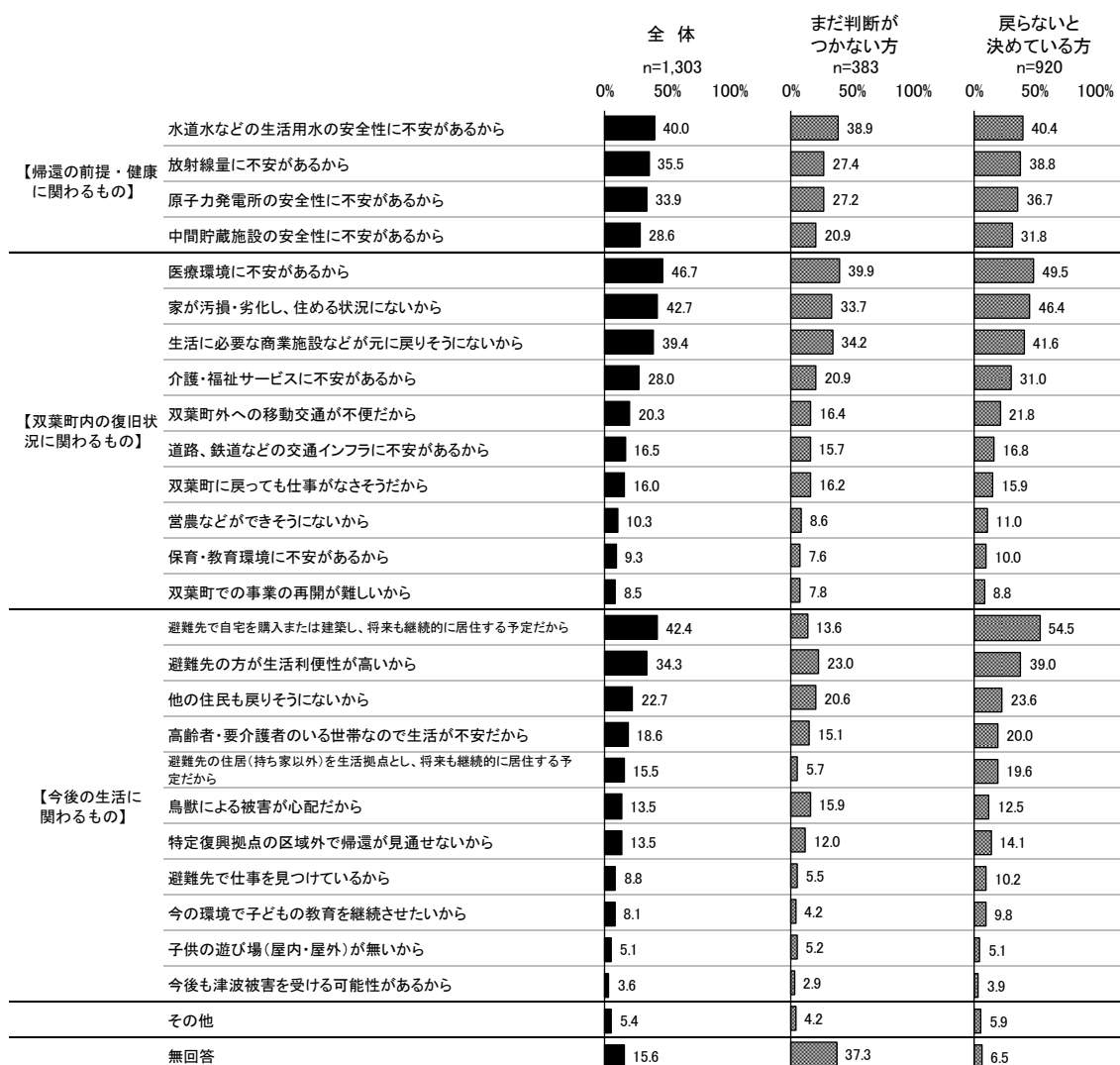
※複数回答可

## 2-2-11 双葉町への帰還を判断できない理由・帰還しない理由 (問19)

双葉町への帰還に関して、まだ判断がつかない方の判断できない理由については、「医療環境に不安があるから」が39.9%と最も高く、次いで「水道水などの生活用水の安全性に不安があるから」が38.9%、「生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから」が34.2%となっている。

一方、戻らないと決めている方の帰還しない理由については、「避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから」が54.5%と最も高く、次いで「医療環境に不安があるから」が49.5%、「家が汚損・劣化し、住める状況にないから」が46.4%となっている。

＜図表2-2-11 双葉町への帰還を判断できない理由・帰還しない理由＞



※問10で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

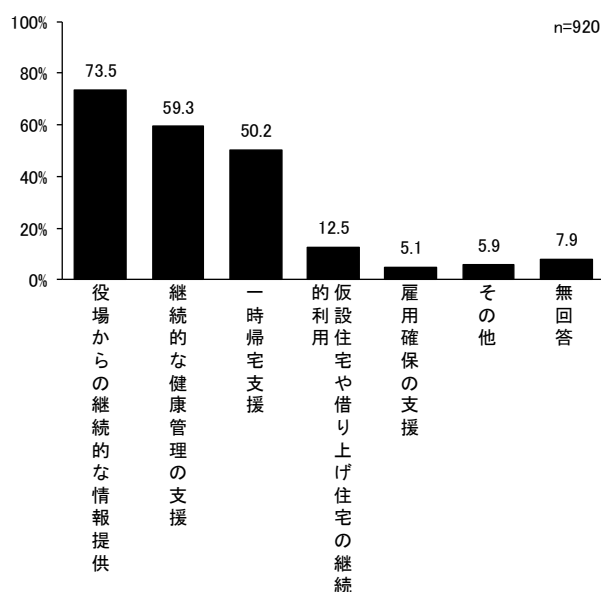
※複数回答可

Ⅱ 調査結果のまとめ

2-2-12 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援  
(問20)

双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援については、「役場からの継続的な情報提供」が73.5%と最も高く、次いで「継続的な健康管理の支援」が59.3%、「一時帰宅支援」が50.2%となっている。

<図表2-2-12 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援>



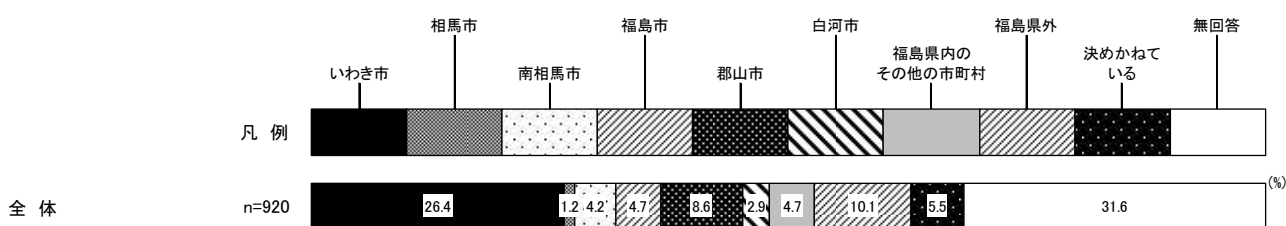
※問10で「戻らないと決めている」と回答した方のみ

※複数回答可

2-2-13 双葉町に帰還しない場合に居住を希望する自治体 (問21)

双葉町に帰還しない場合に居住を希望する自治体については、「いわき市」が26.4%と最も高く、次いで「福島県外」が10.1%、「郡山市」が8.6%となっている。

<図表2-2-13 双葉町に帰還しない場合に居住を希望する自治体>



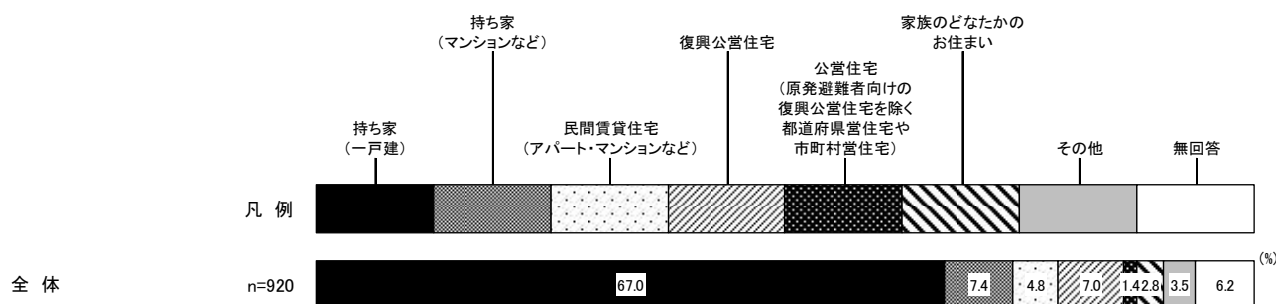
※問10で「戻らないと決めている」と回答した方のみ



### 2-2-14 双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態（問22）

双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態については、「持ち家（一戸建）」が67.0%と最も高く、次いで「持ち家（マンションなど）」が7.4%、「復興公営住宅」が7.0%となっている。

<図表2-2-14 双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>

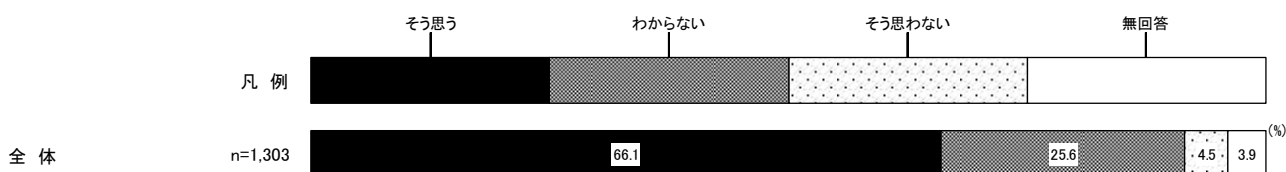


※問10で「戻らないと決めている」と回答した方のみ

### 2-2-15 双葉町との「つながり」を保ちたいか（問16）

双葉町との「つながり」を保ちたいかについては、「そう思う」が66.1%、「わからない」が25.6%、「そう思わない」が4.5%となっている。

<図表2-2-15 双葉町との「つながり」を保ちたいか>



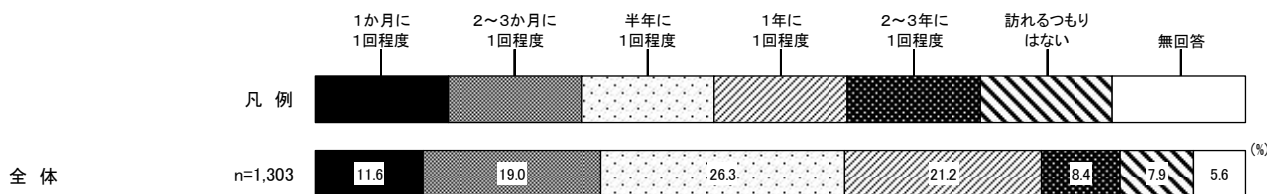
※問10で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

II 調査結果のまとめ

2-2-16 双葉町を訪れたい頻度（問17）

双葉町を訪れたい頻度については、「半年に1回程度」が26.3%と最も高く、次いで「1年に1回程度」が21.2%、「2～3か月に1回程度」が19.0%となっている。

<図表2-2-16 双葉町を訪れたい頻度>

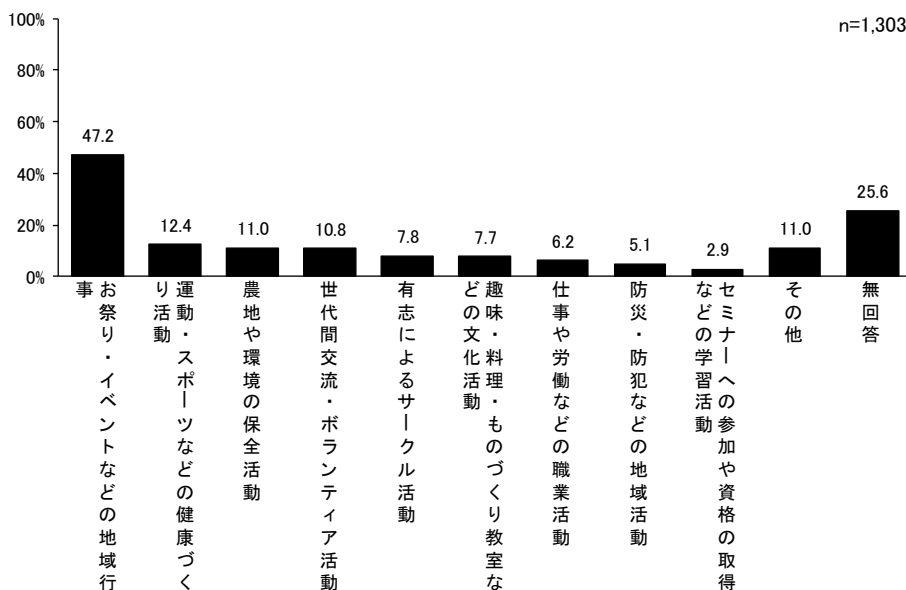


※問10で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-17 双葉町を訪れたい取り組み・行事・イベント（問18）

双葉町を訪れたい取り組み・行事・イベントについては、「お祭り・イベントなどの地域行事」が47.2%と最も高く、次いで「運動・スポーツなどの健康づくり活動」が12.4%、「農地や環境の保全活動」が11.0%、「世代間交流・ボランティア活動」が10.8%と、いずれも1割以上となっている。

<図表2-2-17 双葉町を訪れたい取り組み・行事・イベント>



※問10で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

※複数回答可

## 2-3 事業の再開

### 2-3-1 帰還した場合の町内での事業の再開意向（問23）

帰還した場合の町内での事業の再開意向については、「再開するつもりはない」が63.5%と最も高く、次いで「判断ができない」が28.4%、「再開したい」が8.0%となっている。

<図表2-3-1 帰還した場合の町内での事業の再開意向>

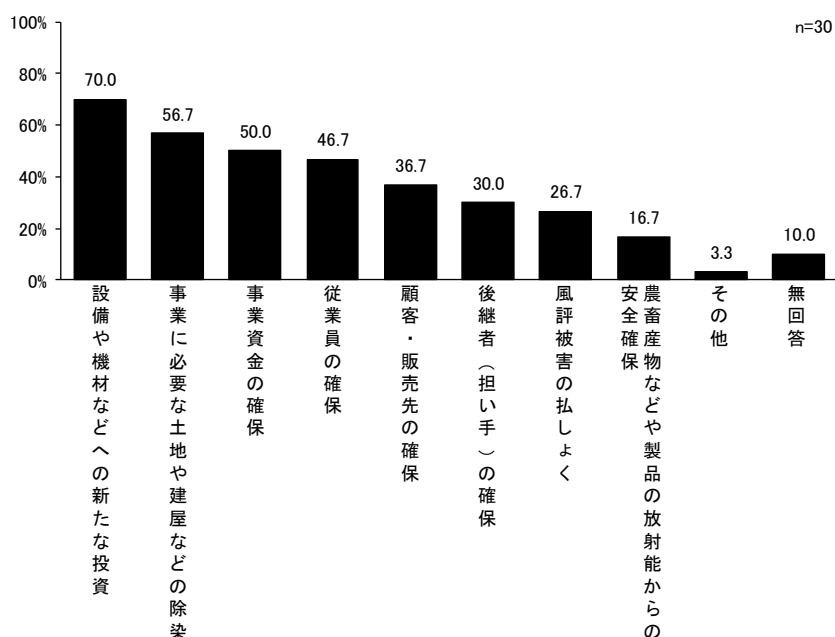


※震災発生当時に双葉町で自営業を営んでいた世帯を対象とした設問に回答した方のみ

### 2-3-2 町内で事業を再開した場合の課題（問23-1）

町内で事業を再開した場合の課題については、「設備や機材などへの新たな投資」が70.0%と最も高く、次いで「事業に必要な土地や建屋などの除染」が56.7%、「事業資金の確保」が50.0%、「従業員の確保」が46.7%となっている。

<図表2-3-2 町内で事業を再開した場合の課題>



※問23で「再開したい」と回答した方のみ

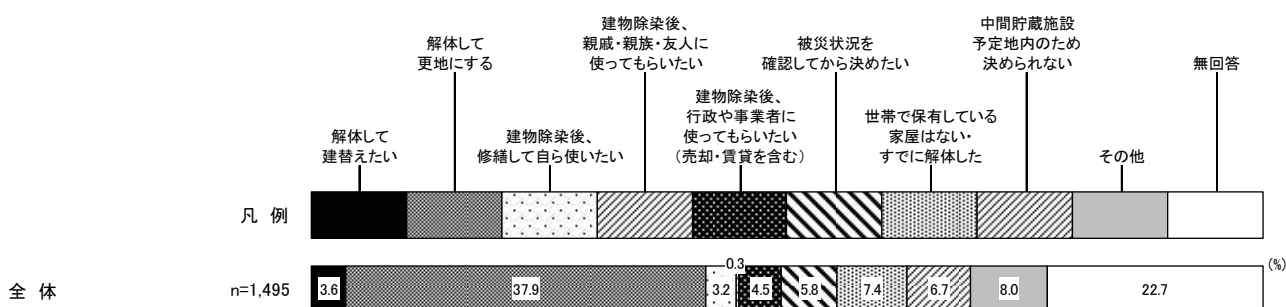
※複数回答可

## 2-4 不動産の取り扱い

### 2-4-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向（問26）

双葉町内に保有する家屋の利用意向については、「解体して更地にする」が37.9%と最も高く、次いで「世帯で保有している家屋はない・すでに解体した」が7.4%、「中間貯蔵施設予定地内のため決められない」が6.7%となっている。

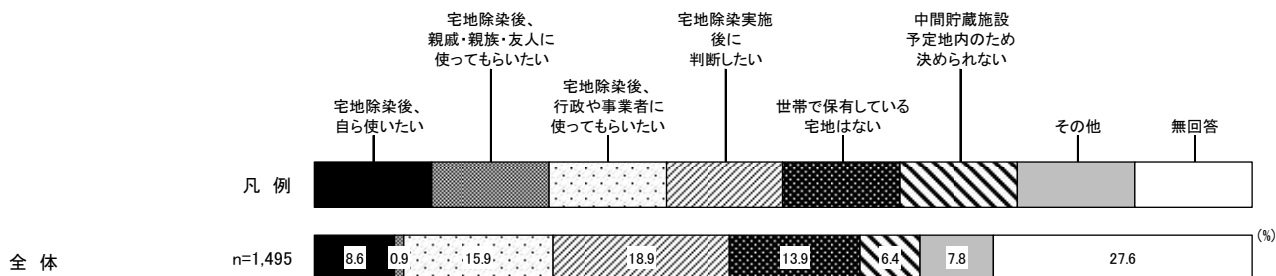
＜図表2-4-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向＞



### 2-4-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向（問27）

双葉町内に保有する宅地の利用意向については、「宅地除染実施後に判断したい」が18.9%と最も高く、次いで「宅地除染後、行政や事業者に使ってほしい」が15.9%、「世帯で保有している宅地はない」が13.9%となっている。

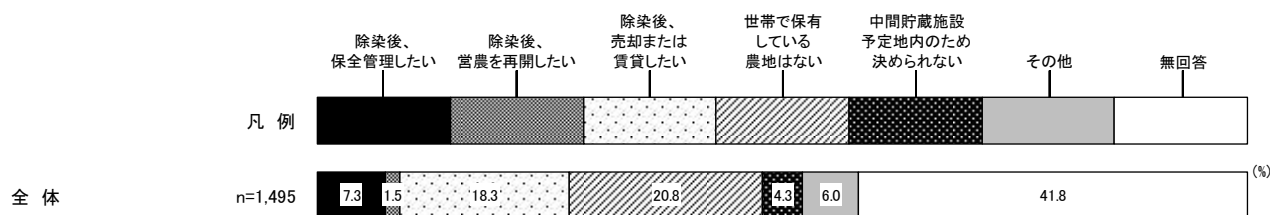
＜図表2-4-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向＞



### 2-4-3 双葉町内に保有する農地の利用意向（問28）

双葉町内に保有する農地の利用意向については、「世帯で保有している農地はない」が20.8%と最も高く、次いで「除染後、売却または賃貸したい」が18.3%、「除染後、保全管理したい」が7.3%となっている。

<図表2-4-3 双葉町内に保有する農地の利用意向>

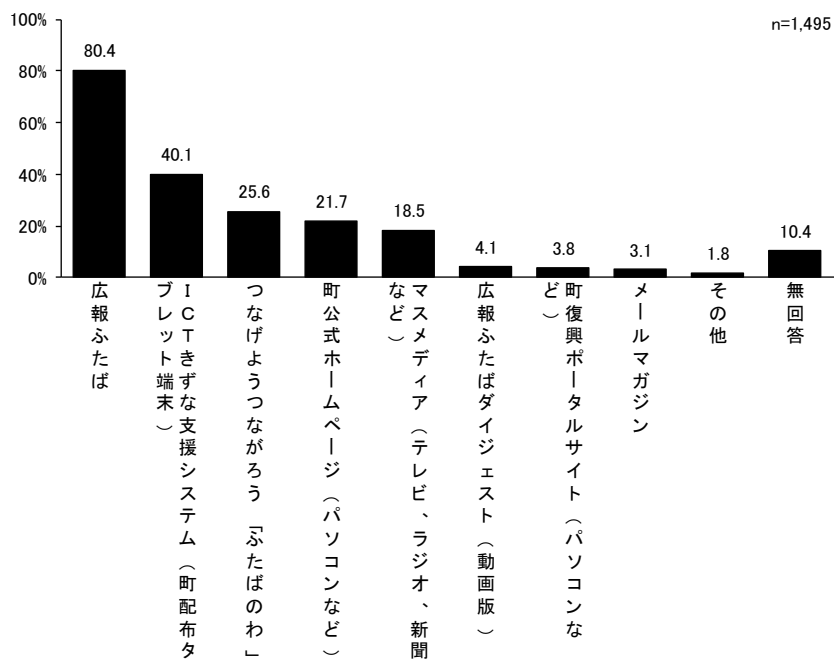


## 2-5 情報入手・コミュニケーション

### 2-5-1 双葉町からの情報入手経路（問29）

双葉町からの情報入手経路については、「広報ふたば」が80.4%と最も高く、次いで「ICTきずな支援システム（町配布タブレット端末）」が40.1%、「つなげようつながろう「ふたばのわ」」が25.6%となっている。

<図表2-5-1 双葉町からの情報入手経路>

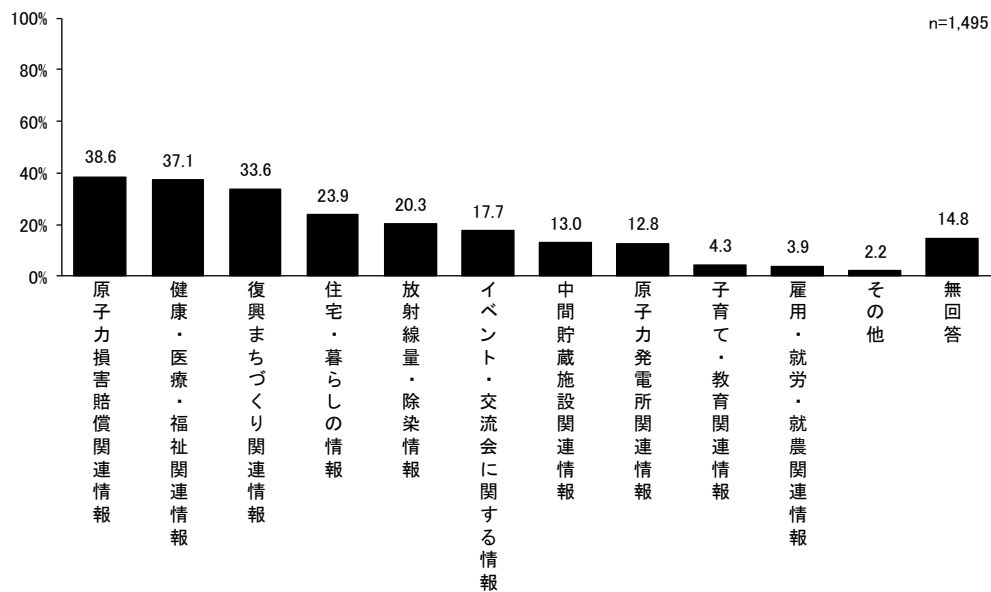


※回答は3つまで

## 2-5-2 特に知りたい、関心のある情報（問30）

特に知りたい、関心のある情報については、「原子力損害賠償関連情報」が38.6%と最も高く、他に「健康・医療・福祉関連情報」（37.1%）と「復興まちづくり関連情報」（33.6%）がともに3割以上となっている。

<図表2-5-2 特に知りたい、関心のある情報>



※回答は3つまで





### **III 調査結果**



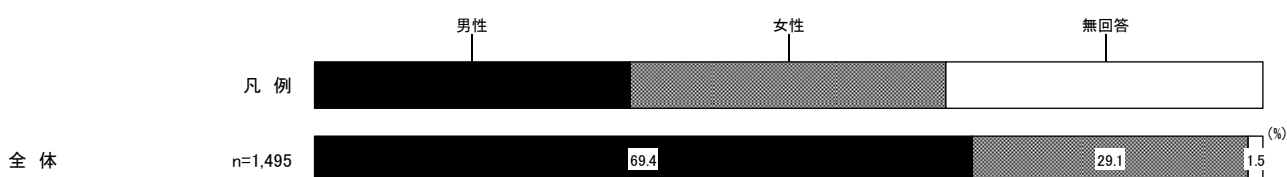
## 3-1 回答者の属性

### 3-1-1 性別

問1 あなたの性別と年齢を教えてください。

(1) 性別 (○は1つ)

<図表3-1-1 性別>

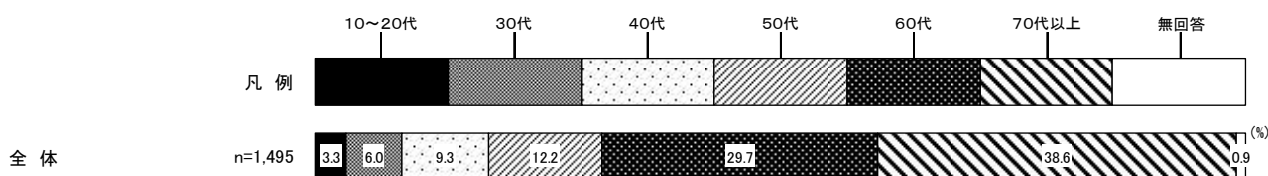


### 3-1-2 年齢

問1 あなたの性別と年齢を教えてください。

(2) 年齢 (○は1つ)

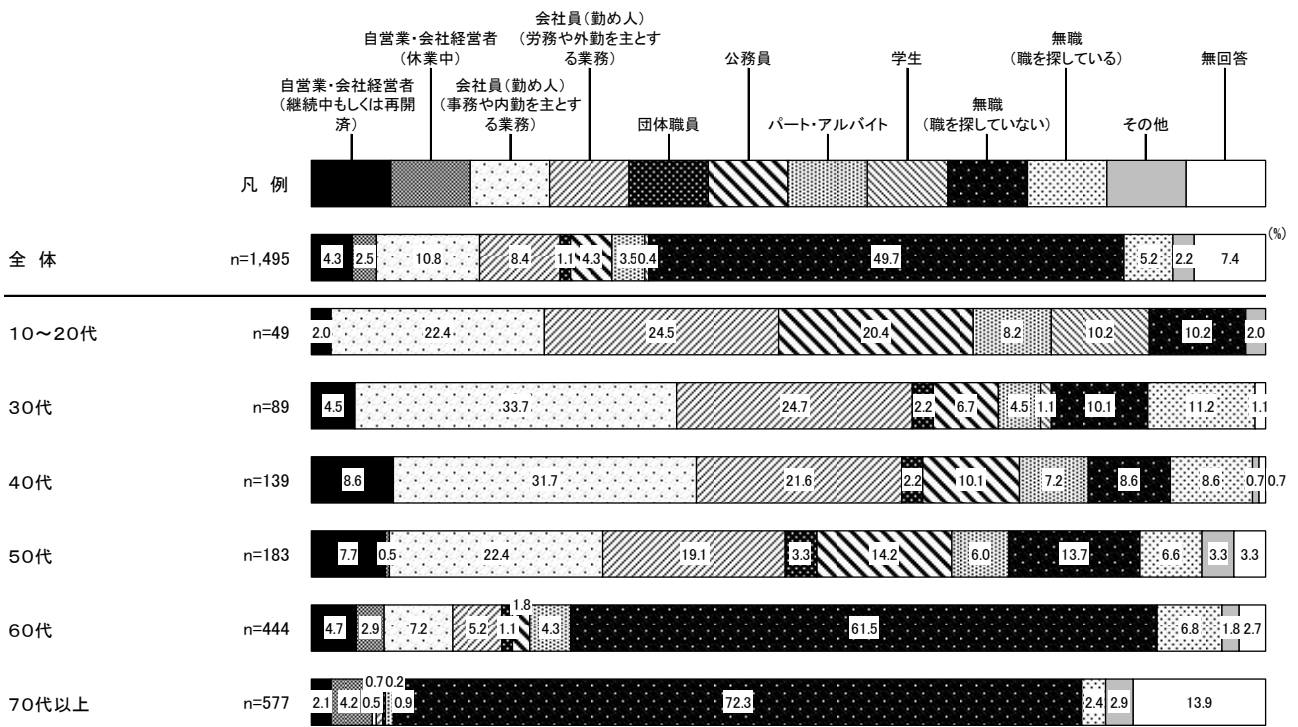
<図表3-1-2 年齢>



### 3-1-3 現在の職業（就業形態）

問2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。  
 なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。  
 (1) 職業（就業形態）(○は1つ)

<図表3-1-3 現在の職業（就業形態）（年齢別）>



### 3-1-4 現在の業種

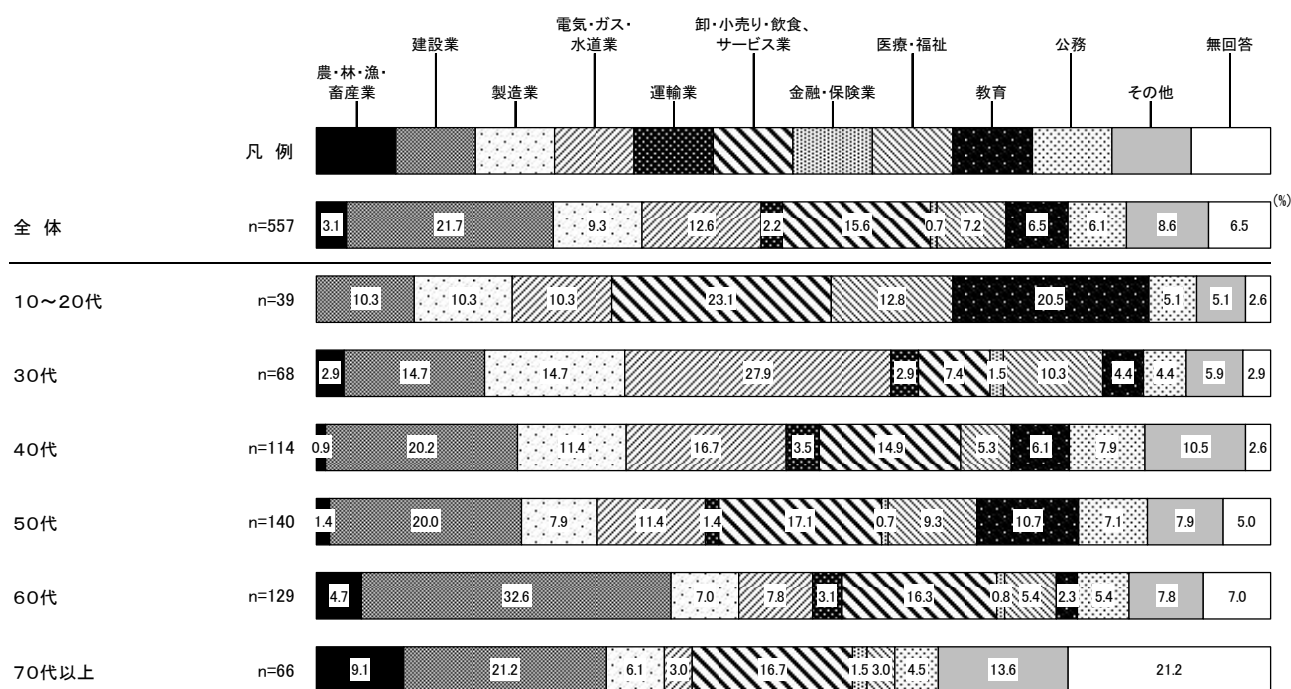
【仕事に就いている方（問2（1）で「1」から「7」、「11」と回答した方）にうかがいます。】

問2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。

なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

（2）業種（○は1つ）

<図表3-1-4 現在の業種（年齢別）>

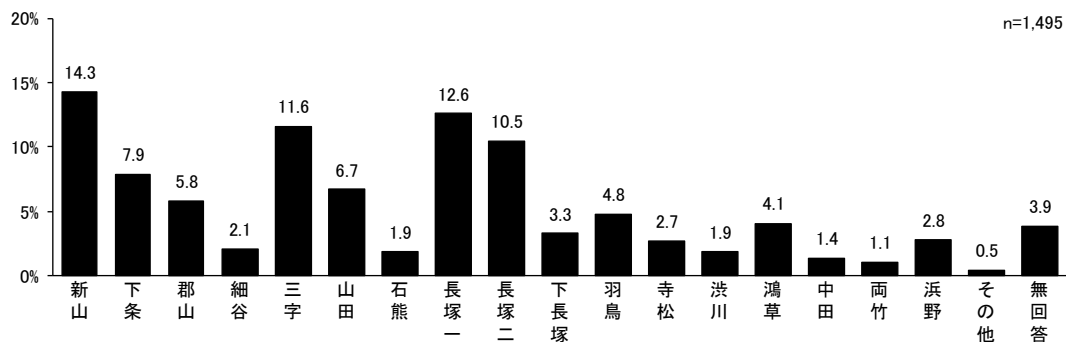


## 3-2 東日本大震災発生時の状況

### 3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(〇は1つ)

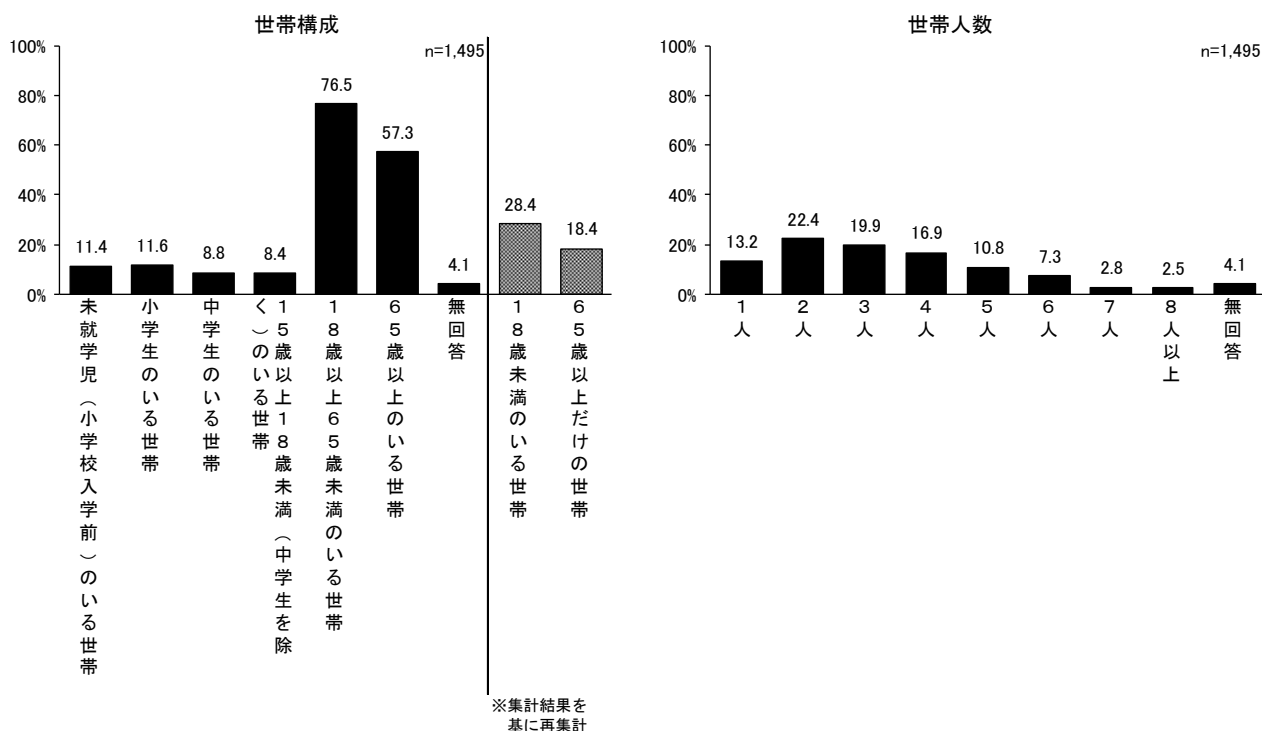
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



### 3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問4 震災発生ときに、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。  
あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学年にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

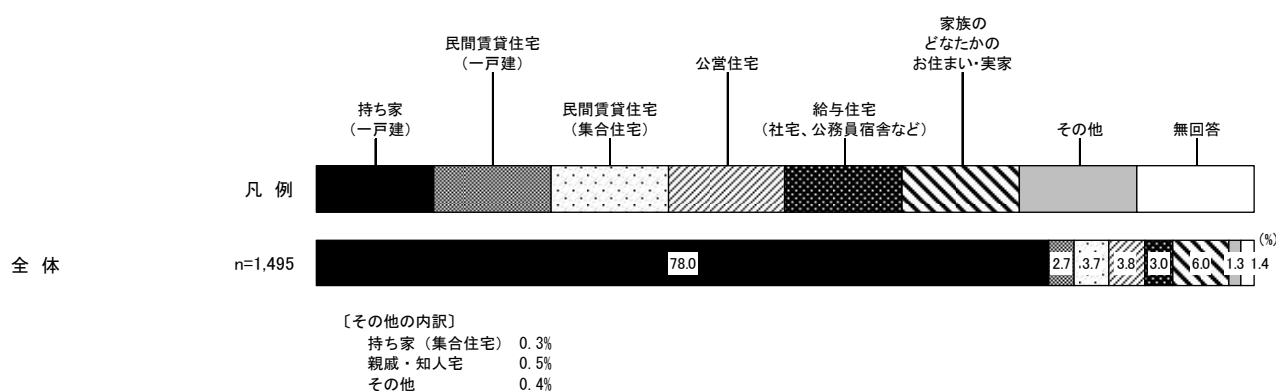
<図表 3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数>



### 3-2-3 震災発生当時の住居形態

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

<図表 3-2-3 震災発生当時の住居形態>

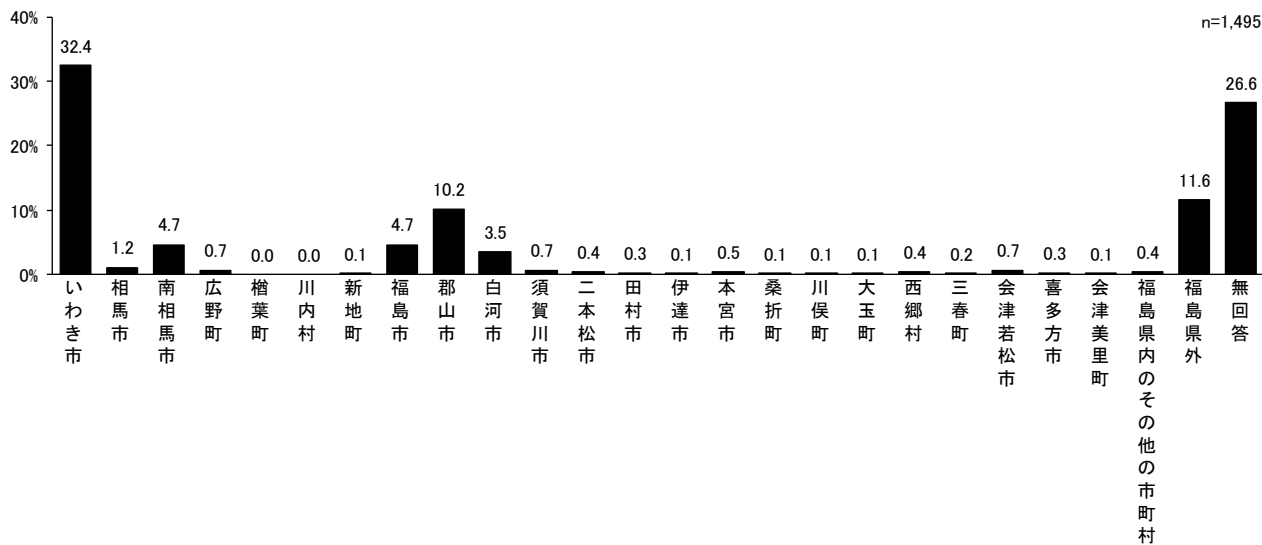


### 3-3 現在の状況

#### 3-3-1 現在の避難先自治体

問6 あなたが現在避難されている自治体を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-3-1 現在の避難先自治体>

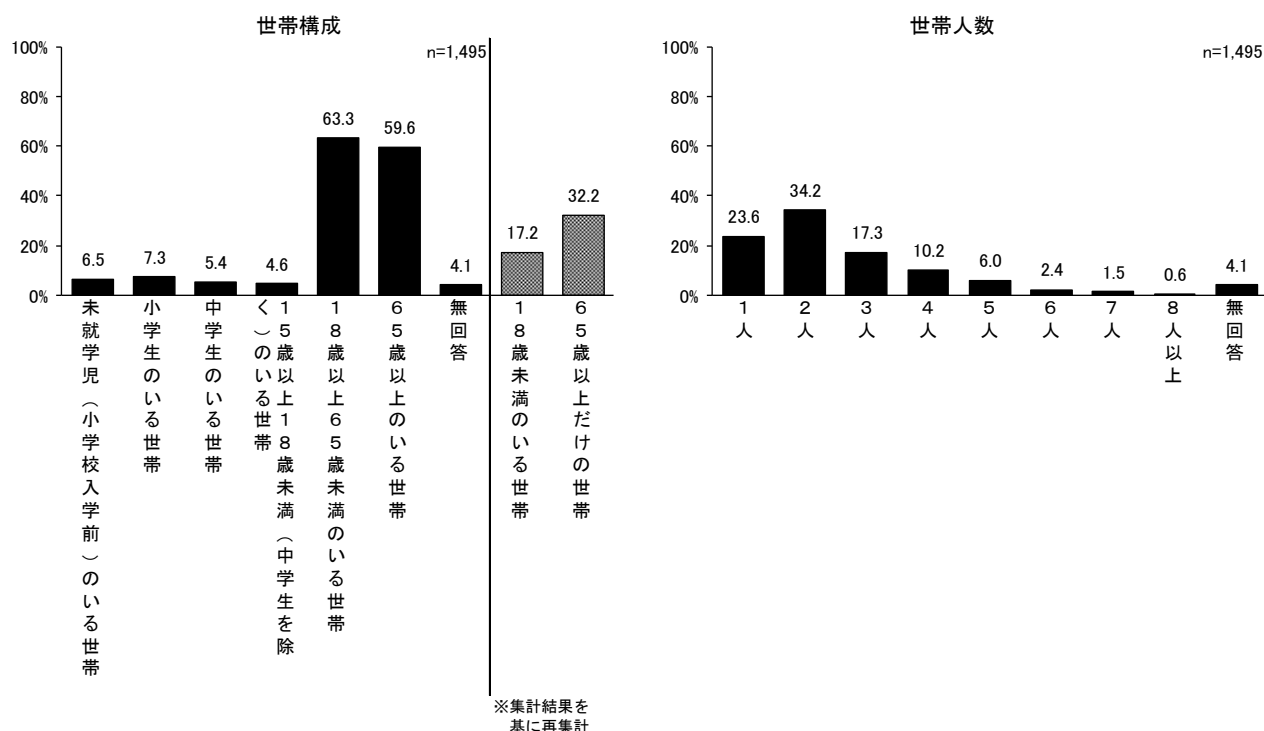




### 3-3-2 現在の世帯構成・人数

問7 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。  
あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学年にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

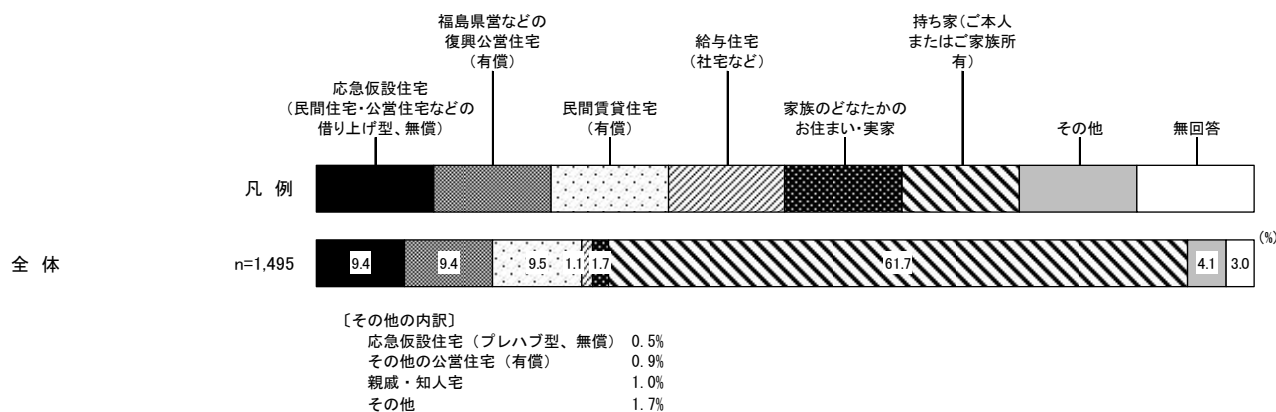
<図表 3-3-2 現在の世帯構成・人数>



### 3-3-3 現在の住居形態

問8 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

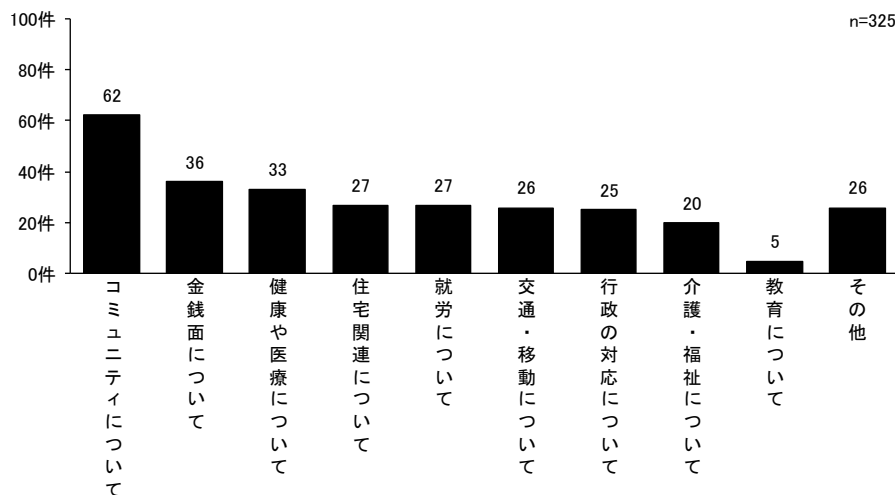
<図表 3-3-3 現在の住居形態>



### 3-3-4 避難期間中の生活で困っていること・改善を求めていること

問9 避難期間中の住宅や、生活において困っていること、改善を求めていることなどがあれば、お書きください（医療、教育、介護、福祉、就労、コミュニティなど）。

<図表 3-3-4 避難期間中の生活で困っていること・改善を求めていること>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

#### 【コミュニティについて】

- ・ 友人がみな遠くにいて、中々会えない。集まる機会がほしい。（20代）
- ・ 保育園、幼稚園、学校の数が多く、何を基準に選べば良いのか分からない。姉妹、親戚が震災後離れて生活している為、緊急時に子供の世話などを頼めない。（30代）
- ・ 出身、身元、勤務先等の素常や避難者である事を明かせにくい事。（50代）
- ・ 両親となかなか会えない。何かあったときにすぐかけつけることができない。地域で知り合いは増えたが、避難前のような地域の触れ合いが少なくなった。（同年代がいなし）（50代）
- ・ 今まで元気に頑張ってきましたが時折、双葉からとり残されたような淋しさを感じる時があります。これから老後のことを考えると不安です。（60代）
- ・ 一時、隣の住民より、やっかみ、みたいな事があった。（60代）
- ・ 医療の通院に不便。地域コミュニケーションがほとんどない。避難迄の前の地域はほとんどが毎日会えたり会話もありました。人と人との間が本当に近く感じていた。（70代以上）
- ・ 車イス生活なので外出ができず困ってます。心をゆるして話をする友人がいません。娘と一緒に時々話をします。（70代以上）

**【金銭面について】**

- ・ お金が足りない。東電から賠償金をうち切られた。(30代)
- ・ 生活費が双葉にいる頃より3倍以上かかり生活が大変な状態です。(40代)
- ・ 親と離れて生活している為、帰省費が大変です。(40代)
- ・ 医療費の無料化は、とても助かっています。今後も、続けてほしいです。(50代)
- ・ 原発の賠償を早く進めてほしいです。仕事の面が固ってます。生活していくのに金銭面にも不安です。(50代)
- ・ 仕事の関係で、栃木県に単身中なので、生活や健康面も含めて、心配なので家族と早くいっしょに住みたい。又、生活費もかなりかかり大変である。(60代)
- ・ 経済面で今後の生活資金が不安である。70才なので就労する所が無い。(60代)
- ・ 90も過ぎており、もう双葉町には帰る事は出来ないと思います。今住んでいる家の家賃をいつまで出していただけるのかが心配です。(70代以上)

**【健康や医療について】**

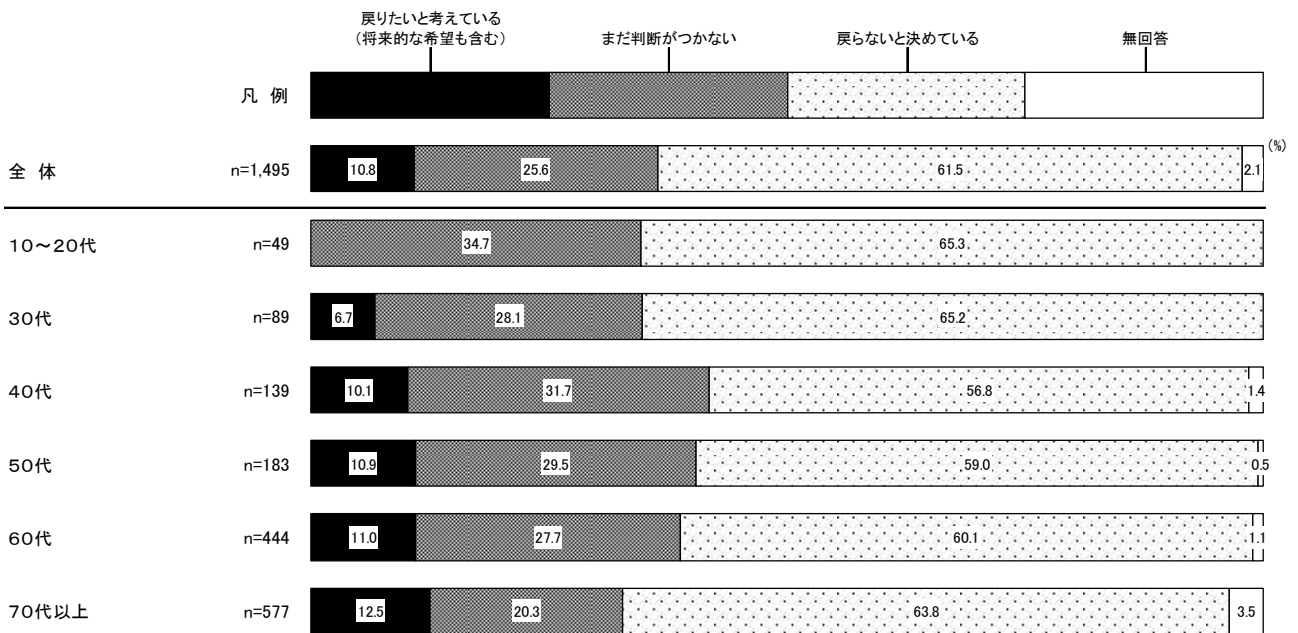
- ・ 守山団地は郡山市でも外れにあり、車がないと生活できない。電車も本数が少なく、病院もひとつろう。(30代)
- ・ 2度のアパート生活で近隣住民の嫌がらせで、夜寝れない事が続いたので、持ち家を購入したが、維持費が高いこと。医療機関においては、いわき市の病院で誤診(大腸ガン)をされてから、安心して行ける病院はない。(40代)
- ・ H23.9~H30.4まで郡山市の借り上げにいました。生活に困まることは余りなかった。H30.4からいわき市復興住宅に移りました。現在も医療は郡山市に行ってます。いわき市の医療関係がわからず、勿来の診療所か近く医院か悩んでいるところです。(60代)
- ・ 数年、健康診断を受診出来ていない!(60代)
- ・ 目が悪くなって困っています。(60代)
- ・ 健康診断をいつも通っている内科医で出来ないのが…。申込んでから、受けるまで時間(日数)がかかるし、結果も大部、あとに届いてくる…これはどうにかならないか、…。(70代以上)
- ・ 私は心臓病があり又避難してからうつ病にもなり体調がおもわしくなく毎月病院通い。妻も足が手術して、それに妻も病気がちになって2人で病院通いです。今住んでいる所は病院に通うのにバスが近くから乗れていいです。夜具合が悪くなって救急車で病院に行きます。(70代以上)
- ・ 突発難聴に3年前からなってしまうまだ時々目まいがあり、なかなか治りが悪くて困っています。耳鼻科が少ないので近くにあれば助かります。(70代以上)

## 3-4 将来の意向

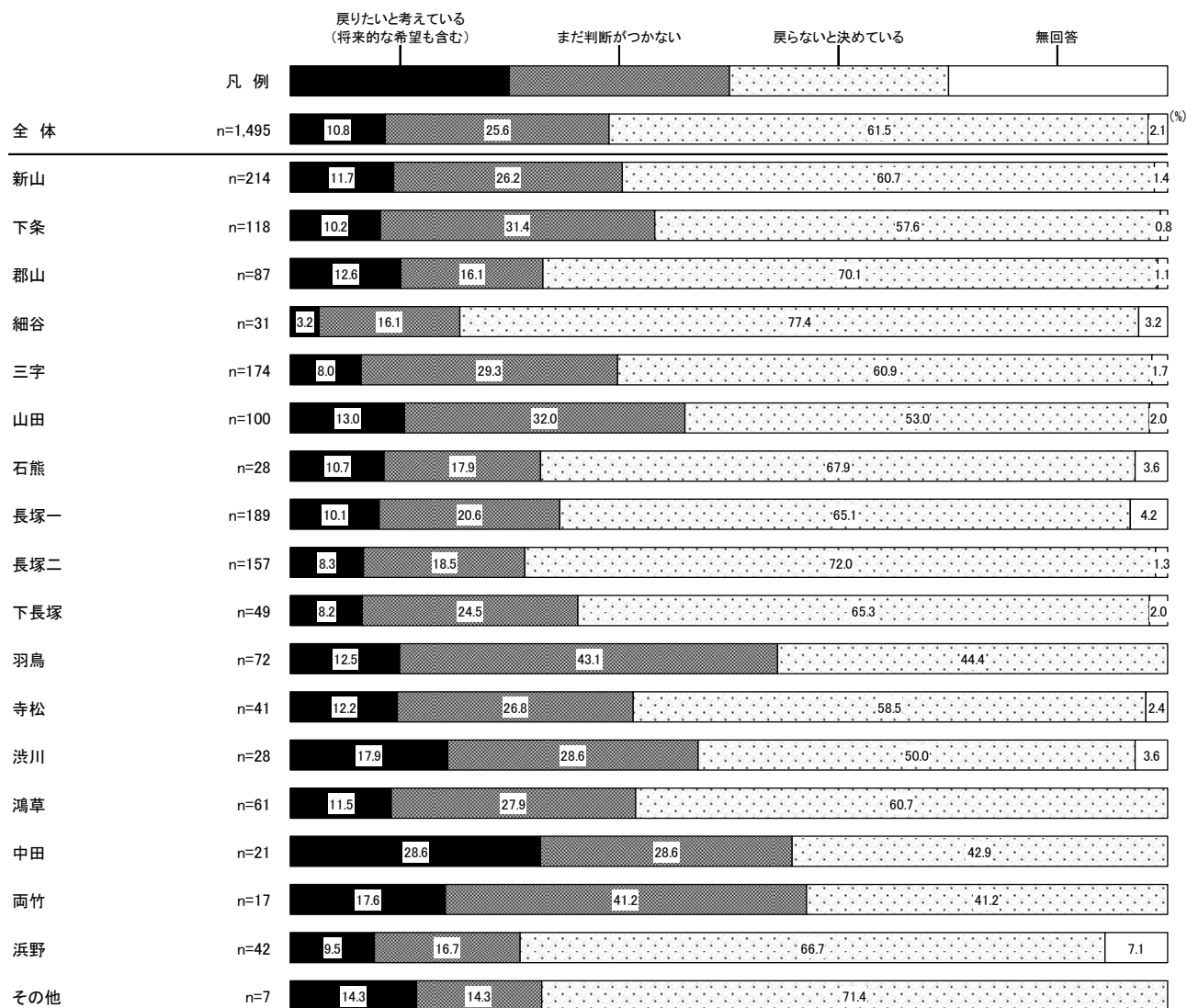
### 3-4-1 双葉町への帰還意向

問10 今後、避難指示が解除された後の双葉町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(〇は1つ)

<図表3-4-1-1 双葉町への帰還意向(年齢別)>



<図表 3-4-1-2 双葉町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>

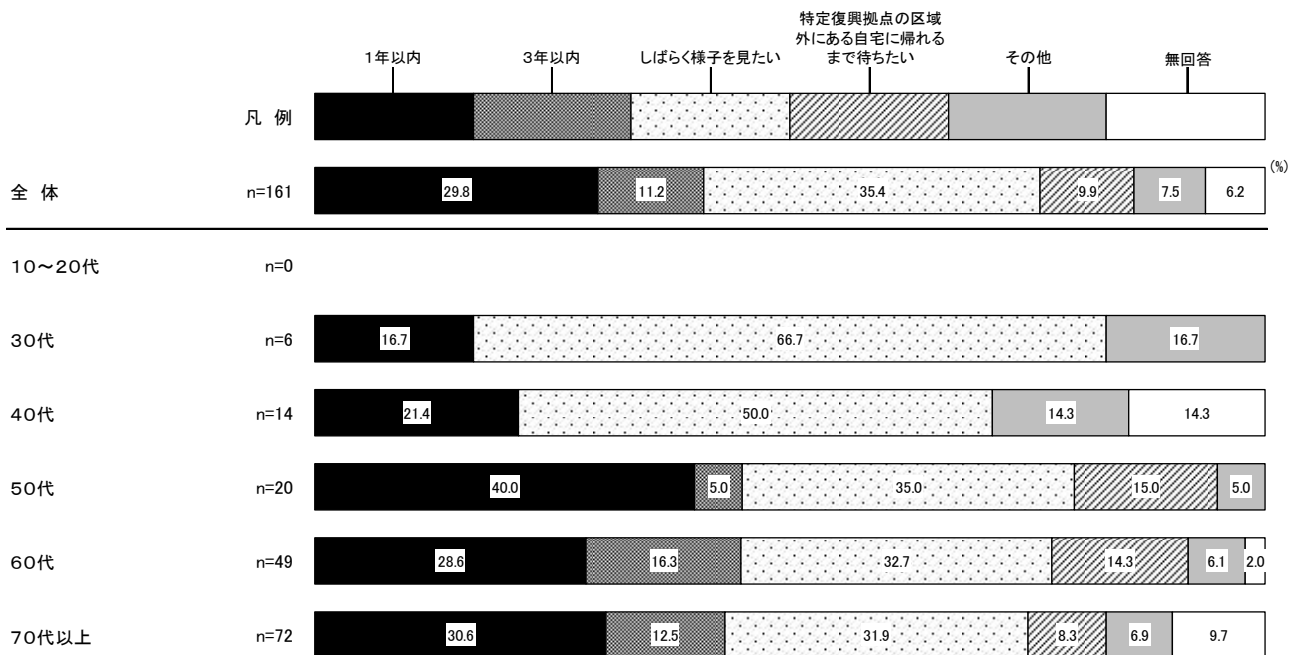


### 3-4-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期

【問10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問11 避難指示が解除されてから、何年以内に戻りたいと考えていますか。（〇は1つ）

<図表3-4-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期（年齢別）>

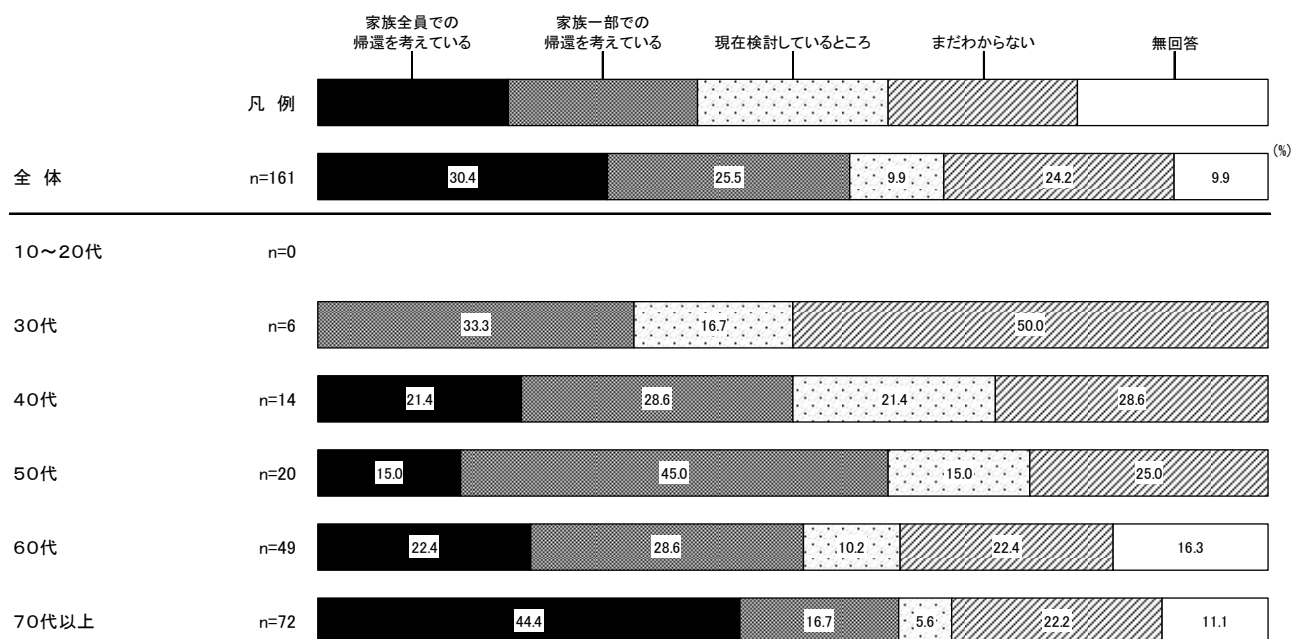


### 3-4-3 双葉町へ帰還する場合の家族

【問10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問12 帰還する場合に家族の全員か一部かについて教えてください。（○は1つ）

<図表3-4-3 双葉町へ帰還する場合の家族>

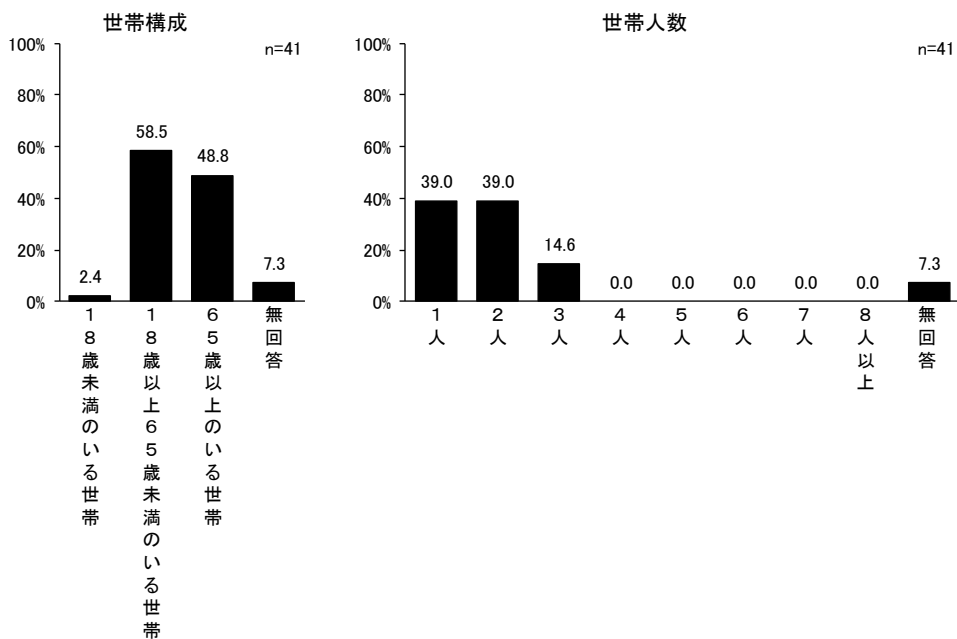


### 3-4-4 双葉町へ帰還した場合の家族の世帯構成・人数 〔家族一部での帰還を考えている方〕

【問12で「4. 家族一部での帰還を考えている」と回答した方にうかがいます。】

問12-1 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

<図表3-4-4 双葉町へ帰還した場合の家族の世帯構成・人数〔家族一部での帰還を考えている方〕>



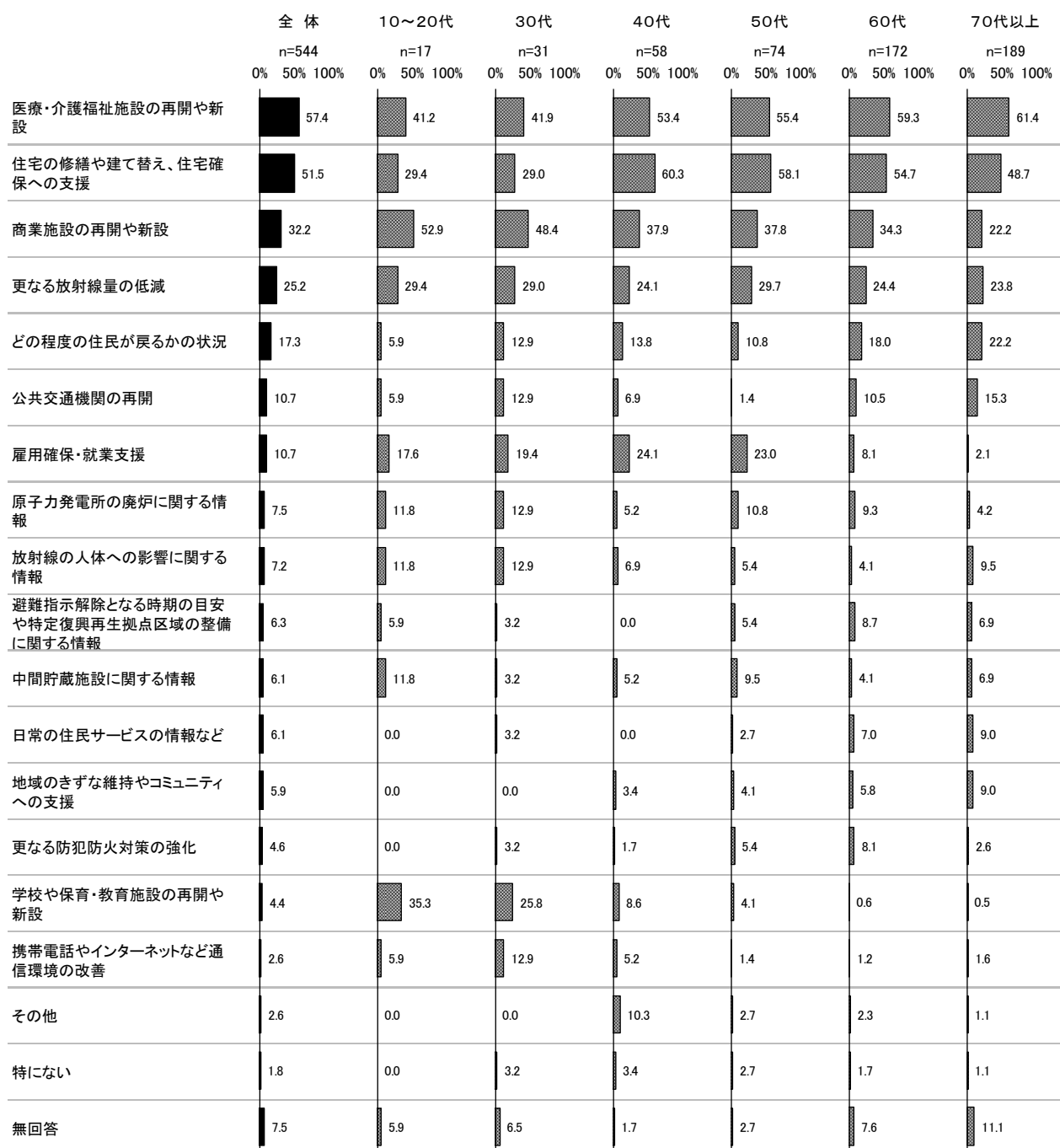


### 3-4-5 双葉町への帰還を判断するために必要なこと

【問10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

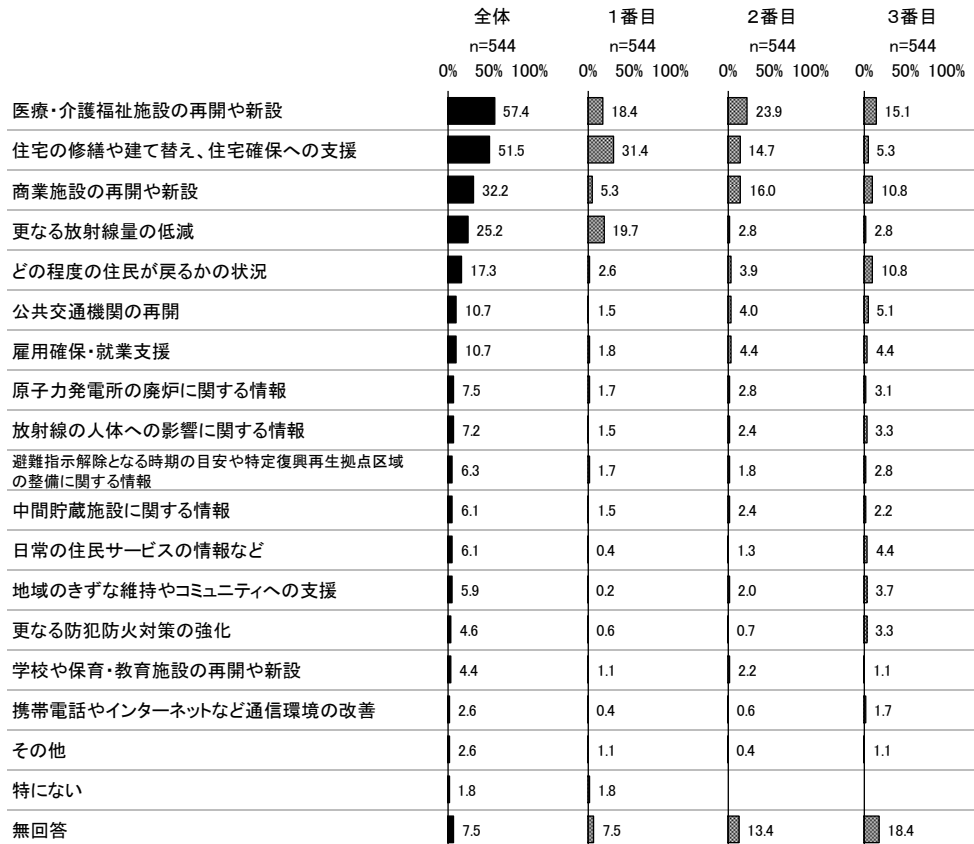
問13 帰還する場合、または双葉町へ戻ることを判断するためにどのような支援や情報が必要と考えますか。重視したいものから順に選択肢番号欄に3つまで選び、具体的な内容欄に支援や情報内容をご記入ください。

<図表3-4-5-1 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（年齢別）>



### Ⅲ 調査結果

<図表3-4-5-2 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（優先順位別）>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

#### 【医療・介護福祉施設の再開や新設について】

- ・ 総合病院はもちろん近くにあってほしいが、町医者、歯科医院も重要だと思う。（30代）
- ・ 厚生病院だけでなく、他の医療関係（医院・クリニック）にも戻ってほしい（40代）
- ・ 双葉厚生病院の再開及び診療科目を多くし、各科の常勤医を配置。（60代）
- ・ 老人二人なので医者がないとこまる。70代以上）

#### 【住宅の修繕や建て替え、住宅確保への支援について】

- ・ 住宅の修繕、建て替え、確保。（30代）
- ・ 7年以上生活していない家を建て替える費用はどこが出してくれるのか？（40代）
- ・ 仕事をする為だけに帰還するので、泊まれる場所の確保。（50代）
- ・ 既に賠償金で住宅を購入しており、双葉町内への新築の資金が不足している。（60代）

#### 【商業施設の再開や新設について】

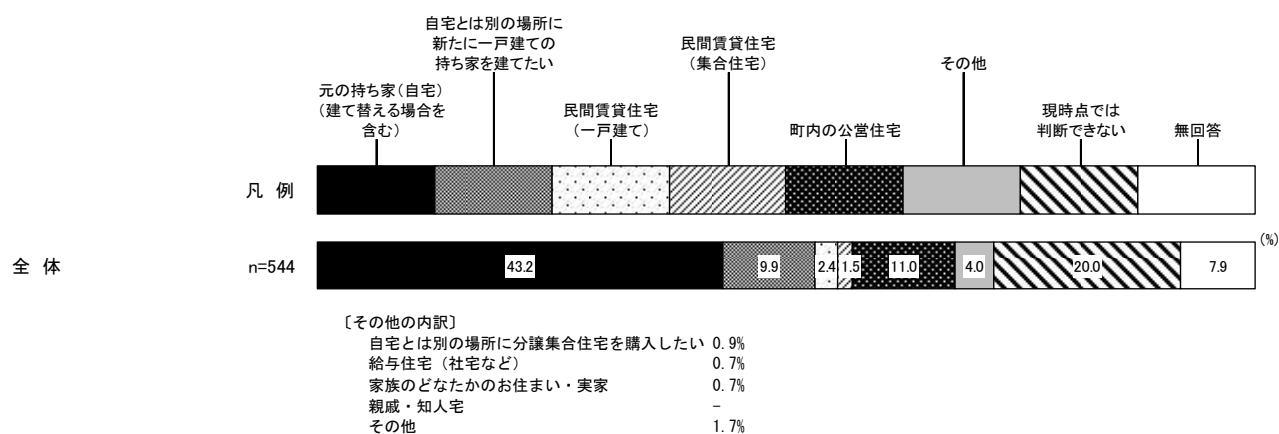
- ・ ある程度生活するために必要な食料・用品など変える商業施設がほしい。（20代）
- ・ 食料品、生活雑貨等日常生活に必要なものを優先的にそろえられる。（30代）
- ・ 大熊～双葉～浪江に大型商業施設が必要。（40代）
- ・ 日常生活に必要なお店が近くにないと、居住は困難。（60代）

### 3-4-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態

【問10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問14 帰還した場合のお住まいは、第一希望としてどのような形態を希望されますか。（○は1つ）

<図表3-4-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態>



### 3-4-7 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向

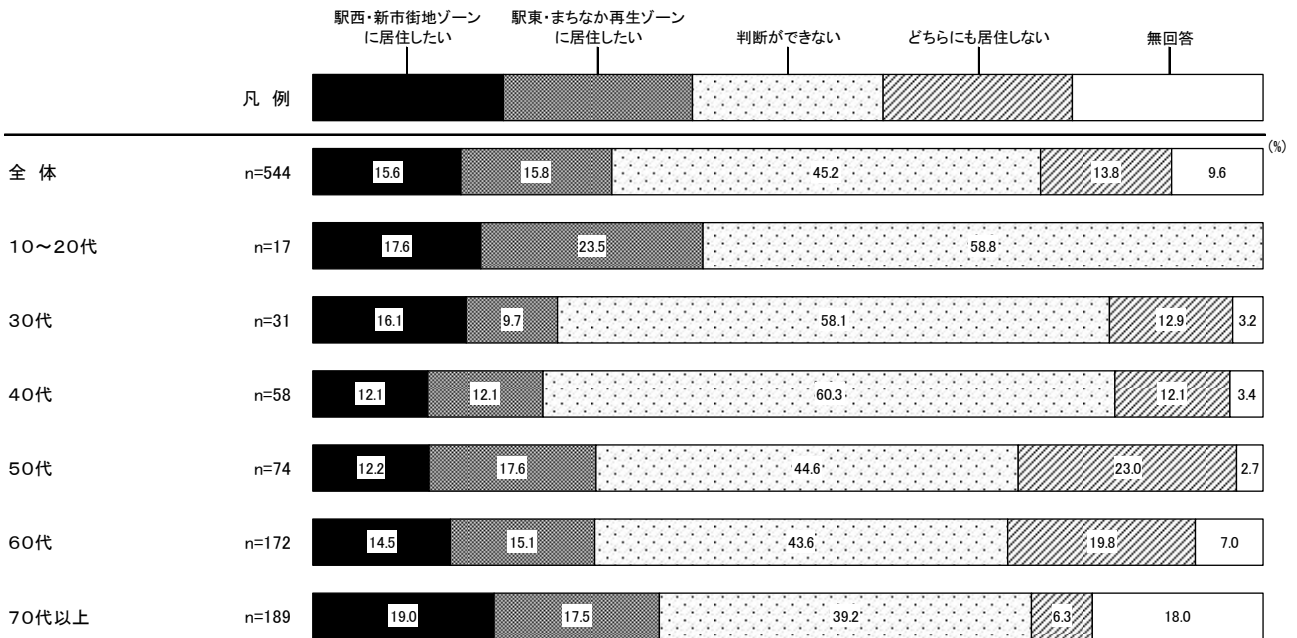
【問10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問15 町では、JR双葉駅の西側の区域を「新市街地ゾーン」と位置づけ、町が主導して先行的に住宅地や生活関連施設の整備を進めることとしております。また、JR双葉駅の東側の区域については、「まちなか再生ゾーン」と位置づけ、既成市街地の再生を目指すこととしております。

「駅西・新市街地ゾーン」や「駅東・まちなか再生ゾーン」への居住に関する意向について、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

※震災発生当時に駅西地区および駅東地区にお住まいの方もお答えください。

<図表3-4-7 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向（年齢別）>

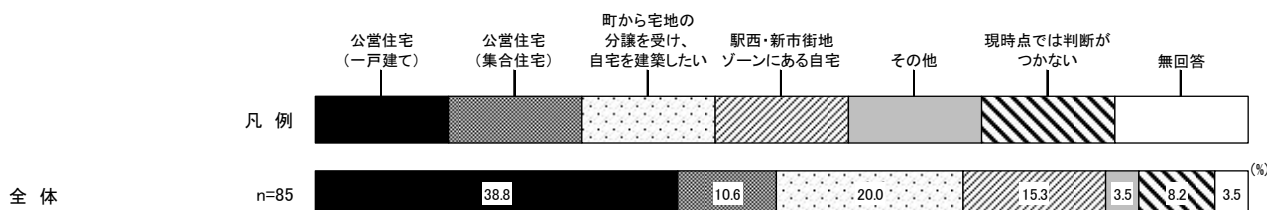


### 3-4-8 「新市街地ゾーン」に居住した場合に希望する住居形態

【問15で「4. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問15-1 町により、JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(〇は1つ)

＜図表3-4-8 「新市街地ゾーン」に居住した場合に希望する住居形態＞

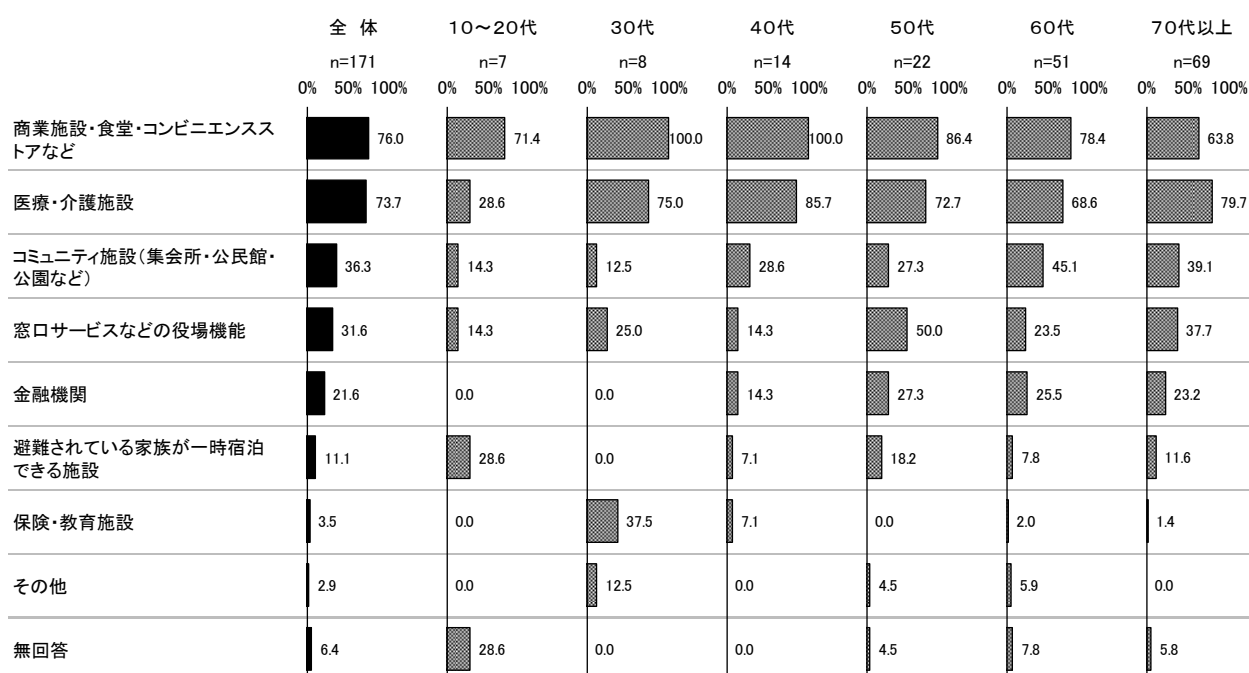


### 3-4-9 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設

【問15で「4. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「1. 駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問15-2 「駅西・新市街地ゾーン」および「駅東・まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連施設を教えてください。(〇は3つまで)

＜図表3-4-9 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設 (年齢別)＞

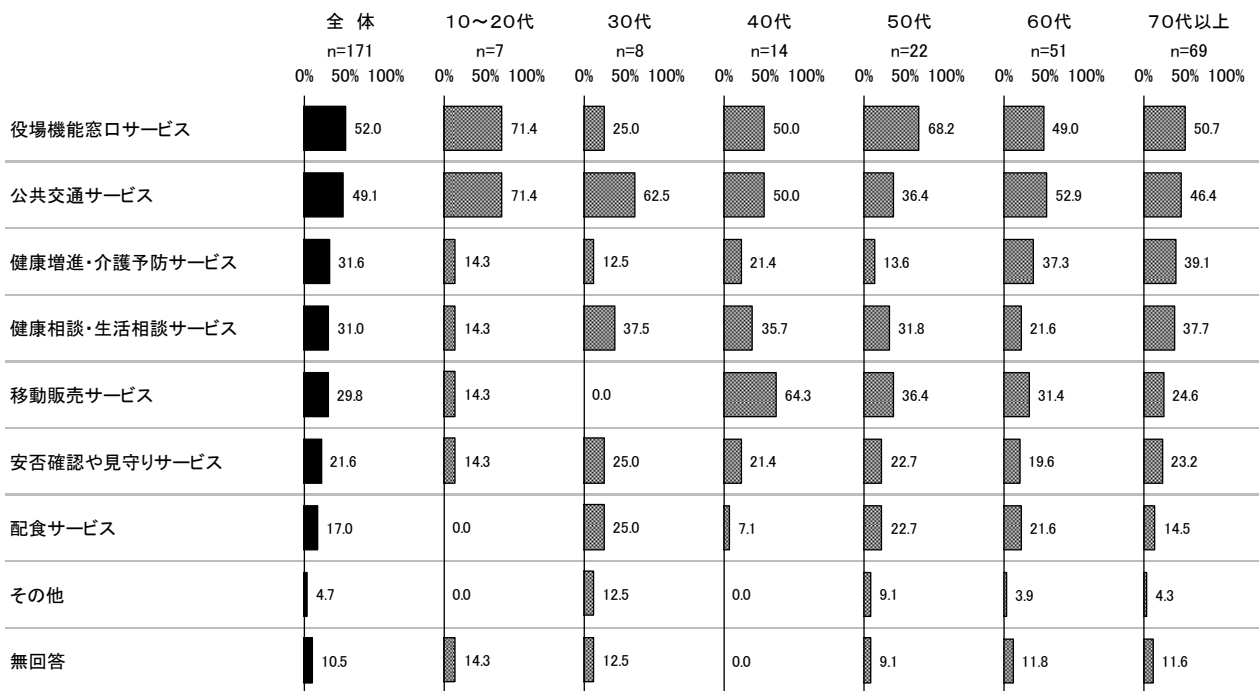


### 3-4-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス

【問15で「4. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「1. 駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問15-3 「駅西・新市街地ゾーン」および「駅東・まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連サービスを教えてください。(〇は3つまで)

<図表3-4-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス（年齢別）>

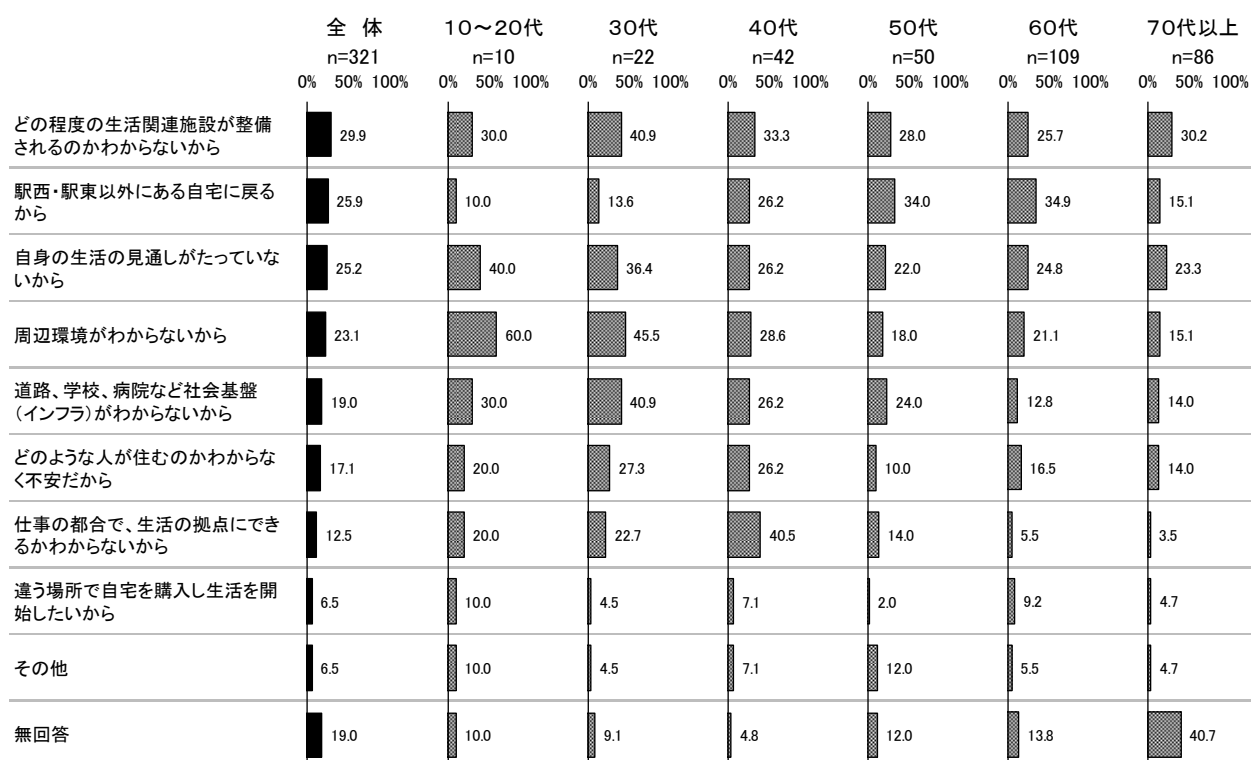


### 3-4-1-1 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を判断できない理由・居住しない理由

【問15で「2. 判断ができない」「3. どちらにも居住しない」と回答した方にうかがいます。】

問15-4 「駅西・新市街地ゾーン」および「駅東・まちなか再生ゾーン」への居住について、現時点で判断ができない、居住しない理由はどのようなことからですか。(〇はいくつでも)

＜図表3-4-1-1 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を判断できない理由・居住しない理由（年齢別）＞

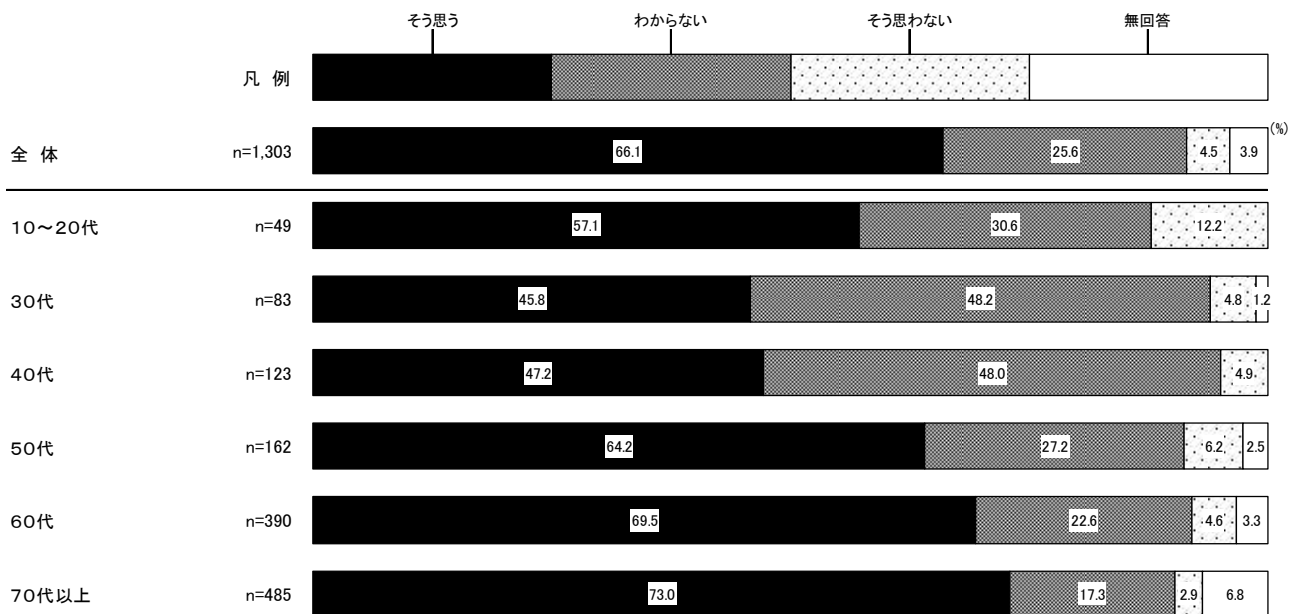


### 3-4-12 双葉町との「つながり」を保ちたいか

【問10で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問16 双葉町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

<図表3-4-12 双葉町との「つながり」を保ちたいか（年齢別）>



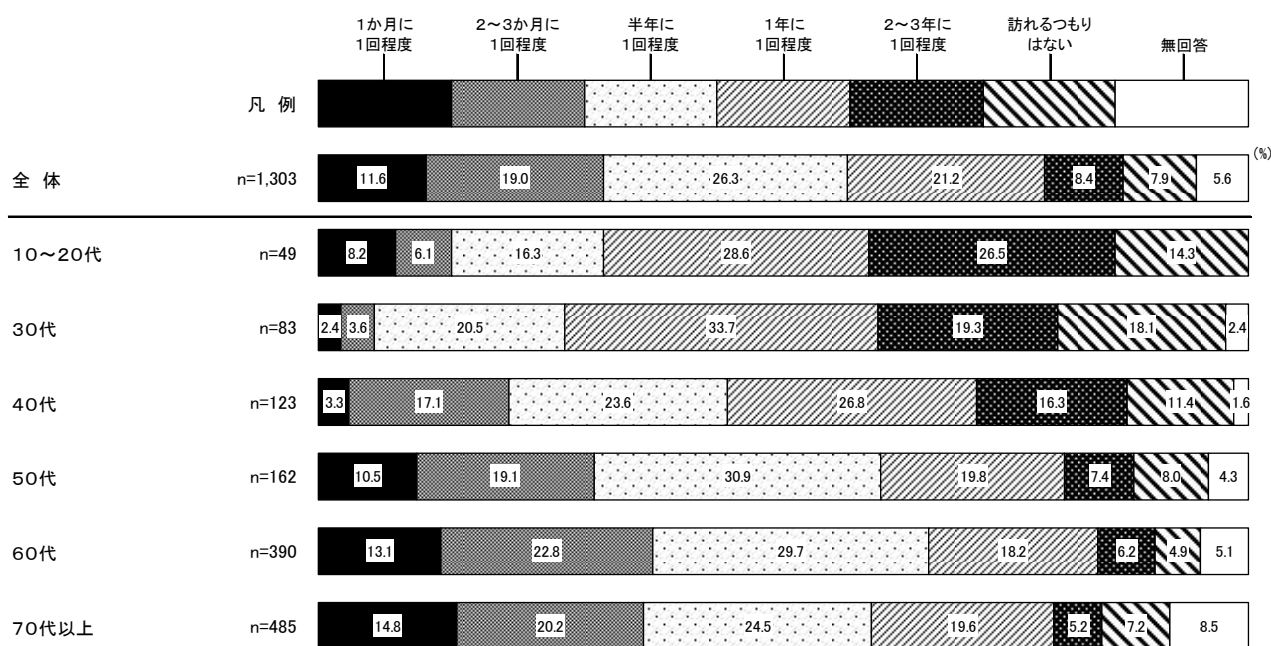


### 3-4-13 双葉町を訪れたい頻度

【問10で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問17 双葉町をどのくらいの頻度で訪れたいと思いますか。(〇は1つ)

<図表3-4-13 双葉町を訪れたい頻度(年齢別)>



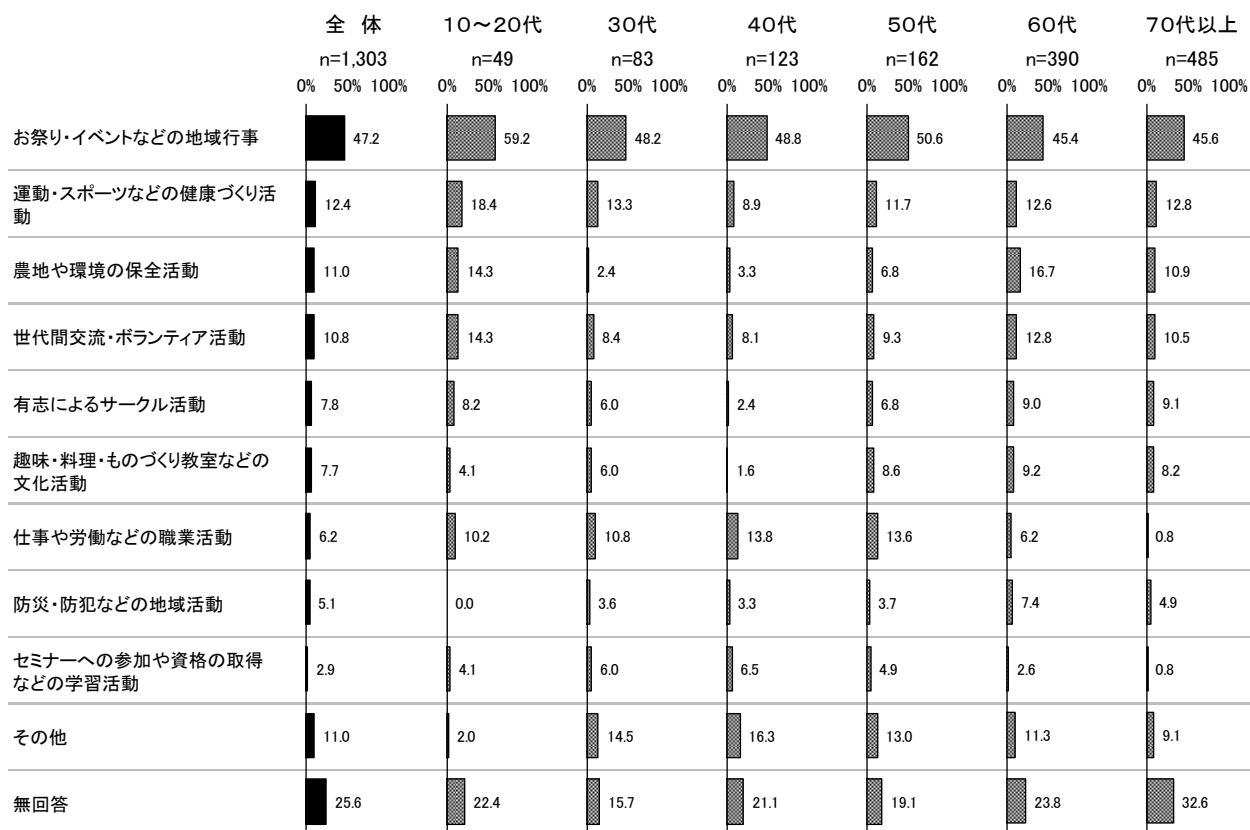
### 3-4-14 双葉町を訪れたいくなる取り組み・行事・イベント

【問10で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問18 どのような取り組みや行事、イベントなどがあれば、双葉町を訪れたいと思いますか。

(○はいくつでも)

<図表3-4-14 双葉町を訪れたいくなる取り組み・行事・イベント（年齢別）>

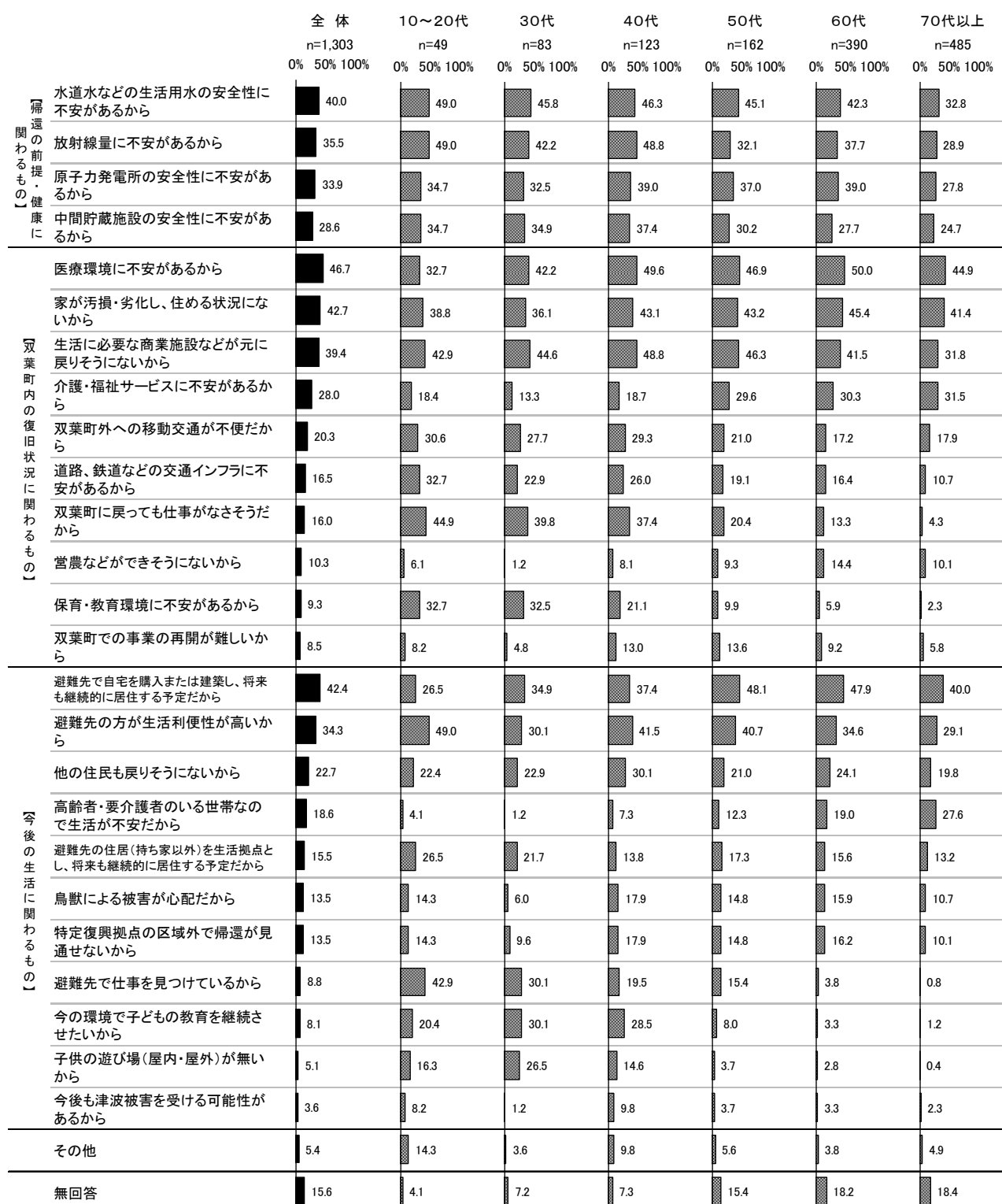


### 3-4-15 双葉町への帰還を判断できない理由・帰還しない理由

【問10で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問19 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

＜図表3-4-15 双葉町への帰還を判断できない理由・帰還しない理由（年齢別）＞



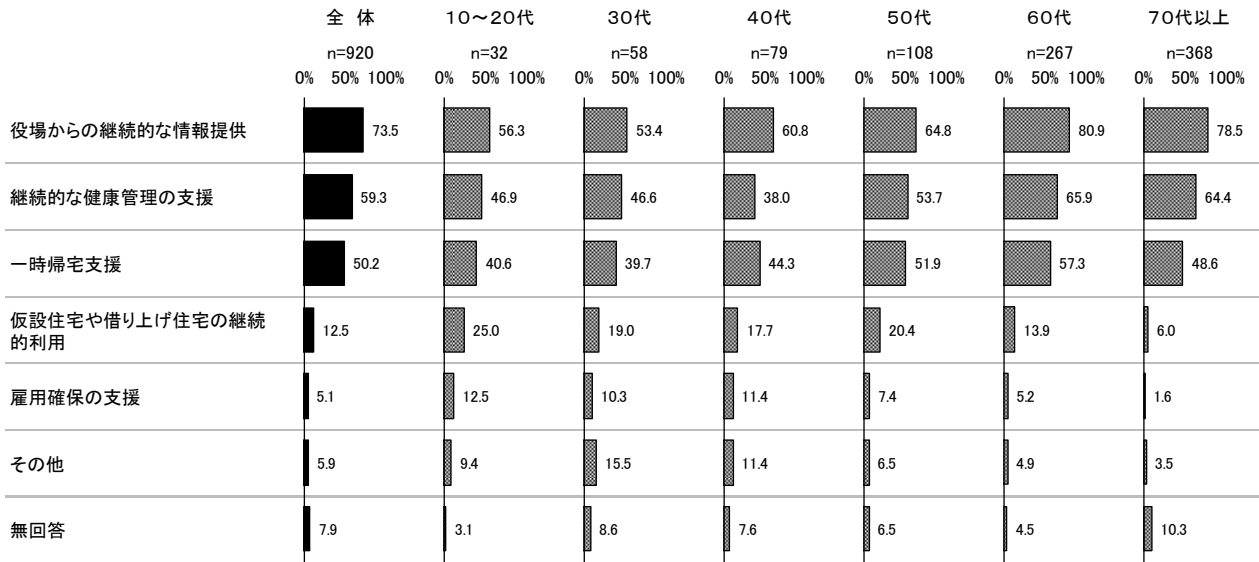
Ⅲ 調査結果

3-4-16 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援

【問10で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問20 帰還しない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。(〇はいくつでも)

<図表3-4-16 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援(年齢別)>

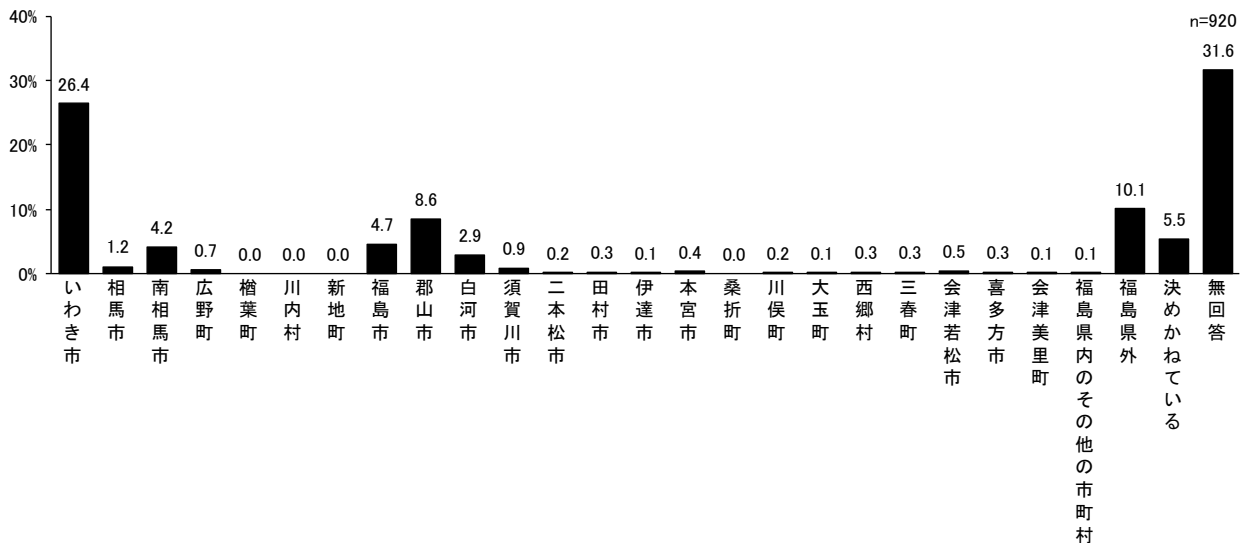


3-4-17 双葉町に帰還しない場合に居住を希望する自治体

【問10で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問21 帰還しない場合に、今後、居住を希望する(既に居住している場合を含む)自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-4-17 双葉町に帰還しない場合に居住を希望する自治体>



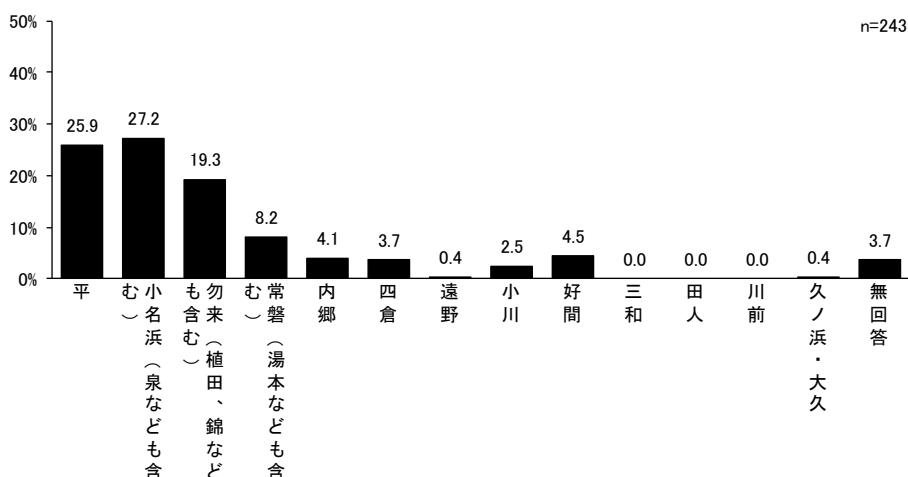
### 3-4-18 双葉町に帰還しない場合に居住を希望するいわき市の地区

【問10で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問21 帰還しない場合に、今後、居住を希望する（既に居住している場合を含む）自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。

※いわき市については地区名を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-4-18 双葉町に帰還しない場合に居住を希望するいわき市の地区>

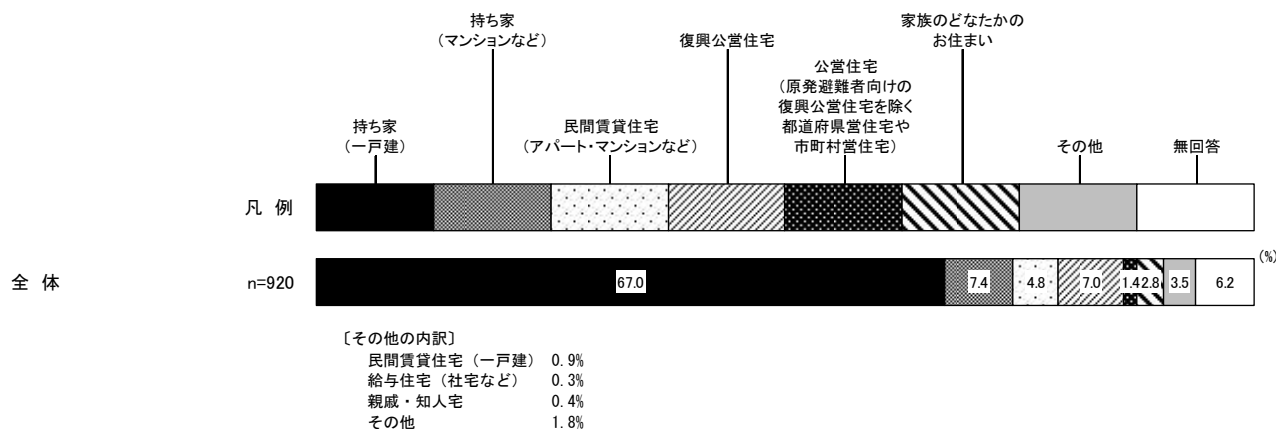


### 3-4-19 双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

【問10で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問22 帰還しない場合に、今後のお住まいとして希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

<図表3-4-19 双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>



## 3-5 事業の再開

### 3-5-1 帰還した場合の町内での事業の再開意向

【震災前に双葉町で自営業（農業・林業・漁業・畜産業・商業・工業など）を営んでいた方にうかがいます。】

問23 避難指示が解除となり帰還した場合、町内（特定復興拠点および中野地区復興産業拠点）で事業を再開したいと思いますか。（〇は1つ）

＜図表3-5-1 帰還した場合の町内での事業の再開意向＞

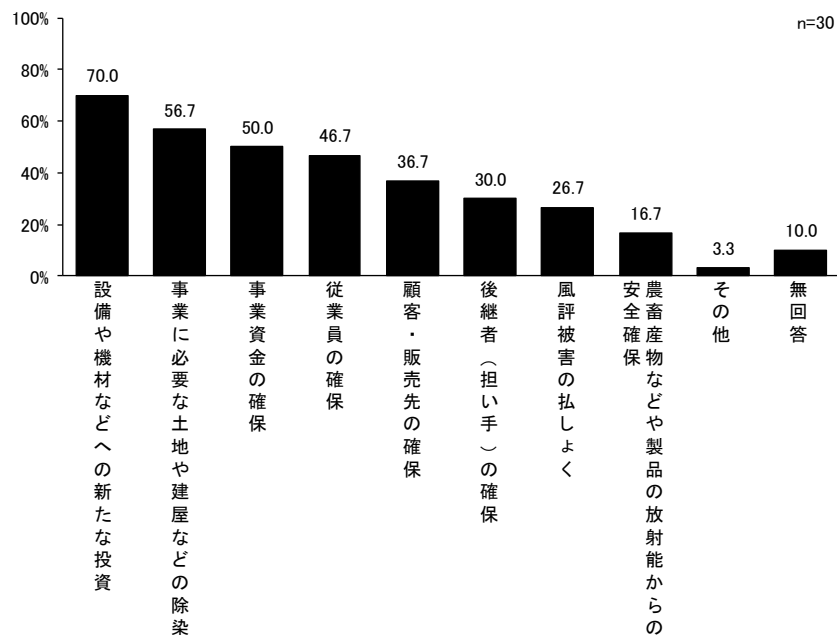


### 3-5-2 町内で事業を再開した場合の課題

【問23で「3. 再開したい」と回答した方にうかがいます。】

問23-1 町内で事業を再開する際の課題があればお教えてください。（〇はいくつでも）

＜図表3-5-2 町内で事業を再開した場合の課題＞

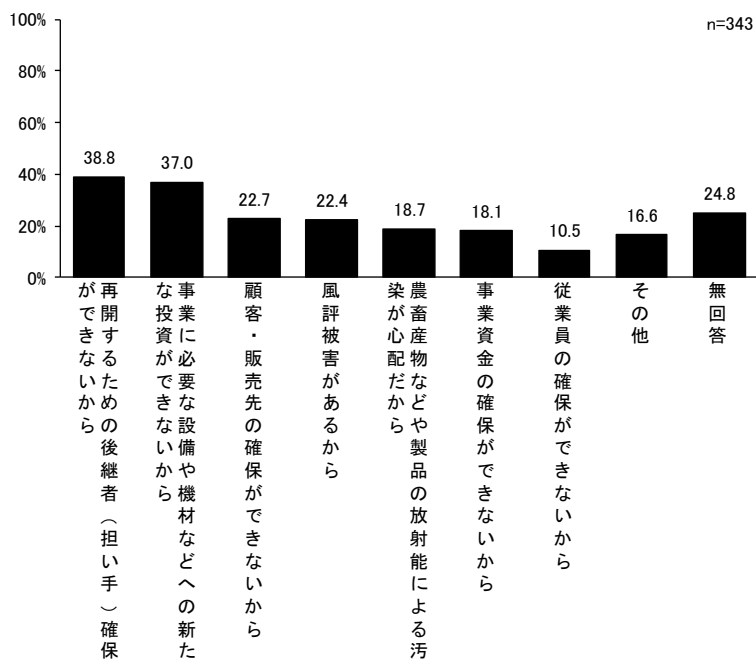


### 3-5-3 町内で事業を再開しない理由・判断ができない理由

【問23で「1. 判断ができない」「2. 再開するつもりはない」と回答した方にうかがいます。】

問23-2 事業を再開しない理由、判断ができない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-5-3 町内で事業を再開しない理由・判断ができない理由>

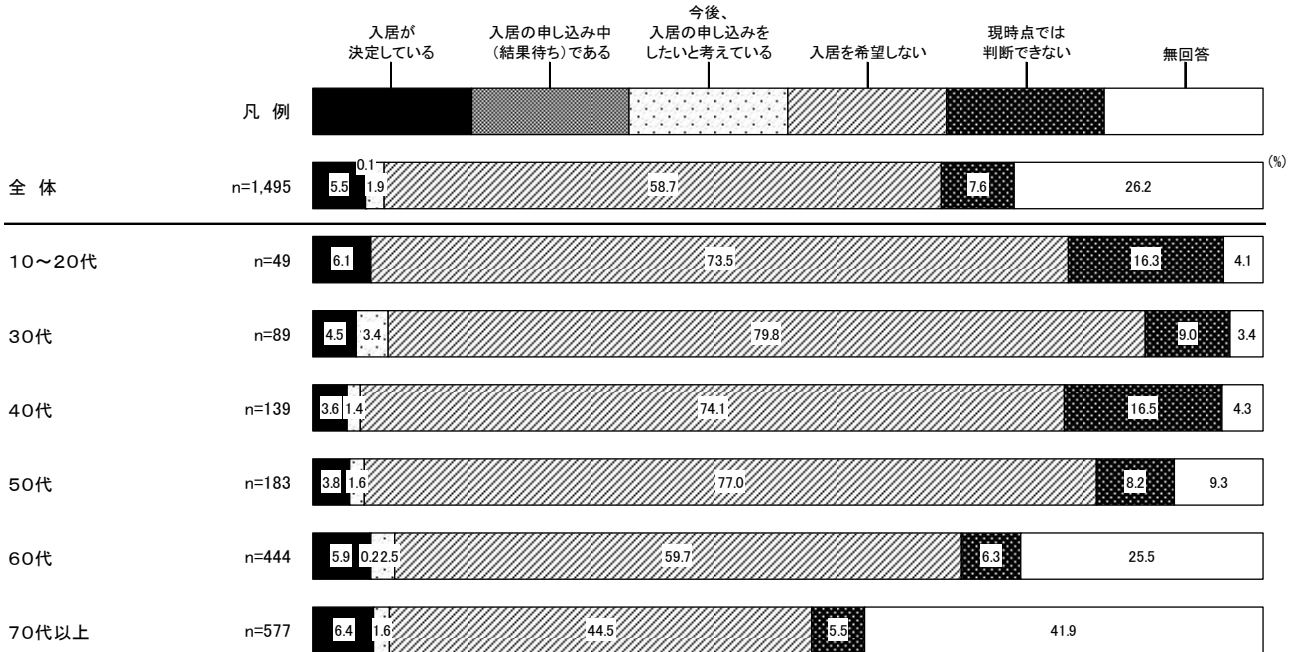


## 3-6 復興公営住宅

### 3-6-1 福島県営の復興公営住宅（双葉町外）への入居意向

問24 福島県が整備したまたは整備を予定している福島県営の復興公営住宅（双葉町外）への入居意向について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-6-1 福島県営の復興公営住宅（双葉町外）への入居意向（年齢別）>

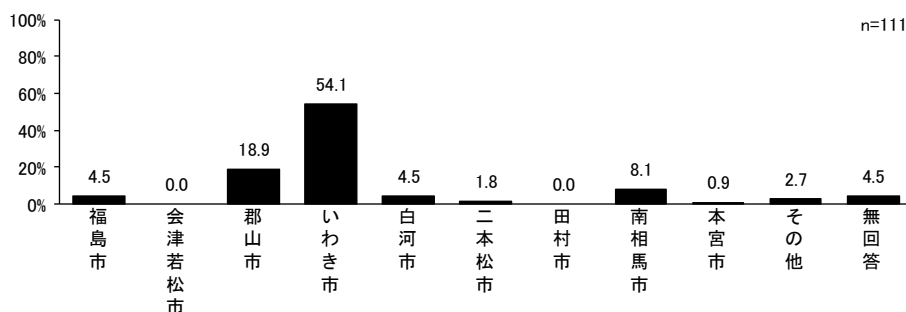


### 3-6-2 入居（整備）を希望する（決まっている）復興公営住宅の立地市町村

【問24で「1. 入居が決定している」「2. 入居の申し込み中（結果待ち）である」「3. 今後、入居の申し込みをしたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問24-1 入居（整備）を希望する（決まっている）復興公営住宅の立地市町村について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-6-2 入居（整備）を希望する（決まっている）復興公営住宅の立地市町村>



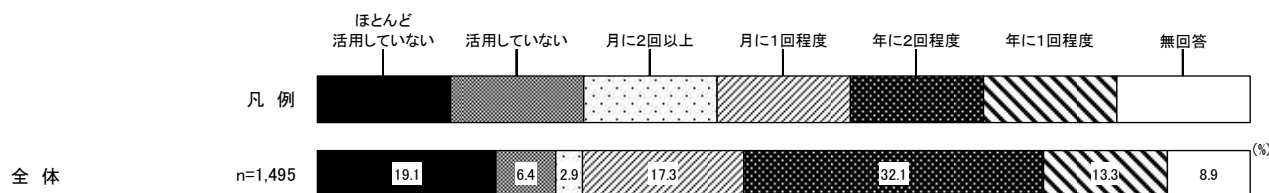


## 3-7 町内への一時立ち入り

### 3-7-1 町内への一時立ち入りの活用頻度

問25 町内への一時立ち入りはどの程度の頻度で活用していますか。(〇は1つ)

<図表3-7-1 町内への一時立ち入りの活用頻度>

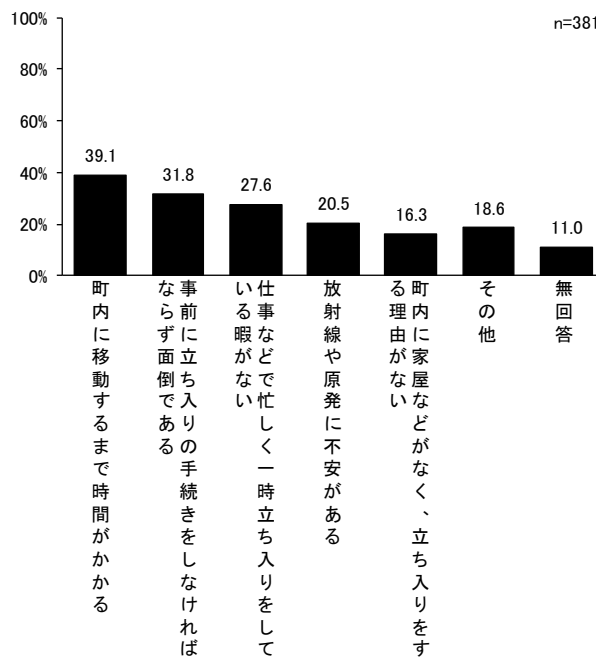


### 3-7-2 町内への一時立ち入りを活用しない理由

【問25で「1. ほとんど活用していない」「2. 活用していない」と回答した方にうかがいます。】

問25-1 町内への一時立ち入りを活用していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-7-2 町内への一時立ち入りを活用しない理由>



## 3-8 不動産の取り扱い

### 3-8-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向

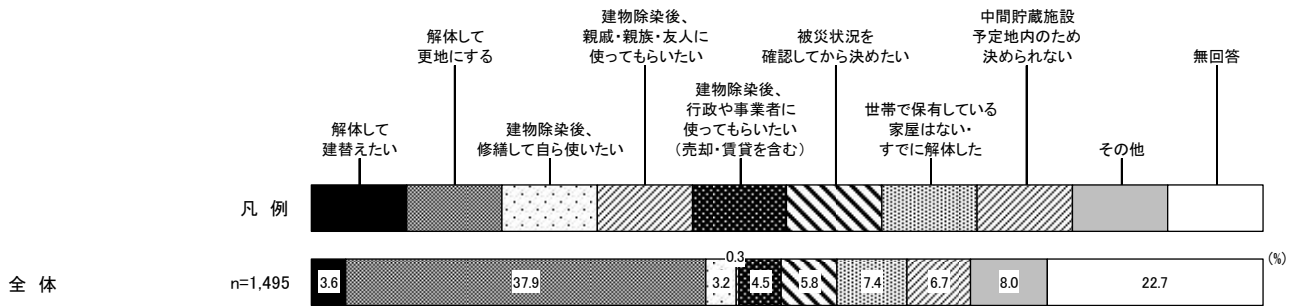
問26 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。

現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(〇は1つ)

※特定復興拠点および両竹・浜野地区の避難指示解除準備区域においては、既定の書類を揃えてお申し込みいただければ環境省が家屋の解体を順次実施します。

解体をご希望の方は、環境省が設置している「被災家屋などの解体申請受付窓口（双葉町役場いわき事務所内）」へご相談ください。

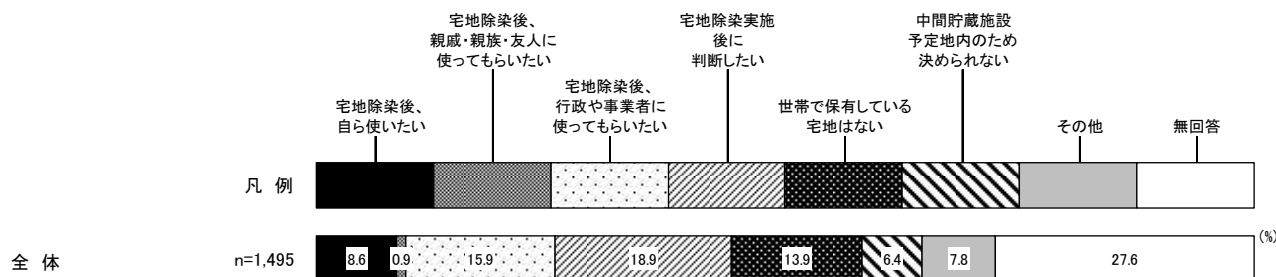
<図表3-8-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向>



### 3-8-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向

問27 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。  
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(〇は1つ)

<図表3-8-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向>

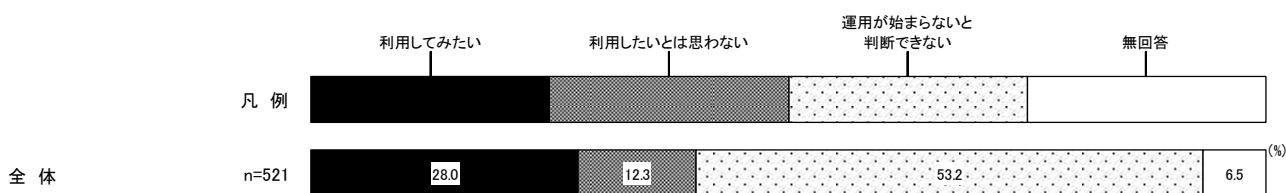


### 3-8-3 「空き地バンク」の利用動向

【問27で「3. 宅地除染後、行政や事業者に使ってほしい」「4. 宅地除染実施後に判断したい」と回答した方にうかがいます。】

問27-1 町では現在、空き地の活用に向け、売却や賃借を希望する空き地の情報を紹介する「空き地バンク」の運用開始を検討しています。「空き地バンク」について、利用してみたいと思いますか。(〇は1つ)

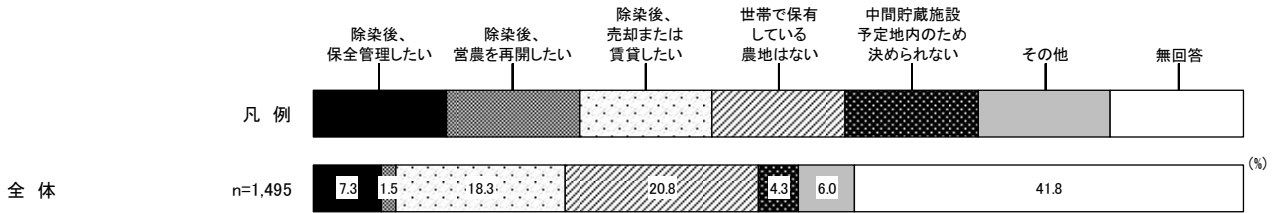
<図表3-8-3 「空き地バンク」の利用動向>



### 3-8-4 双葉町内に保有する農地の利用意向

問28 町内に保有している農地（田・畑）の利用意向についてうかがいます。  
現時点で、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

<図表3-8-4 双葉町内に保有する農地の利用意向>

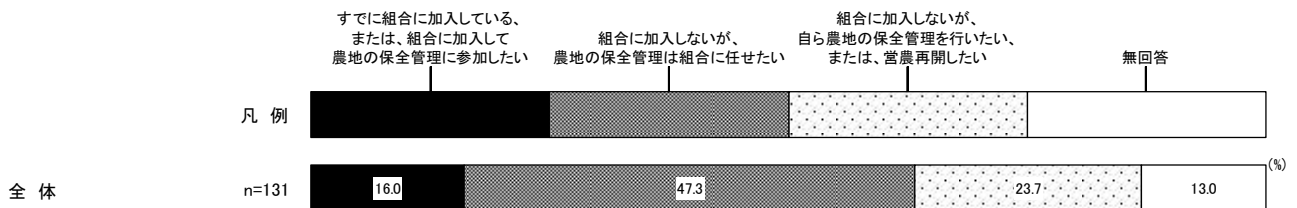


### 3-8-5 農地保存を目的とする組合への加入意向

【問28で「1. 除染後、保全管理したい」「2. 除染後、営農を再開したい」と回答した方にうかがいます。】

問28-1 町では、農地の保全を目的とする組合を今年5月に設立しました。  
組合への加入などについて、現時点でのお考えをお聞かせください。（〇は1つ）

<図表3-8-5 農地保存を目的とする組合への加入意向>

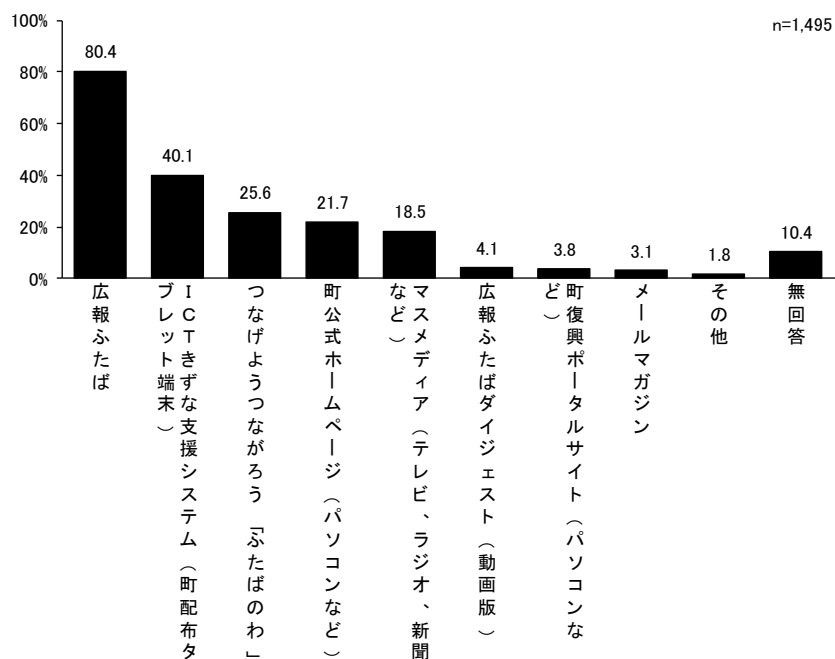


## 3-9 情報入手・コミュニケーション

### 3-9-1 双葉町からの情報の入手経路

問29 あなたは町からの情報を主にどのような方法で入手していますか。(〇は3つまで)

<図表3-9-1 双葉町からの情報の入手経路>

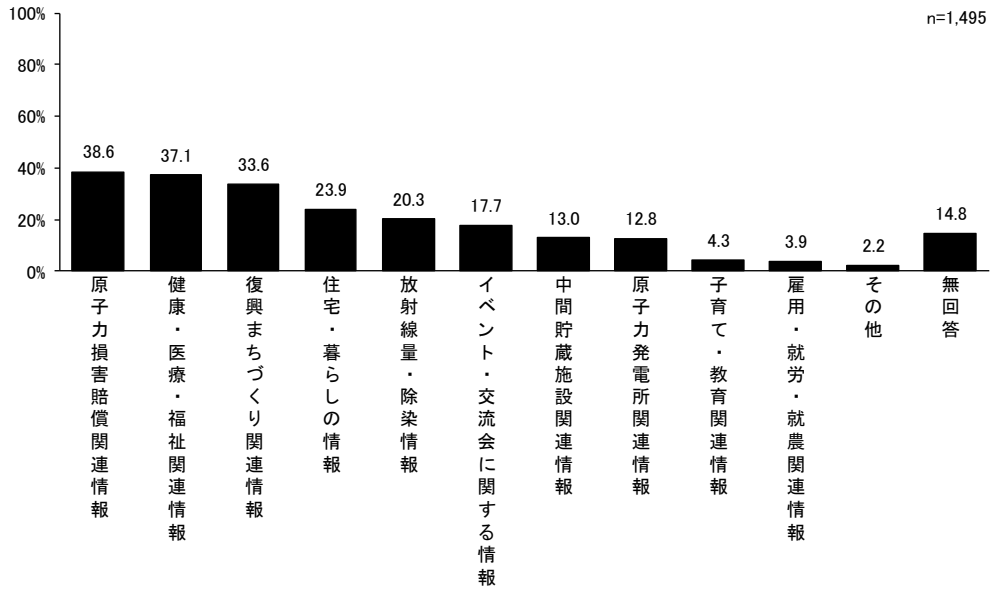


Ⅲ 調査結果

3-9-2 特に知りたい、関心のある情報

問30 あなたが特に知りたい、関心がある情報は何か。(〇は3つまで)

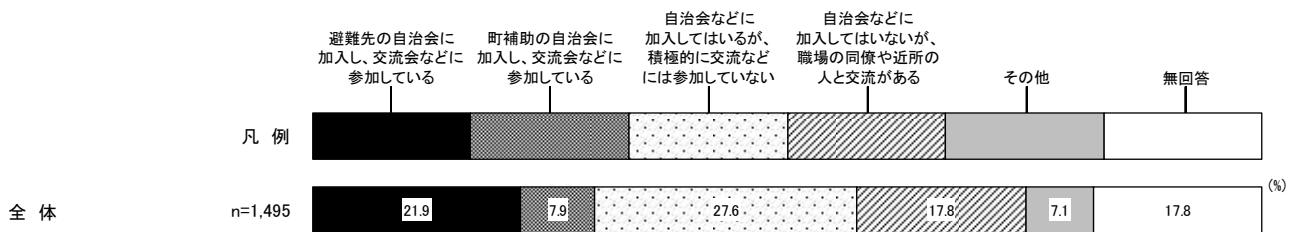
<図表3-9-2 特に知りたい、関心のある情報>



3-9-3 避難先での自治会などへの加入状況

問31 あなたが避難先で加入している自治会などの組織はありますか。(〇は1つ)

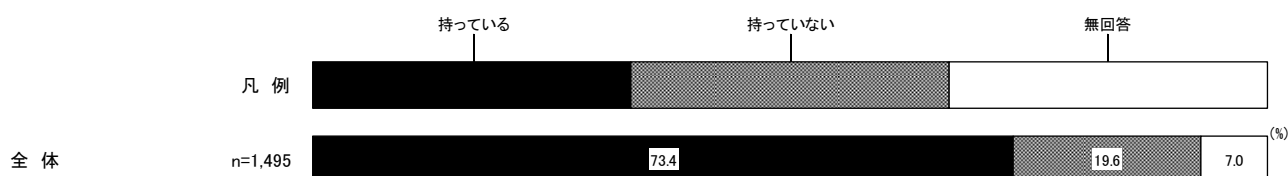
<図表3-9-3 避難先での自治会などへの加入状況>



### 3-9-4 「ICTきずな支援システム」の保有状況

問32 町が無料配布している「ICTきずな支援システム（タブレット端末）」は持っていますか。  
 (○は1つ)

<図表3-9-4 「ICTきずな支援システム」の保有状況>

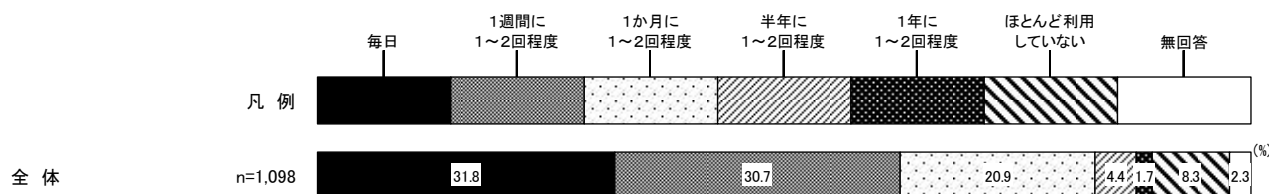


### 3-9-5 「ICTきずな支援システム」の利用頻度

【問32で「1. 持っている」と回答した方にうかがいます。】

問32-1 「ICTきずな支援システム（タブレット端末）」は、どれくらいの頻度で利用していますか。(○は1つ)

<図表3-9-5 「ICTきずな支援システム」の利用頻度>



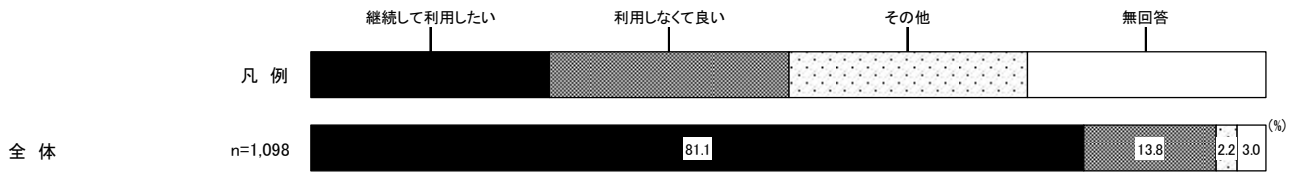
Ⅲ 調査結果

3-9-6 「ICTきずな支援システム」の継続利用意向

【問32で「1. 持っている」と回答した方にうかがいます。】

問32-2 「ICTきずな支援システム（タブレット端末）」の貸し出しは平成32年3月末までの予定となっておりますが、それ以降も継続して利用したいとお考えですか。（○は1つ）

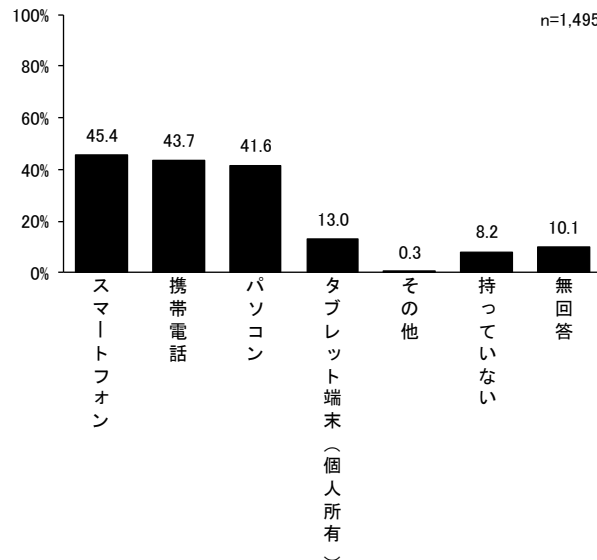
<図表3-9-6 「ICTきずな支援システム」の継続利用意向>



3-9-7 「ICTきずな支援システム」以外の情報端末機器の保有状況

問33 町が配布している「ICTきずな支援システム（タブレット端末）」のほかに、どのような情報端末機器をお持ちですか。（○はいくつでも）

<図表3-9-7 「ICTきずな支援システム」以外の情報端末機器の保有状況>



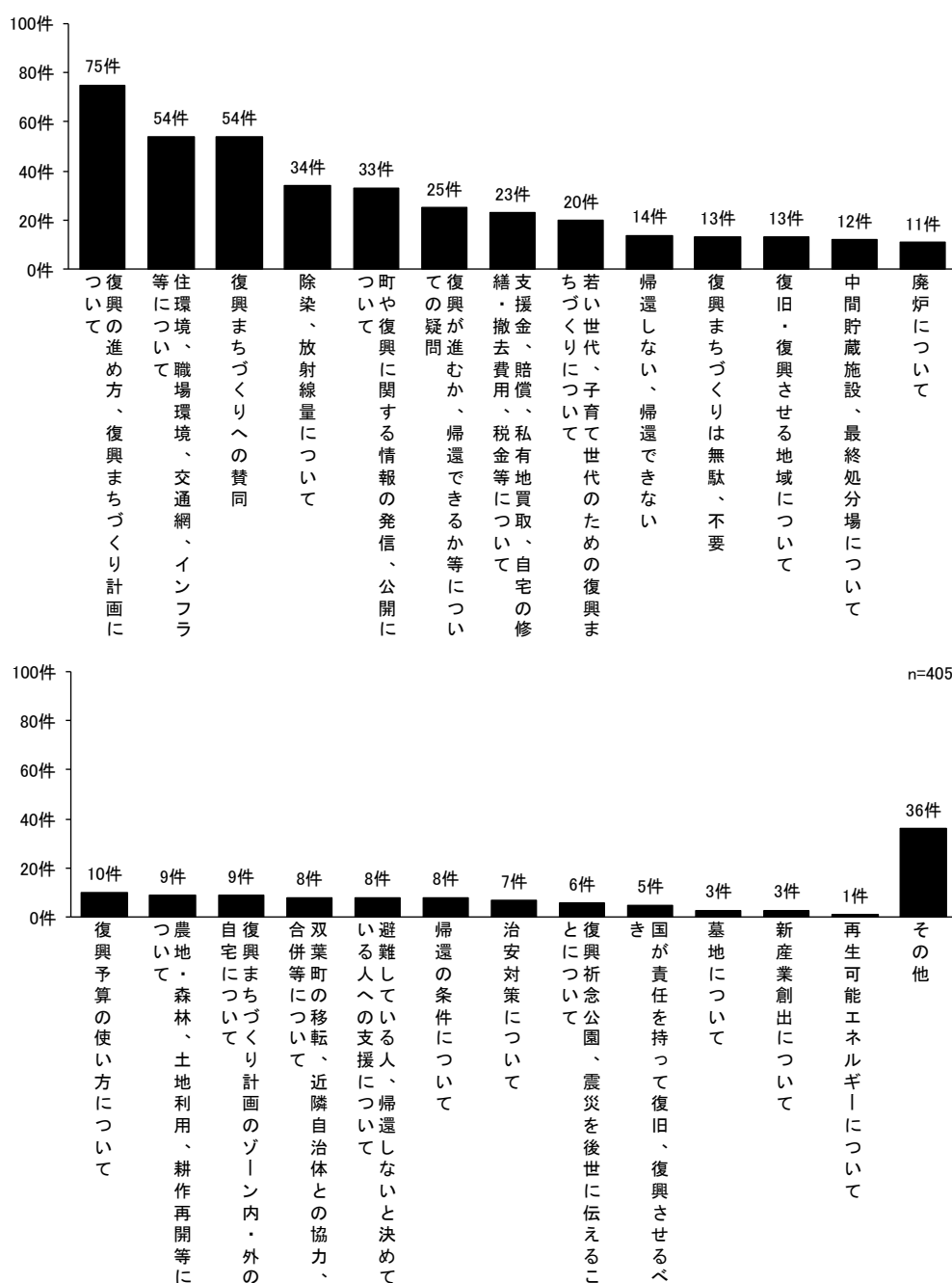


## 3-10 意見・要望

### 3-10-1 双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望

問34 今後、町が町内の復興を進めていくにあたり、あなたのご意見・ご感想など、ご自由にお書きください。

<図表3-10-1 双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望>



### Ⅲ 調査結果

上位項目について主な意見は以下のとおり。

#### 【復興の進め方、復興まちづくり計画について】

- ・ 少数の双葉に戻る人のためにこんなに税金を使うのはおかしいと思う。戻らない人のために補助金等を給付したらいいと思う。双葉に戻る人の数は、アンケート等でおおよそ分かると思うので、それを元にもう少しコンパクトな町作りをしてほしい。避難先で新しい生活をしている人の事も考えてほしい。(30代)
- ・ 今ある建物を修善して使用するのではなく、全て解体し土壌もはぎとり、一から立て直してほしい。やるなら徹底的にやってほしい。修善して使用する建物では、除染をしても汚染が付着していると思うと利用したくない。まだ試行錯誤しているとは同うが、地図上だけで新市街地ゾーン、まちなか再生ゾーン等と記載されてもイメージがつかない。もっと具体的に説明してほしい。(40代)
- ・ 新しい双葉町ではなく、震災前の双葉町での復興、復旧を望む。(40代)
- ・ 双葉町民が復興拠点等の場所、地域間で不公平なことがおこらない様をお願いします。(例えば場所ごとに損害賠償額やその期間が変わってくるとかはなしにしてほしい)(50代)
- ・ 戻りたいと思っている方々の要望を良く聞いて取り入れて欲しい。(50代)
- ・ 産業・商業・企業の誘致も、大事な事だと思いますがまず、今生きている町民が「帰りたい」と思える場所を造らなければ、子や孫も帰らないと思う。とにかく「安心」を提供して下さい。(50代)
- ・ 放射線にかかわる不安を可能な限り少なくすることが大切だと考えます。再び避難するような状況にならぬようにした上で、新しい町を創ることだと考えます。(60代)
- ・ 人が住める様、町作り・村作りを進めて頂きたい。(70代以上)
- ・ 双葉町にインターチェンジが作られ利便性は良くなると思うが、草木が繁る我が町を見るのは悲しい気持ちでいっぱいになる。復興の足音が聞こえる見えるような景色にしてほしい。(70代以上)
- ・ 復興を進めていくためには一番大事は除染ではないでしょうか。と同事にあれた土地の再生だと思います。復興といって新しい建て物がたてても復興にはつながらないと思います(70代以上)

#### 【住環境、職場環境、交通網、インフラ等について】

- ・ 復興については、本当にありがとうございます。皆様のおかげで、少しずつですが、電車が開通したり、町が、元の生活までは、いきませんが、人がおとずれることにより、復興につながっていきます。学校→リニューアルしてカフェなど、いこいの場をつくってほしいです。(30代)
- ・ 除染やインフラ等をしっかりやることだと思います。頑張ってください。(30代)
- ・ 双葉町の復興にあたって、自宅の修繕、確保、医療機関商業施設等が、完全になっていくのかという不安から判断が困難になってしまう。(40代)

- ・ 戻りたいとは思っていますが、確実な帰還年数が出ないため悩めます。目に見えない放射線に対しても不安があります。年々、子供達も大きくなり、学校に進むにつれて、教育の場の選択のなさに心配になります。充実した生活を送れるようにしてほしいと思います。(40代)
- ・ 一時帰宅した際、駅のコミュニティーホールにトイレ休暇して来ます。いこいの場的な場所があるといいのにと感じて来ます。お墓参りなどで懐かしい人と待ち合わせの場所があるといいなと感じながらいます。(50代)
- ・ 双葉町で営業している店もあるので、他の店も営業出来るように、望みます。(50代)
- ・ 交通機関の整備がますます重要と考える。山林の除染も必要と考える。(60代)
- ・ 駅西、駅東ともに道路と歩道を含めて町の再開発を進めるべきではないか？道路と駐車スペースの確保は今後の確保すべき優先課題では。何を作っても上記の空間が無ければ、人も車も歩かない。(60代)
- ・ 旧双葉の町民が双葉町に集まる様なイベントを企画できればなど思う。(60代)
- ・ 町内スーパーマーケット、病院、タクシー、ガソリンスタンド水道早く、電気早く前進してもらいたい。(60代)

#### 【復興まちづくりへの賛同】

- ・ 除々にではあるが、復興に向かって進んでいるように思いました。(20代)
- ・ 復興していくことを望むが安全性を優先して進めてほしいと思う。(30代)
- ・ 町役場の皆さまには、大変な苦勞をしていることと思いますが、私、個人としてはすぐには戻らず状況判断して決めたいと思っているので引き続き頑張ってもらいたい。(30代)
- ・ 双葉町が早くきれいなふるさとにもどるよう願っています。(40代)
- ・ 思い出す町はとても自然豊かで人も良い。今、住んでる所でも町内活動に参加して頑張ってます。双葉も風化したり、取り残された地区、人々もいると思います。団結力が強かった町。どうか少しでも昔の町に戻れるよう祈ってます。(50代)
- ・ 町の復興が前進していることに、将来的な希望を感じる。様々な考え、意見はあると思うが、復興を確実に前進させてほしい。前例のない復興の取り組みは、大変苦勞が多いと思うが、町を存続させるため今後もよろしくお願ひしたい。(50代)
- ・ 以前の双葉町よりもすばらしい町になることを期待しています。(60代)
- ・ 先頭にたって、町民のためにつくして下さっている皆様に感謝しております。御苦勞のたえない状況ではありますが、頑張ってください。(60代)
- ・ 双葉町駅前、周辺の復興復旧はよいと思います。(60代)
- ・ 平成34年の復興拠点区域内全域の避難指示解除まで平成23年の事故から実に11年長い年月ですね。それでも後4年復興した双葉町を楽しみに健康に気を付けて待ちます。(60代)
- ・ 双葉町が出来る事は大変良いと思います。私は見に行けるかは無理かも知れませんが。出来たら何かにたよって見に行きたいですね(70代以上)

Ⅲ 調査結果

3-10-2 国・福島県・双葉町への意見・要望

問35 国や福島県、双葉町への要望などをご自由にお書きください。

国や福島県、双葉町への意見・要望などについて、460世帯から回答があった。  
ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

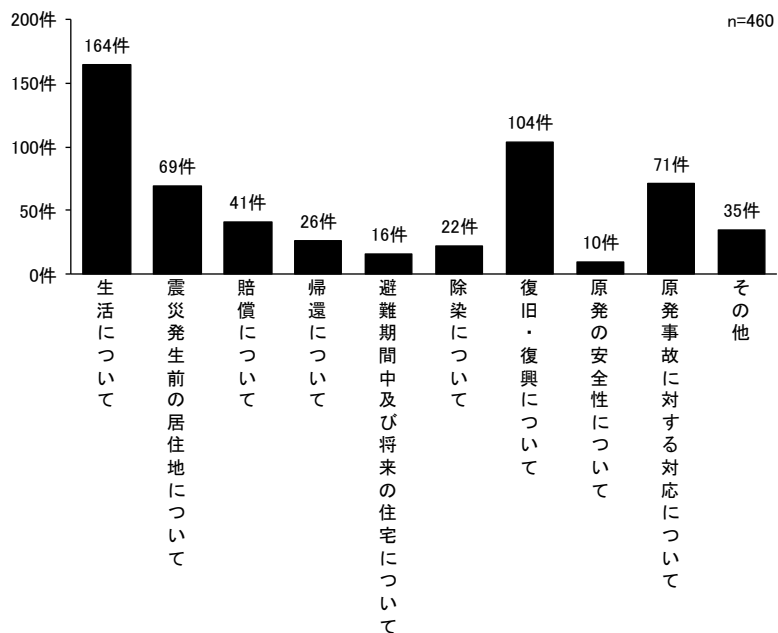
<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難生活の長期化への不安</li> <li>・元の生活、安定した生活の回復</li> <li>・元の生活に戻ることにのあきらめ</li> <li>・現在の生活について</li> <li>・現在の生活の人間関係・コミュニティについて</li> <li>・現在の生活の健康に関する不安について</li> <li>・現在の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・現在の生活全般の不安について</li> <li>・将来の生活に関する考えについて</li> <li>・将来の生活の経済的な不安について</li> <li>・将来の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・将来の生活全般の不安について</li> <li>・生活（再建）支援について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除染作業の意識について</li> <li>・除染作業にかかる費用の他への活用について</li> <li>・除染作業の効果などについて</li> <li>・除染作業の実施箇所などについて</li> <li>・除染作業の早期・迅速・的確な実施について</li> <li>・除染産廃物の処理について</li> </ul>
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還困難区域への立入りについて</li> <li>・帰還困難区域等の設定について</li> <li>・所有する住まい・土地の買取りについて</li> <li>・自宅の現状（被害状況）について</li> <li>・自宅の再建・改築・解体について</li> <li>・元の住居や土地等の管理・処分について</li> <li>・元の住居や土地に対する税について</li> <li>・所有する墓地の維持・管理・移転について</li> </ul>	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧・復興の遅れ、長期化について</li> <li>・復旧・復興のスケジュールについて</li> <li>・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について</li> <li>・町村合併について</li> <li>・ライフライン・インフラの整備について</li> <li>・社会福祉施設の整備について</li> <li>・医療施設の復興・充実について</li> <li>・商業の復興・充実について</li> <li>・住民の参加・自助努力について</li> <li>・早期の原状回復・復興実現について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賠償内容・方法について</li> <li>・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について</li> </ul>	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃炉作業全般について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還への不安</li> <li>・帰還したい</li> <li>・帰還しない</li> <li>・帰還に関する施策について</li> <li>・帰還を望まない人への対応について</li> </ul>	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や東電の対応について</li> <li>・対応の長期化、遅れについて</li> <li>・情報の開示・発信について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復興公営住宅の建設地・形態等について</li> <li>・復興公営住宅に係る経済的負担について</li> <li>・復興公営住宅への入居について</li> <li>・居住場所の確保について</li> <li>・借上げ住宅について</li> <li>・住宅の購入について</li> </ul>	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のエネルギー政策について</li> <li>・行政に対する謝意、励まし</li> <li>・その他</li> </ul>

※掲載する文書は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

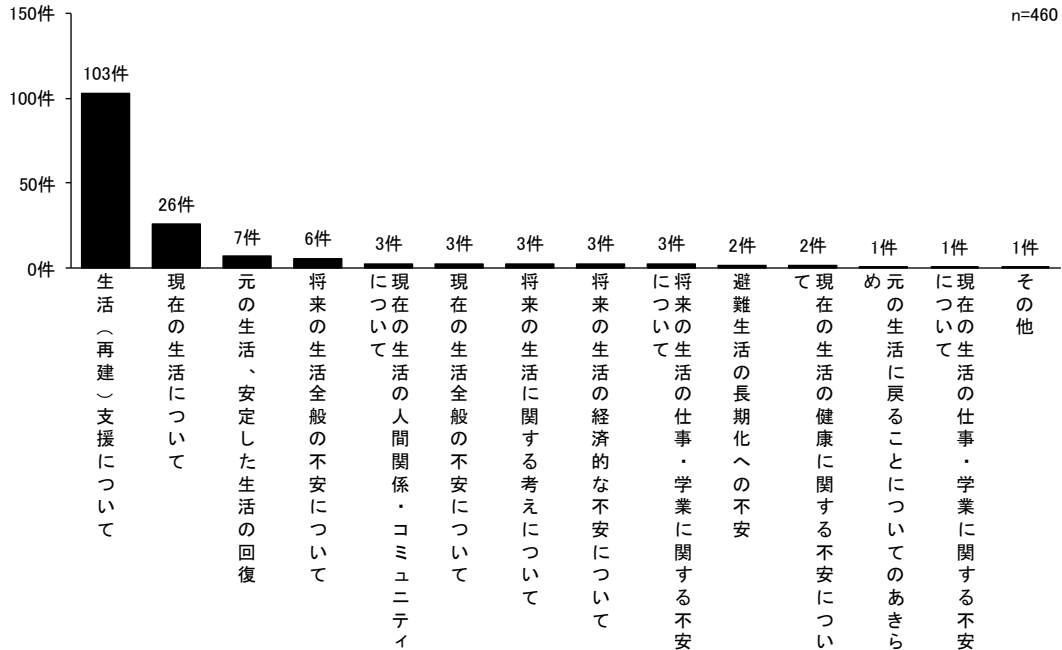
(1) 意見に係る記入内容の分類結果

<図表 3-10-2-1 意見に係る記入内容の分類結果>



(2) 生活について

<図表 3-10-2-2 生活についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

**【生活（再建）支援について】**

- ・ 10年後の双葉町内でどんな世代の人がどんな生活をしているのが理想なのか、今何をすべきなのか考え、行動してほしい。各地にある双葉町民の自治会の役員、会員の高齢化が進み自治会の存続が難しくなっているという声をよく聞きます。町で自治会事務局のサポートなど、自治会役員の負担を減らすようサポートしてほしいです。（30代）
- ・ 医療機器や医療廃棄物の処分をするのに業者に相談してもなかなか、引きうけてもらえません。個人で頼むのには限界があります。検討していただけると助かります。（50代）
- ・ 野生動物の駆除をこれからもお願いします。最近サルも来ているのでサルについて特に来ない様にしてほしい。前田川、松迫川の土砂の除去、柳などの雑木などの伐採等もお願いしたい。富沢（山田）から柿ノ木平のお墓へ行く道の上部の木の枝等（下がっている所）を切除してほしい。柿木平（山田）のお墓（墓石も含めて）の再度除染もしてほしい。（50代）
- ・ 予算がないから、高速代の免除はなくす、国保の保険料なども免除しないなどとなってくると、原発被害そのものが終わったことになってしまう気がします。忘れないために継続してほしいです。（60代）
- ・ 避難解除になると、今までの支援・サービス等もなくなってしまう恐れがありますので、今後も継続して欲しいと強く思います。やはり、避難生活により、すべてがくずれ、精神的・肉体的負担が相当なものになっております。私たちの痛みは、時間で区切られるものではありません。（70代以上）

**【現在の生活について】**

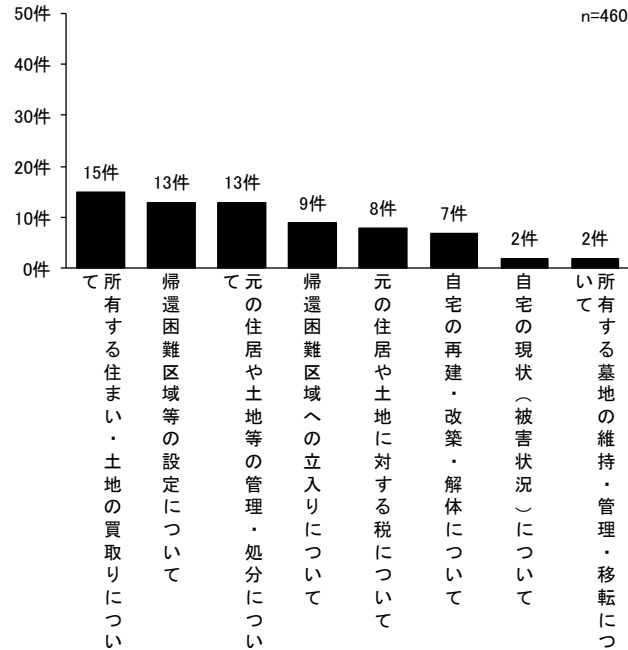
- ・ やはり、7～8年も、双葉町に帰っていないと最初は、2～3日ぐらいしたら、帰えると思った。けど、原発が…ふるさとながなくてやっぱ辛いし、子供に、みせてやりたいって気持ちがある。娘、息子にここが双葉だよって言いたいけど、現在、愛媛にいるけど、「ふるさとながこいしいです」以上。(30代)
- ・ 子供も成長し避難先で心細く。しかし今後の生活の不安もあり、頑張る私共を国、県、町忘れないで下さい。知らない土地で交流の薄い。双葉町で平穩に暮していた時と状況が全く違う。子育て世代の今の苦しい現状を分って下さい。(30代)
- ・ 復興は大切だが、まだ双葉の生活を思いだすと悲しくなってしまう。50才すぎて、また新しい場所の引っ越しをして、新しい職場に入り職種は同じでも、若い人たちに指導してもらい、どうにか仕事をしているが、「なんでこんなことに」と辛い。気持ちが前向きになることは難かしい。福島県や国や東京電力は、こんな気持ちの人がいっぱいいる事をわかって欲しい。(50代)
- ・ 県外へ来て、何かと不便な事は、仕事、言葉のニアンス、生活環境など、いろいろありますが、前向きに考えながら過ごしています。これから先、賠償問題を、県と町でしっかりやってもらわないと、不安でなりません。福島県人、双葉町民を、お守り下さいます様何とぞよろしくお願い致します。(60代)
- ・ 東電の賠償等一刻も早急に解決して欲しい。私事ですが超高齢であり該当者は自分独り故整理して終活に入りたい。来る日も来る日もそれだけを望んで生活している。健康にも自信がなく単独では処理整理も難かしい現状です。(70代以上)

**【元の生活、安定した生活の回復】**

- ・ 原発事故でまわりから見られたくない。双葉に住んでいたあたりまえの生活がしたい。事故後、精神的に病気になりとてもつらい。あたりまえの生活がしたい。もう二度と原発事故をおこさないで。(60代)
- ・ 勘違いの文章を記してしまい大変申し訳け御座居ません！又いつの日か夢でもいいから双葉町に住んできた様な日々が訪れる事を国や県に願うばかりです。(70代以上)
- ・ 早く家族と住みたい。もとの生活にもどりたい。生きているうちに。(70代以上)

(3) 震災発生前の居住地について

<図表3-10-2-3 震災発生前の居住地についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

**【所有する住まい・土地の買取りについて】**

- ・ 国、町の事業は（土地を売る）、反対はしません！！タダその人の気持ちを大切にしてください。土地を売りたいと売っているのでは、ありません。（60代）
- ・ 原子力災害により息子の職場が他県に移り家も建て生活している。自分も体に不安を抱えており農地（不動産）の維持、管理が出来なくなると思う。（町有地として買い取ってほしい）（60代）
- ・ 自宅は解体申請中、解体後の更地については避難先が遠方なので処分したい。公的機関で買い上げてもらえないか？（60代）
- ・ 町内の除染された宅地、田畑等について、他町村とは違った諸事情が双葉町にはあり、震災前の双葉町には到底もどる事は不可能です。国や原発にその責任を負って頂くため、上記の宅地田畑（場合によっては山林）等について、一括した買上げ等の処置をして頂きたいと願っております。（70代以上）



**【帰還困難区域等の設定について】**

- ・ 避難解除には反対意見が多くあると思うが、早く避難解除し、戻れる方から戻り、双葉町を少しでも元の状態にしていく努力を町民自ら実施できるよう促していただきたい。避難解除での最大の不安は、泥棒。震災時に被害を受けているが、住民が少ないとリスクが高い。防犯カメラでの監視等はもちろん、パトロール強化や、検門など、セキュリティ対策をしっかりと考えてほしい。(40代)
- ・ 戻らないと決めていますけどどうなっていくのか心配です。鴻草は特定復興拠点の区域外、今後の見通しは？予定も知りたいと思います(60代)
- ・ 町民がほんとうに安心して生活ができるようなかんきょうがととのってからの(事故前の放射線レベルまで下ってから)避難指示解除をお願いしたい。それまでの間経済的支えんをお願いしたい。(70代以上)
- ・ 原発の工事が終了していない中、避難指示解除はありえない。今回の事故で大変な思いをしている。老後をゆっくり過ごす計画がこわされた状態。本当に残念でならない。きちんと保障し、対応していただきたい。(70代以上)

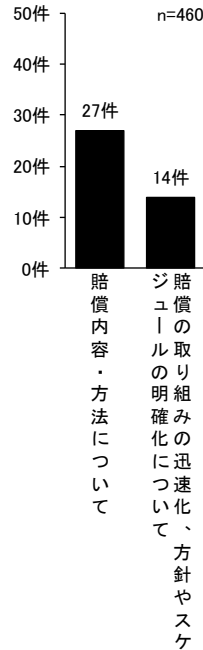
**【元の住居や土地等の管理・処分について】**

- ・ 私達家族は双葉町へ戻る(帰る)つもりは全くありません。残された双葉町の宅地、田畑山林をどうすれば良いのか今後心配です。使われないそれらの土地の税のことも気になります。残された(使われない)土地の利用を考えて欲しいです。医療への援助も引き続きして欲しい。(60代)
- ・ 苦渋の決断で荒廃した自宅を解体し更地にする予定であるが、樹木を根から掘り起こし、撤去するところまで国で行っていただきたい。樹木だけ残し、どうせよというのか。富岡町ではそこまで取り除き更地にしたと聞いている。特例措置というらしいが、今に至るまで帰還できず放置しておいて、双葉町こそ特例にしないでは不公平であろう。町の予算で、解体予定の家々をドローンによる空撮をし、思い出ず記念になるよう住民に映像を届けてほしい。(60代)
- ・ けど、自分は、山田で生まれ育って58年。いまも手つかずで帰ると悲惨な物です。家の中は、どうなっているのか、国県町の人々は本当にわかっているんでしょうか？生きている間には山田には戻る事は出来ないと思います。それで、家、土地、もちもの、子供や孫に迷惑かけないように生きてる間にはつきりしたいです。今の気物、少しでも分ってもらえればありがたいです。(60代)
- ・ (町)今家を解体終り更地にあります。駅西、中学校の付近で何か復興の為の建物が建てられるとの事ですが今更地をどの様に管理すればいいか一寸と悩んでいます。何かなか双葉に足を運ぶのにも車を持たない者として思います。又隣の人達の様子を見ながらとも考えてます。国、県、として 土地の売買は町？それとも国県？(70代以上)

### Ⅲ 調査結果

#### (4) 賠償について

＜図表 3-10-2-4 賠償についての意見＞



上位項目について主な意見は以下のとおり。

##### 【賠償内容・方法について】

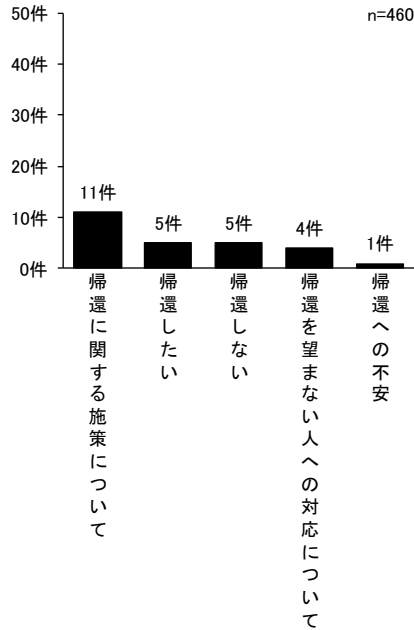
- ・ 東電福島第一原発緊急作業従事者だったので、もっと、お金や保証をもっとしてほしいです。あと、300万円ほどお願いしたいです。双葉町住民意向調査は確実に目を通してはわかりませんがね。(30代)
- ・ 東京電力の補償は、土地及び家屋の所有者には優遇しており、賃貸者には極めて、冷遇しています。少なくとも1000万円以上は、不足しております。(50代)
- ・ いろいろな災害があり、困っているのは私達だけではない事は、分っていますが、現在の立場としては、「人災」の被害者だと思います。町を追われた町民を元の町に帰還させたいのか、新しく双葉町に移住する人のための町を造ろうとしているのか、今いちわかりません。帰れと言われても、帰って家を建て替えるための賠償を下さい。そして、今も避難しているので、ちゃんと慰謝料の継続をお願いします。(50代)
- ・ 賠償問題は個人的には、まだ終わっていないと思っています。町政懇談会で何度も要望してきましたが、進まないようなので、あきらめようかと?!本気で国と東電に向き合っているのかギモンです。(60代)
- ・ 現在も帰宅困難のため苦しんでいるので(七年余り)今後も東電に賠償をしてもらいたい。東電の事故がなければ県民はこんなに苦労せずすんだと思う帰宅困難解除になるまでは賠償をしてもらいたい(60代)

**【賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について】**

- ・ 賠償金が6年で終了するのはおかしい。今後も継続すべき。きれい事を言う人もいるだろうが、結局お金さえもらっていれば誰も文句を言わないと思う。(30代)
- ・ 各種東電からの賠償が打ち切れ、尚且賠償可能請求が迅速に行われず、ADRに提出済案件が複数存在し、数年に渡り未解決となっております。帰還困難で町及び自宅に立入制限が解除されていない現在、今一度東電及び国からの賠償継続を検討して頂きたいと存じます。帰還を促すのであれば放射能の影響を考慮し、十分な賠償が大切だと考えています。体が蝕ばまっている今、せめて心穏やかに過ごせる分の慰謝料を希望致します。(50代)
- ・ 賠償が、一方的に、切られている。遅難生活が、続いている状況での打ち切りは納得出来ない。また、請求に対して時間がかかりすぎる。(ADRも対応がおそい)(50代)
- ・ 現在住んでいる所へ住民票替えなどあとは健康手帳など小山市に住んで居ても良いという環境作りをしていただきたい。何ができるのか何が平等なのか出来ないことは出来ない。賠償問題についても終了でなく住民が納得するまで代弁していただきたいと思います。あの事故は何だったのかとあの事故で全ての方々の人生が変わったということをもっともっと認識すべきだと思います※町職員に対してはご努力感謝しております。(60代)
- ・ 被害がある限り、賠償補償はなされるべき。故郷を無くしたのだから。一生苦しむ…。(70代以上)

(5) 帰還について

<図表 3-10-2-5 帰還についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

**【帰還に関する施策について】**

- ・ 双葉町に帰って、子供が放射線の影響を受けた場合、適切な対応をしてもらえるか（30代）
- ・ 復興、帰還のすべてにおいて考え方は人それぞれです。本当の復興を目指すなら長い年月がかかっても個別に聞くべき。帰還困難区域が縮小してくるのは良い事だと思う。一方で縮小された区域の住民も減る事である。解除された住民とのあつれきも生じて来るでしょう。残された帰還困難区域の人達が不利を受けたくないような政策を望む。（50代）
- ・ 復興庁は名前だけではないでしょうね！町全体が帰還できるように、山、川、宅地、田、畑、道路を早急に除染して安全であるデーターを証明して下さい。町内に獣が多発しています。一時帰宅時などに危険になります。一匹でも多く処分（完全に）して安全、安心な町を作して下さい。（60代）
- ・ 町を復興するためにはもどる人には難しい住宅を作ってあげるくらいの事をしないと避難から10年もすぎたら生活費もたいへんで双葉に帰って新しい家など作れないでしょう。帰ってもふべんで生活経費がかかるでしょう（追最後はお金の問題です）。（70代以上）
- ・ 双葉町が少しずつでも元の機能を取り戻せる様、住人が安心して生活できる場をつくっていただきたい。戻りたい住民に希望を与えてほしいと心から思っています。（70代以上）

**【帰還したい】**

- ・ 先きの見ない、アンケートは、答えようもない。どなたも、故郷に戻れたくない人はいないでしょう。完全に震災発生当時前もっているなら、1日早く戻りたいです。(70代以上)
- ・ ふる里双葉町に住みたいです、現在の家屋を手ばなし、新たに宅地、新築の準備となると資金面の支援が、かなり必要と思われれます。その辺がしっかりした状報が無い限り現状を続けて行かなければならないか、毎日毎日色々不安である。早い時期にこの辺の内容状況を知り度いです。(70代以上)
- ・ 自分の身の家族が、帰還しない場合は町(駅西ゾーン住宅へ)市街地へ住みたい。(70代以上)

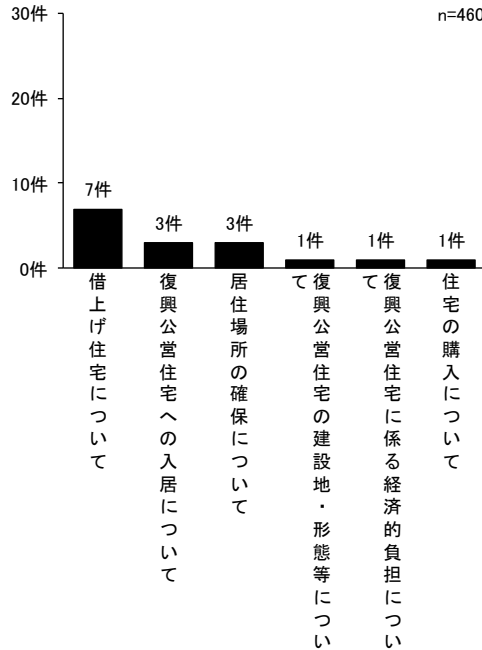
**【帰還しない】**

- ・ 戻らないと決めているので、町内に所有している土地(宅地)(建物は解体)をできる事なら買い上げてほしい。(60代)
- ・ 私は町内で生まれ70数年すごしました。近くの町には姉すぐ上の姉は町内に実家も近かったので何か起こるたび相談にのってもらったりと、こちらに来て見る夢は双葉町のばかりです。80才すぎて今は近くの息子夫婦共働きですが急に体の具合悪いとメール入れパートのひろみちゃん早帰りして来てくれて本当に助かりました。もしも離れるとなかなか早事はきかないと思いますので申し訳ありませんが双葉町に引き上げる事は無理かなと思っております。お墓は双葉町に建てましたのでおまいりには行きます。電車も通る様になれば楽しみと思っております。(70代以上)
- ・ 私は帰ると言う事…が無理、子供らも帰らないと思う。建物など残しておけない。後の者がこまる。住宅、作業場、事務所、資材置場などを町の方に解体してもらい更地にしたいと思っている。私の住居の地区は、まちなか再生ゾーンからははづれているがそれでも国や、福島県、双葉町の支援により解体をお願いします。(70代以上)

### Ⅲ 調査結果

#### (6) 避難期間中及び将来の住宅について

＜図表3-10-2-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見＞



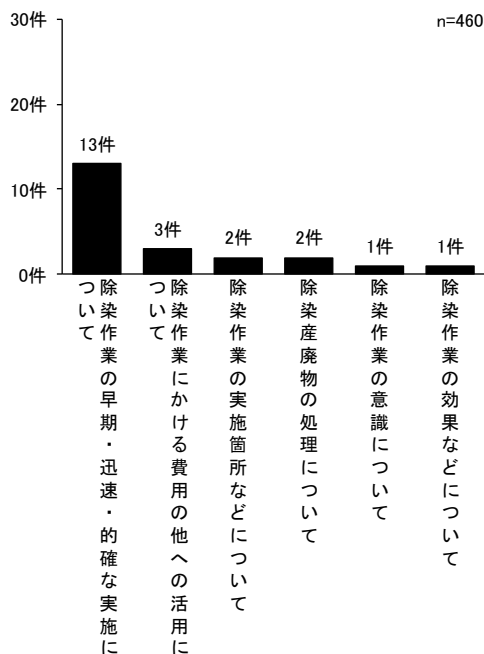
上位項目について主な意見は以下のとおり。

#### 【借上げ住宅について】

- ・ 借り上げ住宅の断続的利用。(20代)
- ・ 住居については、復興公営住宅が整備されてきたので借り上げ住宅等の支援は終了させて医療や福祉等を長期的に継続支援してほしい。また、今後発生してくると思われる旧住居(双葉)新住居(いわき)との二重での固定資産税の免除を継続してほしい。※住居については、賠償もらったのにもかかわらず住んでないのに何ヶ所も不法に借りてるとかのかげ口をきいたことがあるため、支援を終わらせたほうがいいと思う。(50代)
- ・ 高速道路無料化、医療費免除、税金減免、借り上げ住宅の継続延長願う。住民の一時立入簡素化(例えば自由立入)。(60代)
- ・ 私は、帰還困難区域に住んでいました。国には、あと3年位はこのまま、住宅や仮上住宅仮設などのえんちょうを伸ばしてほしいと思います。だんだん年をとるとどこに引っ越しするにも大変です。私はもうここから動きたくありません。住めば都と申します。お願い申し上げます。貸りている人達は、たいはんそうみたいです。私の友人も!(60代)
- ・ こまることなくくらしたいと思います。アパート借り上げを双葉に帰られるまで継続してもらいたい。(70代以上)

(7) 除染について

<図表 3-10-2-7 除染についての意見>



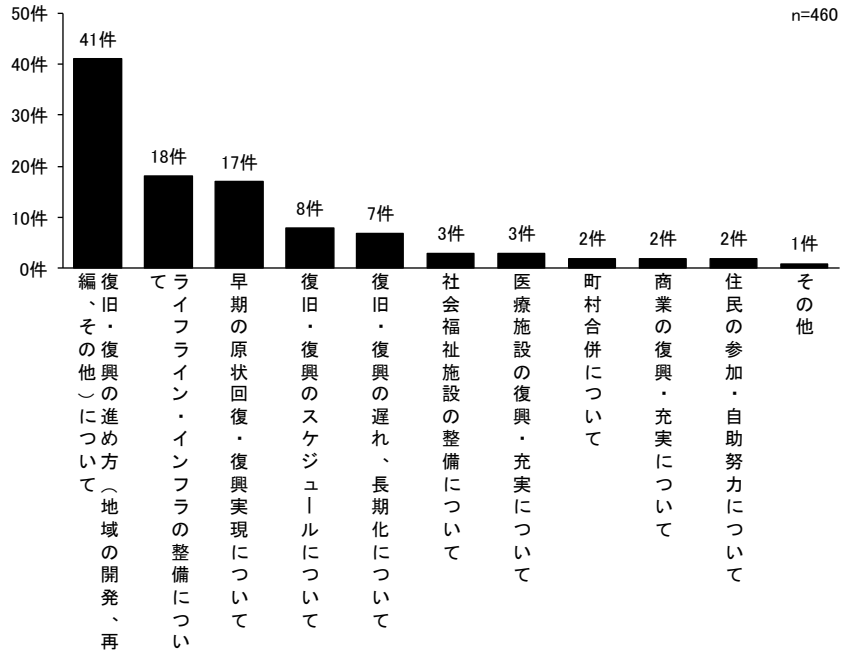
上位項目について主な意見は以下のとおり。

**【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】**

- ・ 復興、復旧を急がず、確実な除染作業をお願いしたい。現状の双葉町を見る限り、何年後に戻るとか、そんなレベルではない様な気がします。(40代)
- ・ 一般論を言えば、年金生活者の居住は支障ないが孫が来てくれるか不安が残る。職住接近が基本であり、若い人が長年働ける職場と住宅が町内に確保出来る人が居住できる。又、妊産婦や赤ちゃんの居る家族は線量5msv/年以下でないと、不安があり、居住は避けられると思われる。結局、単身赴任の新町民が多く住む新生双葉町になると思う。とにかく、一層の低線量化と風評被害の払拭が町復興の重要課題と思います。(60代)
- ・ 除染をすすめて安全にいつでも帰られるようにしてほしい。早くバリケードの撤去を要望する。(60代)
- ・ 原発の処理など、うまく出来ているとは思われません。ご苦労しているわりに、まだ初期状態のように思います。町づくりも、あわてることなく除染をしっかりとってから、安心して住めるようにして下さい。放射能の測定なども、細部にわたってやって欲しいです。単純な数字の発表だけでなく。(70代以上)
- ・ 町の中を早く除染してもらわないと、双葉町にある実家に戻れない。もう高令なので、少しの時間・日程があればその我が家で休みたい。(70代以上)

(8) 復旧・復興について

<図表3-10-2-8 復旧・復興についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

**【復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について】**

- ・ 震災が風化しないよう、多くの人に認知してもらえるような活動が大事かと思います。忘れられてしまうことが一番悲しいので。（20代）
- ・ 避難先で7年も居れば、新しい生活の基盤が出来、戻る事が出来ないし、戻ろうと思わない人が多いと思う。高齢者の人の方が帰還する人が多いらしいが、若い人が戻らない町に未来は無いと思う。若い人の目線を見ない計画は考え直した方がいい。（30代）
- ・ 震災の経験を強みとした、社会的弱者の立場の方々に優しく、互助精神にあふれた社会づくりを期待します。私も仕事の中で最善を尽くすことで、微力ながら貢献していきたい所存です。（40代）
- ・ いつまでも過去に捉われずもっと発展的な復興・改発をすべき。賠償や保障も概に十分である。別な方向に用途を向けるべき。真面目に懸命に生活している人以外には対応を打ち切るべき（正直者がバカを見るのは簡便して欲しい）（50代）
- ・ 近い将来、福島第一原発事故は風化され、我々の町は忘れ去られてしまう。そうならないように、帰りたくても帰れない、戻りたくても戻れない町があることを発信していかなければならない！原発事故があっても、すばらしく蘇った町を後世に伝えられるよう国・県の責任のもと、実行してほしい。（60代）



## 【ライフライン・インフラの整備について】

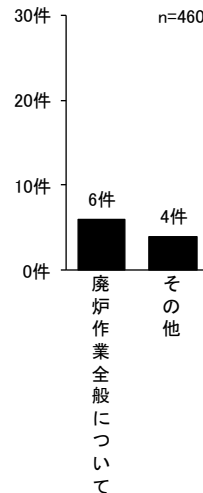
- ・ 町づくりを進めていく上でライフラインの他就職口が必要で新産業創出・再生可能エネルギー等、取り組んでいるのを実感しました。医療面はどうでしょうか。双葉町だけでなく双葉郡の課題かもしれませんが、入院施設がなくても総合診療のできる町の医師は必要だと考えます。(20代)
- ・ 郡山～双葉288号より、東への交通路がよいものがほしい。(高速道路など)そして、288号線で東に行っても、双葉町に直接入れないのが大変不便であり、行きにくい状況。(30代)
- ・ 道路がまだ震災時のままの場所もあり、一時帰宅の際、危険な所もあるので整備してほしい。たまには、道路脇の除草をしてほしい。(50代)
- ・ 双葉町に宿泊施設を作って欲しい。上羽鳥の土地、将来税金が、子どもや孫たちに大きな不担にならないようにして欲しい。(70代以上)
- ・ 電車が不通で不便です。せめて、相馬ーいわき間にマイクロバスでもいいですから、運用してもらいたいです。(70代以上)

## 【早期の原状回復・復興実現について】

- ・ 戻って住まなくても、生まれ故郷を忘れることはできません。双葉の復旧がなされれば、必ず、今よりは双葉町に立ち寄る人は増えます。少しずつでも双葉が元に戻るように、いろいろと考え、こうして意見を聞いて下さり本当にありがとうございます。故郷の風景を一日も早く自由に見れる日を望んでいます。そしてゆくゆくは、自分の子どもにも私の生まれ故郷を自信をもって見せてあげられる日が来るのを待っています。(30代)
- ・ 個々へのきめ細かな対応、支援をこれからもお願い致します。新生双葉町として生まれ変わり、未来へ希望が持てる明るい町ができればうれしいです。(60代)
- ・ 国も、県も、町も、もう少し活気があってはいゝのではないのでしょうか。余りにも遅すぎる復興。つまづく事に原発の事故がなかったら、と、つい、そこに行ってしまう。帰れる家があるのに帰れない、こんなに苦しく、悲しい、淋しい思いは、その立場にあった者にしか受け止めることのできないものです。何とか町が頑張って、国に要望して、一日も早く元の双葉町に近づけてもらいたい。(70代以上)
- ・ 除せんが少しずつ進んでいる？ようすがうちの方も、除せんが進められるよう祈ります。なにかしらのつながりをもって、大事な地域が守られますように。子供孫の世代も年間のうち1時的でも帰って、おまつりや、交流、またあのすばらしい自然(里山の風景)が戻りますように！！祈ります！！役場の方、いろいろお世話になっており、ありがとうございます。この場をおかりしてお礼を申し上げます。(70代以上)
- ・ 双葉町に生を受け、双葉町に嫁ぎ自然豊かな海の幸山の幸と、今懐く振り返りふるさと、双葉町の良さに感謝致して居ります。中間貯蔵施設地のためすべてを失いました。双葉町町民であることを、忘れないでほしい。安全安心な双葉町に復興する事を、願っています。残された人生を全うしたいと、思いながら生きていきます。(70代以上)

(9) 原発の安全性について

<図表3-10-2-9 原発の安全性についての意見>



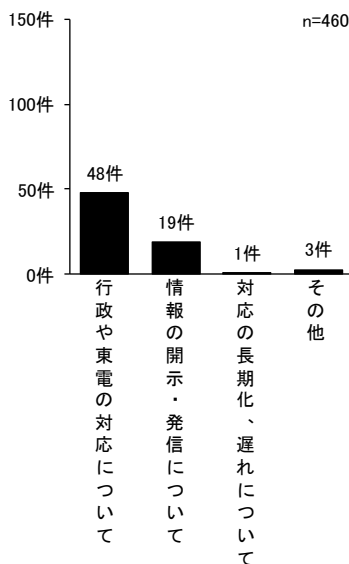
上位項目について主な意見は以下のとおり。

**【廃炉作業全般について】**

- ・ 国は原発をコントロール出来ていない事をみとめるべきだ。本当に安全ですか。国内外への安全のアピールのためではないですか。人体実験のようなまねはやめてほしい。(40代)
- ・ 高速の無料化をつづける。原子力発電所と双葉町の安全性のアピール。発電所内のタンクの撤去。(水の放水)(50代)
- ・ 国は(安倍首相)当初より、全員帰還と言っていましたが、たしかに少しずつ復興に向っているのは感じられます。しかし、原発の現状はどうでしょうか!メルトダウンした燃料はいまだ取り出すのにメドがつかず燃料プールに入っている燃料棒の取り出しも1. 2. 3. 号と何千本とまだ取り出しにこれまたメドがついていません。この様な状況であと数年で帰って下さいと言うのはどんなものでしょう。国はオリンピックまでは日本はセーフティな国だと言う事をアピールしたいのかもしれませんがそんな簡単なものではないと思います。町を出てから7年半以上過ぎました。今だ町には戻れません。国は我々避難している者達をもっと真剣に考えて欲しいと思います。(60代)
- ・ 復興を進めてほしいのですが、原発の状況、中間貯蔵施設、除染などの前提条件への対応が心配です。(70代以上)
- ・ 復興を進めて行く事は賛成ですか。本当に原子力発電所は大丈夫なのか、現状はどうか。今は我々の所までは情報が無いといっていい程で、時々、新聞に東電のミスが出るけどそれも二、三日遅れて発表。そんなことで安心できない。(70代以上)

(10) 原発事故に対する対応について

<図表 3-10-2-10 原発事故に対する対応についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

**【行政や東電の対応について】**

- ・ 県や町は国と東電に対して強く賠償を継続するよう求めて下さい。これは最低限な事ですし今更なんてことではすまされない事ですから。自分を含め多くの避難者がいまだに困っていることです。もっと強い姿勢でいってください。国や東電に忘れられては一番困ることなので。お願いします。町の支援については毎年支援していただき助かっています。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。(30代)
- ・ 避難者が無くなって欲しいようにしか見えない。もう忘れていく感じがする。1号機と3号機のばく発を忘れてるので、何しに中間貯蔵施設が造られるのかをちゃんと認識して欲しい。(40代)
- ・ 双葉町は他の避難自治体とは違う状況に置かれている。このような厳しい状況の町と町民に対し、格別の対応(国には財源措置)を強く求める。町民の生活再建のための施策、丁寧な賠償を強く求める。東京電力には加害者としての責任を強く意識し、町、町民への手厚い対応をお願いします。(50代)
- ・ 双葉町地内に今後東京電力が廃棄物保管資設の建設にあたり、前回許可条件の実行がおこなわれていない今、こん後町長はあんいに、許可すべきではないと思う。(60代)
- ・ テレビ新聞などでは、原発関連の事は、全て決まった用な事を言って私達の事は忘れていく用な気がします。私達の災害は天災の災害とは違って一瞬にして土地家が全てを失ない今まだに帰る事が出来ません。一年ごと体も弱って町に戻っても若い人達が戻らなかつたら何もする事が出来ません。国はもう少し保障を考えてもらいたいですお願いします。(60代)

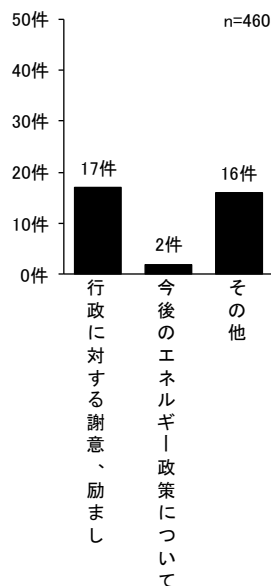
### Ⅲ 調査結果

#### 【情報の開示・発信について】

- ・ 初対面の人から私が放射線を浴びた人だと思われます。原発が爆発した日には多くの町民が町外（川俣町）に避難していたことをもっと報じてほしかったです。（20代）
- ・ 福島は安全に住めるとか、食べ物も安全だという事を、本当に安全なのであれば、もっと、安全だという事を、日本全体に広めてほしい。（30代）
- ・ 福島県に行くとニュースなどで天気予報と同じように空間線量を今でも伝えているが、県外から旅行で来た人にとっては違和感や不安を助長し、災害からの復興のさまたげや風評をまねくだけですので、やめた方がよいと思います。現状では急激な線量変動はまずないと思いますので、今まで伝え続けている目的が分かりません。テレビで見せなくとも、気になる人は、スマホなどで見れば（確認すれば）よいだけだと思います。気にしていない人まで強制的に伝えなくてもよいのではないのでしょうか？（40代）
- ・ 今後住民票移動後（転出）も、広報等情報の配送は継続してほしい。（40代）
- ・ すでに自宅は解体し、更地となりましたが、庭木、庭石は除染の際そのままとなっています。1～2年後そして今後、雑草におおわれてしまうであろうことが懸念されます。残された庭木の伐採、庭石の撤去をお願いしたいと思っております。更地となった宅地を売却したいと考えています。その件に関しての情報（空き地バンク等）を随時、教えていただきたいと思っております。（60代）

(11) その他

<図表 3-10-2-11 その他についての意見>



上位項目について主な意見は以下のとおり。

**【行政に対する謝意、励まし】**

- ・ 福島には戻りたいと思っているが良い就労の場所がなかなかない。双葉町にはいつかもう一度訪れたい。しかし今後妊娠する可能性がある身としては行くべきではないと判断している。双葉町を復興へと導き努力して下さっている方へは本当に感謝している。完全に安全（身体への）が確保された頃、双葉を訪れたい。（20代）
- ・ これまでも、様々なかたち、場面で、これ程までの支援をいただき、心より感謝しております。していただくばかりで心苦しいです。皆様のお力があってこそ今の生活があります。本当にありがとうございます。（30代）
- ・ 県外に避難してしまうと、色々な接点や関わり等がなくなってしまう事がさびしく思います。お疲れ様です。ご苦労様です。（50代）
- ・ 県や町は、とても頑張ってくれていると思っています。国も、たいへんだろうとは思いますが、きちんと責務をはたしてほしいと思います。約束は、守ってもらえるものと信じております。（60代）
- ・ 県内3世帯近くに住居を建てた者に対し県では県内居住者を減らさないためにいい対策をとっていることを知りました。これは各自治体でとの考えのようですが私たちも好んで県外に住んでいる訳ではありません。淋しさを感じました。皆様も大変な毎日だと思います。どうぞ双葉町のために頑張ってください。（70代以上）



## IV 參考資料





## 4-1 使用調査票

# 平成30年度 双葉町住民意向調査

## 記入上の注意

## ●調査をお願いする方

- ・震災発生時、双葉町に住民登録をしていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。
- ・ご回答は、世帯の代表者の方をお願いします。
- 現在、世帯が何か所かに分かれて避難されている方には、それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票の送付されたお住まいの代表者の方にご回答をお願いします。

## ●ご回答方法

- ・ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ・「その他」に○をされた場合は、( )内に具体的な内容もご記入ください。
- ・の中に具体的な内容のご記入をお願いしている間には、具体的な内容(地名、数など)をご記入ください。
- ・調査票は記名式でお願いしております。よろしければ、最初に「氏名」、「連絡先」、「住所」のご記入をお願いします。

## ●個人情報について

- ・調査票に記載いただいた個人情報は、双葉町、福島県および復興庁において適切に管理するとともに、各種施策の検討目的以外には使用いたしません。
- ・回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

## ●ご提出方法

- ・ご記入済みの調査票は、**11月14日(水)まで**に、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください(切手は不要です)。

## お問い合わせ先 ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

## 調査の趣旨、記入方法について

復興庁 「住民意向調査」 問い合わせセンター	☎ 0120-746-116 設置期間：10月30日(火)～11月14日(水) 平日10時～17時(土・日・祝を除く)
------------------------------	---

## その他のお問い合わせについて

福島県	〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号 避難地域復興局 生活拠点課 Tel：024-521-8617
双葉町	〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19番地の4 双葉町役場いわき事務所 復興推進課 Tel：0246-84-5203(直通)

F1 ~ F3

**最初に、あなたご自身のことについて教えてください。**

本調査は、町民の皆さまの今後の生活設計などについての考えを把握し、ご意見やご要望などをおうかがいすることを目的に実施する調査となっております。

現在、双葉町外拠点の中心と位置付ける、いわき市勿来酒井地区の復興公営住宅については、今年3月に入居がはじまり、仮設住宅などからお移りいただいたことにより生活環境が改善されるものと期待しております。

また、町では平成28年12月に双葉町の復興まちづくりに関する総合計画として「双葉町復興まちづくり計画(第二次)」を策定しました。さらに、これを踏まえて昨年9月には「特定復興再生拠点区域復興再生計画」の認定を受け、中野地区における「働く拠点」の整備および駅西地区における「住む拠点」の整備を図り、平成32年春の、避難指示解除準備区域および双葉駅周辺の一部避難指示解除、平成34年春の、特定復興拠点区域内全域の避難指示解除を目標に掲げているところです。

本調査で皆さまからいただいた貴重なご意見やご要望は、今後の施策を進めるための基礎資料として活用させていただいております。多くの町民の皆さまの声を反映した「町民一人一人の復興」「町の復興」が進められるよう、本調査へのご協力をお願いいたします。

また、本調査を踏まえ、双葉町から町民の皆さまに有益な情報を提供する場合やあらためてご確認のために連絡させていただく場合などがありますので、氏名、ご連絡先、住所のご記入をお願いします。

**F1** あなたの氏名を教えてください。

**F2** あなたの連絡先(電話番号)を教えてください。

**F3** 現在と震災前のあなたの住所を教えてください。  
(番地、アパート名・部屋番号までご記入ください)

現在の住所		
震災前の住所	双葉町大字 <input type="text"/>	字 <input type="text"/>



問3 ~ 問5

東日本大震災発生時のあなたの状況について教えてください。

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

① 新山	⑧ 長塚一	⑮ 中田
② 下条	⑨ 長塚二	⑯ 両竹
③ 郡山	⑩ 下長塚	⑰ 浜野
④ 細谷	⑪ 羽鳥	⑱ その他
⑤ 三字	⑫ 寺松	[ わからない場合は、住所を記載してください ]
⑥ 山田	⑬ 渋川	
⑦ 石熊	⑭ 鴻草	

問4 震災発生当時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。  
あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	<input type="text"/> 人	エ) 15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	<input type="text"/> 人
イ) 小学生	<input type="text"/> 人	オ) 18歳以上65歳未満	<input type="text"/> 人
ウ) 中学生	<input type="text"/> 人	カ) 65歳以上の方	<input type="text"/> 人

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

① 持ち家(一戸建)	⑦ 家族のどなたかのお住まい・実家
② 持ち家(集合住宅)	⑧ 親戚・知人宅
③ 民間賃貸住宅(一戸建)	⑨ その他
④ 民間賃貸住宅(集合住宅)	[ 具体的に ]
⑤ 公営住宅	
⑥ 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)	

現在のあなたの状況について教えてください。

問6 あなたが現在避難されている自治体を教えてください。(○は1つ)

<p><b>【浜通り】</b></p> <p>① いわき市 ② 相馬市 ③ 南相馬市 ④ 広野町 ⑤ 榎葉町 ⑥ 川内村 ⑦ 新地町</p>	<p><b>【中通り】</b></p> <p>⑧ 福島市 ⑨ 郡山市 ⑩ 白河市 ⑪ 須賀川市 ⑫ 二本松市 ⑬ 田村市 ⑭ 伊達市 ⑮ 本宮市 ⑯ 桑折町 ⑰ 川俣町 ⑱ 大玉村 ⑲ 西郷村 ⑳ 三春町</p>	<p><b>【会津】</b></p> <p>㉑ 会津若松市 ㉒ 喜多方市 ㉓ 会津美里町</p> <p><b>【福島県内のその他の市町村(1~23以外)】</b></p> <p>㉔ 福島県内のその他の市町村 → 具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px; margin: 5px 0;"></div> <p style="text-align: right;">(市・町・村)</p> <p><b>【福島県外】</b></p> <p>㉕ 福島県外 → 具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px; margin: 5px 0;"></div> <p style="text-align: right;">(都・道・府・県)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px; margin: 5px 0;"></div> <p style="text-align: right;">(市・区・町・村)</p>
--	--	--

問7 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。  
あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	<input style="width: 80%; height: 20px;" type="text"/>	人	エ) 15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	<input style="width: 80%; height: 20px;" type="text"/>	人
イ) 小学生	<input style="width: 80%; height: 20px;" type="text"/>	人	オ) 18歳以上65歳未満	<input style="width: 80%; height: 20px;" type="text"/>	人
ウ) 中学生	<input style="width: 80%; height: 20px;" type="text"/>	人	カ) 65歳以上の方	<input style="width: 80%; height: 20px;" type="text"/>	人

**IV 参考資料**

問8 ~ 問9

**問8** 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

- |                                |                    |
|--------------------------------|--------------------|
| ① 応急仮設住宅(プレハブ型、無償)             | ⑦ 家族のどなたかのお住まい・実家  |
| ② 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型、無償) | ⑧ 親戚・知人宅           |
| ③ 福島県営などの復興公営住宅(有償)            | ⑨ 持ち家(ご本人またはご家族所有) |
| ④ その他の公営住宅(3は除く、有償)            | ⑩ その他              |
| ⑤ 民間賃貸住宅(有償)                   | ┌ 具体的に             |
| ⑥ 給与住宅(社宅など)                   | └                  |

**問9** 避難期間中の住宅や、生活において困っていること、改善を求めることなどがあれば、お書きください(医療、教育、介護・福祉、就労、コミュニティなど)。

問10 ~ 問12

## 将来に関するご意向についてお聞かせください。

町では、昨年9月に認定を受けた「特定復興再生拠点区域復興再生計画」において、平成32年春頃までに避難指示解除準備区域とJR双葉駅周辺の一部区域、平成34年春頃までに特定復興再生拠点区域（以下「特定復興拠点」）全域について、避難指示解除による居住開始を目指すことを決めました。これに基づき、現在中野地区において「働く拠点」となる復興産業拠点を整備し、企業の立地に向けた協議が進展しているほか、平成32年春の運転再開に向け、JR双葉駅の駅改良工事も開始されました。また、双葉駅西地区において、「住む拠点」の整備に着手しているところです。

問10 ~ 問22 は、同封資料の「町内の取り組み状況」をご覧くださいからお答えください。

問10 今後、避難指示が解除された後の双葉町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。（〇は1つ）

- |                         |              |
|-------------------------|--------------|
| ① 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む） | 1の方 問11～問15へ |
| ② まだ判断がつかない             | 2の方 問13～問19へ |
| ③ 戻らないと決めている            | 3の方 問16～問22へ |

問11 ~ 問12 は 問10 で1と回答した方にうかがいます。

問11 避難指示が解除されてから、何年以内に戻りたいと考えていますか。（〇は1つ）

- |              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| ① 1年以内       | ④ 特定復興拠点の区域外にある自宅に帰れるまで待ちたい |
| ② 3年以内       | ⑤ その他                       |
| ③ しばらく様子を見たい | 具体的に                        |

問12 帰還する場合に家族の全員か一部かについて教えてください。（〇は1つ）

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| ① 家族全員での帰還を考えている | 1～3の方<br>問13へ |
| ② 現在検討しているところ    |               |
| ③ まだわからない        |               |
| ④ 家族一部での帰還を考えている | 4の方 問12-1へ    |

IV 参考資料

問12 ~ 問13

**問12-1** 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 18歳未満	<input type="text"/> 人	ウ) 65歳以上の方	<input type="text"/> 人
イ) 18歳以上65歳未満	<input type="text"/> 人		

問13へ

問13 ~ 問15 は 問10 で1、2と回答した方にうかがいます。

**問13** 帰還する場合、または双葉町へ戻ることを判断するためにどのような支援や情報が必要と考えますか。重視したいものから順に選択肢番号欄に3つまで選び、具体的な内容欄に支援や情報内容をご記入ください。

1 更なる放射線量の低減	11 原子力発電所の廃炉に関する情報
2 住宅の修繕や建て替え、住宅確保への支援	12 放射線の人体への影響に関する情報
3 商業施設の再開や新設	13 中間貯蔵施設に関する情報
4 医療・介護福祉施設の再開や新設	14 避難指示解除となる時期の目安や特定復興再生拠点区域の整備に関する情報
5 学校や保育・教育施設の再開や新設	15 どの程度の住民が戻るかの状況
6 公共交通機関の再開	16 日常の住民サービスの情報など
7 雇用確保・就業支援	17 その他
8 更なる防犯防火対策の強化	18 特にない
9 携帯電話やインターネットなど通信環境の改善	
10 地域のきずな維持やコミュニティへの支援	

優先順位	選択肢番号	具体的な内容
(例) 1番目	(例) 4	(例) ○○病院の再開
1番目		
2番目		
3番目		

問14へ



**問14** 帰還した場合のお住まいは、第一希望としてどのような形態を希望されますか。(○は1つ)

- |                             |                   |
|-----------------------------|-------------------|
| ① 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む)     | ⑦ 給与住宅(社宅など)      |
| ② 自宅とは別の場所に新たに一戸建ての持ち家を建てたい | ⑧ 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| ③ 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい     | ⑨ 親戚・知人宅          |
| ④ 民間賃貸住宅(一戸建て)              | ⑩ 現時点では判断できない     |
| ⑤ 民間賃貸住宅(集合住宅)              | ⑪ その他             |
| ⑥ 町内の公営住宅                   | 具体的に              |

**問15** 町では、JR双葉駅の西側の区域を「新市街地ゾーン」と位置づけ、町が主導して先行的に住宅地や生活関連施設の整備を進めることとしております。また、JR双葉駅の東側の区域については、「まちなか再生ゾーン」と位置づけ、既成市街地の再生を目指すこととしております。「駅西・新市街地ゾーン」や「駅東・まちなか再生ゾーン」への居住に関する意向について、もっとも近いものはどれですか。(○は1つ)

※震災発生ときに駅西地区および駅東地区にお住まいの方もお答えください。

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| ① 駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい | 1の方 問15-2、-3 へ    |
| ② 判断ができない            | 2、3の方 問15-4 へ     |
| ③ どちらにも居住しない         |                   |
| ④ 駅西・新市街地ゾーンに居住したい   | 4の方 問15-1、-2、-3 へ |

**問15-1** 町により、JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(○は1つ)

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| ① 公営住宅(一戸建て)           | ⑤ 現時点では判断がつかない |
| ② 公営住宅(集合住宅)           | ⑥ その他          |
| ③ 町から宅地の分譲を受け、自宅を建築したい | 具体的に           |
| ④ 駅西・新市街地ゾーンにある自宅      |                |

**問15-2** 「駅西・新市街地ゾーン」および「駅東・まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連施設を教えてください。(○は3つまで)

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| ① コミュニティ施設(集会所・公民館・公園など) | ⑥ 窓口サービスなどの役場機能       |
| ② 商業施設・食堂・コンビニエンスストアなど   | ⑦ 避難されている家族が一時宿泊できる施設 |
| ③ 医療・介護施設                | ⑧ その他                 |
| ④ 保険・教育施設                | 具体的に                  |
| ⑤ 金融機関                   |                       |

問15 ~ 問18

**問15-3** 「駅西・新市街地ゾーン」および「駅東・まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連サービスを教えてください。(〇は3つまで)

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| ① 安否確認や見守りサービス  | ⑥ 公共交通サービス   |
| ② 健康相談・生活相談サービス | ⑦ 役場機能窓口サービス |
| ③ 健康増進・介護予防サービス | ⑧ その他        |
| ④ 配食サービス        | 具体的に         |
| ⑤ 移動販売サービス      |              |

問10の帰還に関するお考えで「1.戻りたいと考えている」と回答した方 **問23** へ

問10の帰還に関するお考えで「2.まだ判断がつかない」と回答した方 **問16** へ

**問15-4** 「駅西・新市街地ゾーン」および「駅東・まちなか再生ゾーン」への居住について、現時点で判断ができない、居住しない理由はどのようなことからですか。(〇はいくつでも)

- |                                |                            |
|--------------------------------|----------------------------|
| ① 駅西・駅東以外にある自宅に戻るから            | ⑥ 仕事の都合で、生活の拠点にできるかわからないから |
| ② 違う場所で自宅を購入し生活を開始したいから        | ⑦ どのような人が住むのかわからなく不安だから    |
| ③ 周辺環境がわからないから                 | ⑧ 自身の生活の見通しがたっていないから       |
| ④ 道路、学校、病院など社会基盤(インフラ)がわからないから | ⑨ その他                      |
| ⑤ どの程度の生活関連施設が整備されるのかわからないから   | 具体的に                       |

問10の帰還に関するお考えで「1.戻りたいと考えている」と回答した方 **問23** へ

問10の帰還に関するお考えで「2.まだ判断がつかない」と回答した方 **問16** へ

**問16** からは **問10** で2、3と回答した方にうかがいます。

**問16** 双葉町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(〇は1つ)

- ① そう思う                      ② わからない                      ③ そう思わない

**問17** 双葉町をどのくらいの頻度で訪れたいと思いますか。(〇は1つ)

- ① 1か月に1回程度                      ③ 半年に1回程度                      ⑤ 2～3年に1回程度  
 ② 2～3か月に1回程度                      ④ 1年に1回程度                      ⑥ 訪れるつもりはない

**問18** どのような取り組みや行事、イベントなどがあれば、双葉町に訪れたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| ① 有志によるサークル活動          | ⑦ セミナーへの参加や資格の取得などの学習活動 |
| ② 趣味・料理・ものづくり教室などの文化活動 | ⑧ 仕事や労働などの職業活動          |
| ③ 運動・スポーツなどの健康づくり活動    | ⑨ 農地や環境の保全活動            |
| ④ お祭り・イベントなどの地域行事      | ⑩ その他                   |
| ⑤ 世代間交流・ボランティア活動       | 具体的に                    |
| ⑥ 防災・防犯などの地域活動         |                         |

**問19** 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

【帰還の前提・健康に関わるもの】

- ① 放射線量に不安があるから
- ② 原子力発電所の安全性に不安があるから
- ③ 中間貯蔵施設の安全性に不安があるから
- ④ 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【双葉町内の復旧状況に関わるもの】

- ⑤ 双葉町に戻っても仕事がなさそうだから
- ⑥ 双葉町での事業の再開が難しいから
- ⑦ 営農などができそうにないから
- ⑧ 家が汚損・劣化し、住める状況にないから
- ⑨ 双葉町外への移動交通が不便だから
- ⑩ 道路、鉄道などの交通インフラに不安があるから
- ⑪ 医療環境に不安があるから
- ⑫ 介護・福祉サービスに不安があるから
- ⑬ 保育・教育環境に不安があるから
- ⑭ 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

- ⑮ 避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから
- ⑯ 避難先の住居(持ち家以外)を生活拠点とし、将来も継続的に居住する予定だから
- ⑰ 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
- ⑱ 子供の遊び場(屋内・屋外)が無いから
- ⑲ 他の住民も戻りそうにないから
- ⑳ 今後も津波被害を受ける可能性があるから
- ㉑ 鳥獣による被害が心配だから
- ㉒ 特定復興拠点の区域外で帰還が見通せないから
- ㉓ 避難先で仕事を見つけているから
- ㉔ 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
- ㉕ 避難先の方が生活利便性が高いから
- ㉖ その他

具体的に

問10の帰還に関するお考えで「2.まだ判断がつかない」と回答した方

問23へ

問10の帰還に関するお考えで「3.戻らないと決めている」と回答した方

問20へ

問20からは問10で3と回答した方にうかがいます。

**問20** 帰還しない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。(〇はいくつでも)

- ① 継続的な健康管理の支援
- ② 雇用確保の支援
- ③ 仮設住宅や借り上げ住宅の継続的利用
- ④ 役場からの継続的な情報提供
- ⑤ 一時帰宅支援
- ⑥ その他

具体的に

問21へ

問21 ~ 問22

問21 帰還しない場合に、今後、居住を希望する(既に居住している場合を含む)自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。(○は1つ)

**【浜通り】**

① いわき市 1の方は右記へ ※ いわき市については地区名を教えてください。(○は1つ)

② 相馬市	③ 南相馬市	④ 広野町	⑤ 楡葉町	⑥ 川内村	⑦ 新地町
⑧ 福島市	⑨ 郡山市	⑩ 白河市	⑪ 須賀川市	⑫ 二本松市	⑬ 田村市
⑭ 伊達市	⑮ 本宮市	⑯ 桑折町	⑰ 川俣町	⑱ 大玉村	⑲ 西郷村
⑳ 三春町					

① いわき市については地区名を教えてください。(○は1つ)

① a 平	② f 四倉	③ j 三和
④ b 小名浜(泉なども含む)	⑤ g 遠野	⑥ k 田人
⑦ c 勿来(植田、錦なども含む)	⑧ h 小川	⑨ l 川前
⑩ d 常磐(湯本なども含む)	⑪ i 好間	⑫ m 久ノ浜・大久
⑬ e 内郷		

**【中通り】**

① 福島市

② 郡山市

③ 白河市

④ 須賀川市

⑤ 二本松市

⑥ 田村市

⑦ 伊達市

⑧ 本宮市

⑨ 桑折町

⑩ 川俣町

⑪ 大玉村

⑫ 西郷村

⑬ 三春町

**【会津】**

① 会津若松市

② 喜多方市

③ 会津美里町

**【福島県内のその他の市町村(1~23以外)】**

① 福島県内のその他の市町村 → 具体的にご記入ください

(市・町・村)

**【福島県外】**

① 福島県外 → 具体的にご記入ください

(都・道・府・県)

(市・区・町・村)

**【未定】**

① 決めかねている

問22 帰還しない場合に、今後のお住まいとして希望する(既に居住している場合を含む)住宅は、どのような形態ですか。(○は1つ)

① 持ち家(一戸建)	⑦ 給与住宅(社宅など)
② 持ち家(マンションなど)	⑧ 家族のどなたかのお住まい
③ 民間賃貸住宅(一戸建)	⑨ 親戚・知人宅
④ 民間賃貸住宅(アパート・マンションなど)	⑩ その他
⑤ 復興公営住宅	具体的に
⑥ 公営住宅(原発避難者向けの復興公営住宅を除く都道府県営住宅や市町村営住宅)	

問23

自営業の町内での事業の再開のご意向・就業意向についてお聞かせください。

問23 は、震災前に双葉町で自営業（農業・林業・漁業・畜産業・商業・工業など）を営んでいた方にうかがいます。

※震災前の職業が、「自営業以外」の方は、問24 へお進みください。

問23 避難指示が解除となり帰還した場合、町内（特定復興拠点および中野地区復興産業拠点）で事業を再開したいと思いますか。（○は1つ）

- ① 判断ができない
- ② 再開するつもりはない
- ③ 再開したい

1、2の方  
問23-2 へ

3の方 問23-1 へ

問23-1 町内で事業を再開する際の課題があればお教えてください。（○はいくつでも）

- ① 設備や機材などへの新たな投資
- ② 事業に必要な土地や建屋などの除染
- ③ 農畜産物などや製品の放射能からの安全確保
- ④ 風評被害の払しょく
- ⑤ 後継者（担い手）の確保
- ⑥ 従業員の確保
- ⑦ 顧客・販売先の確保
- ⑧ 事業資金の確保
- ⑨ その他  
    具体的に

問24 へ

問23-2 事業を再開しない理由、判断ができない理由を教えてください。（○はいくつでも）

- ① 事業に必要な設備や機材などへの新たな投資ができないから
- ② 農畜産物などや製品の放射能による汚染が心配だから
- ③ 風評被害があるから
- ④ 再開するための後継者（担い手）確保ができないから
- ⑤ 従業員の確保ができないから
- ⑥ 顧客・販売先の確保ができないから
- ⑦ 事業資金の確保ができないから
- ⑧ その他  
    具体的に

問24 へ

問24

復興公営住宅についておうかがいします。

問24 からはすべての方におうかがいます。

◆復興公営住宅とは

将来の帰還に向け、仮設住宅などから安定的な居住・生活環境に移っていただくためなど、原子力災害により避難の継続を余儀なくされている方々の居住の安定を確保するため、福島県が主体となり整備している公営住宅。

問24 福島県が整備したまたは整備を予定している福島県営の復興公営住宅(双葉町外)への入居意向について教えてください。(〇は1つ)

- ① 入居が決定している
- ② 入居の申し込み中(結果待ち)である
- ③ 今後、入居の申し込みをしたいと考えている

- ④ 入居を希望しない
- ⑤ 現時点では判断できない  
判断できない理由

4、5の方  
問25 へ

1～3の方 問24-1 へ

問24-1 入居(整備)を希望する(決まっている)復興公営住宅の立地市町村について教えてください。(〇は1つ)

- |         |        |        |        |
|---------|--------|--------|--------|
| ① 福島市   | ④ いわき市 | ⑦ 田村市  | ⑩ その他※ |
| ② 会津若松市 | ⑤ 白河市  | ⑧ 南相馬市 | 〔<br>〕 |
| ③ 郡山市   | ⑥ 二本松市 | ⑨ 本宮市  |        |

※10を選択した場合は、( )内に具体的にご希望の市町村名を記入してください。  
※こちらの調査への回答により、入居申し込みなどに影響があるものではありません。

問25 へ

※福島県の整備する復興公営住宅に関するお問い合わせはこちらへ  
**福島県 生活拠点課 TEL:024-521-8617**

問25

町内への一時立ち入りについてお聞かせください。

問25 町内への一時立ち入りはどの程度の頻度で活用していますか。(〇は1つ)

- |               |          |
|---------------|----------|
| ① ほとんど活用していない | ③ 月に2回以上 |
| ② 活用していない     | ④ 月に1回程度 |
|               | ⑤ 年に2回程度 |
|               | ⑥ 年に1回程度 |

3~6の方  
問26 へ

1、2の方 問25-1 へ

問25-1 町内への一時立ち入りを活用していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- ① 事前に立ち入りの手続きをしなければならず面倒である
- ② 町内に移動するまで時間がかかる
- ③ 放射線や原発に不安がある
- ④ 仕事などで忙しく一時立ち入りをしている暇がない
- ⑤ 町内に家屋などがなく、立ち入りをする理由がない
- ⑥ その他

具体的に

問26 へ

問26 ~ 問27

不動産(土地・家屋)の取り扱い意向についてお聞かせください。

問26 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。

現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(○は1つ)

※特定復興拠点および両竹・浜野地区の避難指示解除準備区域においては、既定の書類を揃えてお申し込みいただければ環境省が家屋の解体を順次実施します。

解体をご希望の方は、環境省が設置している「被災家屋などの解体申請受付窓口(双葉町役場いわき事務所内)」へご相談ください。

- |                                 |                          |
|---------------------------------|--------------------------|
| ① 解体して建替えたい                     | ⑥ 被災状況を確認してから決めたい        |
| ② 解体して更地にする                     | ⑦ 世帯で保有している家屋はない・すでに解体した |
| ③ 建物除染後、修繕して自ら使いたい              | ⑧ 中間貯蔵施設予定地内のため決められない    |
| ④ 建物除染後、親戚・親族・友人に使ってほしい         | ⑨ その他                    |
| ⑤ 建物除染後、行政や事業者に使ってほしい(売却・賃貸を含む) | 具体的に                     |

問27 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。

現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(○は1つ)

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| ① 宅地除染後、自ら使いたい          | ⑤ 世帯で保有している宅地はない      |
| ② 宅地除染後、親戚・親族・友人に使ってほしい | ⑥ 中間貯蔵施設予定地内のため決められない |
| ③ 宅地除染後、行政や事業者に使ってほしい   | ⑦ その他                 |
| ④ 宅地除染実施後に判断したい         | 具体的に                  |

1、2と5~7の方  
問28へ

3、4の方 問27-1へ

問27-1 町では現在、空き地の活用に向け、売却や賃借を希望する空き地の情報を紹介する「空き地バンク」の運用開始を検討しています。「空き地バンク」について、利用してみたいと思いますか。(○は1つ)

- ① 利用してみたい
- ② 利用したいとは思わない
- ③ 運用が始まらなないと判断できない

問28へ



問28

**問28** 町内に保有している農地(田・畑)の利用意向についてうかがいます。  
現時点で、もっとも近いものはどれですか。(○は1つ)

- ① 除染後、保全管理したい
- ② 除染後、営農を再開したい

1、2の方 **問28-1** へ

- ③ 除染後、売却または賃貸したい
- ④ 世帯で保有している農地はない
- ⑤ 中間貯蔵施設予定地内のため決められない
- ⑥ その他  
    [ 具体的に ]

3～6の方  
**問29** へ

**問28-1** 町では、農地の保全を目的とする組合を今年5月に設立しました。  
組合への加入などについて、現時点でのお考えをお聞かせください。(○は1つ)

- ① すでに組合に加入している、または、組合に加入して農地の保全管理に参加したい
- ② 組合に加入しないが、農地の保全管理は組合に任せたい
- ③ 組合に加入しないが、自ら農地の保全管理を行いたい、または、営農再開したい

**問29** へ

問29 ~ 問31

町からの情報入手と周囲とのコミュニケーションに関する状況についてお聞かせください。

問29 あなたは町からの情報を主にどのような方法で入手していますか。(○は3つまで)

- |                                |                        |
|--------------------------------|------------------------|
| ① 広報ふたば                        | ⑥ 町復興ポータルサイト(パソコンなど)   |
| ② 広報ふたばダイジェスト(動画版)             | ⑦ メールマガジン              |
| ③ つなげようつながろう「ふたばのわ」            | ⑧ マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞など) |
| ④ ICTきずな支援システム<br>(町配布タブレット端末) | ⑨ その他                  |
| ⑤ 町公式ホームページ(パソコンなど)            | 具体的に                   |

問30 あなたが特に知りたい、関心がある情報は何ですか。(○は3つまで)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| ① 住宅・暮らしの情報    | ⑧ 原子力発電所関連情報     |
| ② 健康・医療・福祉関連情報 | ⑨ 中間貯蔵施設関連情報     |
| ③ 子育て・教育関連情報   | ⑩ イベント・交流会に関する情報 |
| ④ 雇用・就労・就農関連情報 | ⑪ その他            |
| ⑤ 復興まちづくり関連情報  | 具体的に             |
| ⑥ 放射線量・除染情報    |                  |
| ⑦ 原子力損害賠償関連情報  |                  |

問31 あなたが避難先で加入している自治会などの組織はありますか。(○は1つ)

- |                                    |
|------------------------------------|
| ① 避難先の自治会に加入し、交流会などに参加している         |
| ② 町補助の自治会に加入し、交流会などに参加している         |
| ③ 自治会などに加入してはいるが、積極的に交流などには参加していない |
| ④ 自治会などに加入してはいるが、職場の同僚や近所の人と交流がある  |
| ⑤ その他                              |
| 具体的に                               |

問32 ~ 問33

**問32** 町が無料配布している「ICTきずな支援システム(タブレット端末)」は持っていますか。  
(○は1つ)

<p>① 持っている</p> <p>1の方 問32-1,2 へ</p>	<p>② 持っていない 理由を具体的に</p>	<p>2の方 問33 へ</p>
<p><b>問32-1</b> 「ICTきずな支援システム(タブレット端末)」は、どれくらいの頻度で利用していますか。(○は1つ)</p> <p>① 毎日                      ③ 1か月に1~2回程度                      ⑤ 1年に1~2回程度 ② 1週間に1~2回程度                      ④ 半年に1~2回程度                      ⑥ ほとんど利用していない</p>		
<p><b>問32-2</b> 「ICTきずな支援システム(タブレット端末)」の貸し出しは平成32年3月末までの予定となっておりますが、それ以降も継続して利用したいとお考えですか。 (○は1つ)</p> <p>① 継続して利用したい ② 利用しなくて良い ③ その他     ┌ 具体的に</p>		

**問33** 町が配布している「ICTきずな支援システム(タブレット端末)」のほかに、どのような情報端末機器をお持ちですか。(○はいくつでも)

① パソコン	④ 携帯電話	⑥ その他
② スマートフォン	⑤ 持っていない	┌ 具体的に
③ タブレット端末(個人所有)		└

問34 ~ 問35

国や福島県、双葉町へのご意見などについてお聞かせください。

問34 今後、町が町内の復興を進めていくにあたり、あなたのご意見・ご感想など、ご自由にお書きください。

問35 国や福島県、双葉町への要望などをご自由にお書きください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。  
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、  
**11月14日(水)**までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

# 双葉町 住民意向調査 報告書

平成31年3月

復興庁 福島県 双葉町

調査機関：トッパン・フォームズ株式会社